



# 報告事項

## 報告事項 1

協議会議長	福永 栄一
-------	-------

- 【一社日本 L】 第 2 回理事会議事録 (2021/11/25 開催) ..... P4~7
- 【一社日本 L】 第 1 回 SON 広島大会委員会議事録 (2022/01/18 開催) ..... P8~12
- 【一社日本 L】 第 3 回理事会及び第 2 回国際理事候補推薦委員会  
合同会議議事録 (2022/01/25 開催) ..... P13~24
- 【一社日本 L】 臨時理事会議事録 (2022/02/02 開催) ..... P25~28
- 【MD336】 臨時ガバナー協議会議事録 (2022/03/08 開催) ..... P29~33

## 報告事項 2

協議会議長	
-------	--

- 令和 3 年度における献血推進状況について  
令和 3 年度上半期協力実績 ..... P34~35

## 報告事項 3

LCIF コーディネーター	橋本 充好
---------------	-------

- 寄付一覧表 ..... 当日資料

## 報告事項 4

MD336 会則および付則・運営マニュアル MD336 国際理事候補者推薦選挙管理委員会委員	安田 克樹
---	-------

- 【一社日本 L】 第 1 回選挙管理委員会議事録 (2022/02/16 開催) ..... P36~40

## 報告事項 5

GMT コーディネーター スペシャルティクラブ・FWT コーディネーター	真鍋 隆 有本 みどり
---	----------------

- 国際本部集計 クラブ数・会員数 (2022 年 2 月末現在) ..... P41
- 【8MD】 第 3 回 SCP・FWT 会議議事録 ..... P42

## 報告事項 6

GLT コーディネーター	池原 堅
--------------	------

- 次第※録画議事録 ..... P43

## 報告事項 7

GST コーディネーター	澤 辰水
--------------	------

- 【8MD】 第 4 回会議議事録 (2021/11/11 開催) ..... P44~45
- 【8MD】 第 5 回会議議事録 (2022/02/09 開催) ..... P46~48

報告事項 8	
青少年・ライオンズクエスト委員会委員長	酒井 公一

【MD336】第2回委員会議事録（2022/03/10開催）…………… P49～57

報告事項 9	
大会参加・迎接・プロトコール委員会委員長	福代 明正

第104回モントリオール国際大会について…………… P58～60

報告事項 10	
MC・ライオンズ情報・アラート委員会委員長	高岡 英治

アラート委員会の進捗状況について

- ・日本ライオンズ・アラート委員会 運営マニュアル作成中。
- ・MD336 アラート委員会緊急災害連絡網、緊急アラート災害支援運営規則作成中。
- 【一社日本L】第5回全体会議議事録（2022/01/31開催）…………… P61～74
- 【一社日本L】第6回全体会議議事録（2022/02/24開催）…………… P75～83

報告事項 11	
一社) 日本ライオンズ監査	矢野 敏明

2021-22年度上半期一般社団法人日本ライオンズ会計報告書

【一社日本L】2021-22年度上半期会計報告（2022/02/18開催）…………… P84～95

報告事項 12	
一社) 日本ライオンズ ライオン誌日本語版委員会委員	玉浦 巖

ライオン誌 LINE 登録アカウントについて…………… P96  
 ※登録方法についての説明

第7回委員会報告書（2022/02/03開催）…………… P97～100  
 第8回委員会報告書（2022/03/04開催）…………… P101～103

報告事項 13	
IT・MC・情報特別委員会委員長	大木 寿之
IT・MC・情報特別委員会副委員長	濱本 義樹

MyLCl：年次大会代議員登録マニュアルについて（大木）

第1回委員会で各準地区キャビネット事務局に MyLCl での代議員登録を各クラブに周知していただきたいとお願ひした。その折に「是非マニュアルを作って欲しい」旨の意見が出て、OSEAL 調整事務局に資料をいただきマニュアルを作成した。  
 MyLCl での代議員登録をクラブへ案内をされるかどうかは、各々準地区に判断していただく事とした。  
 マニュアルは高岡委員長・MD 事務局・A～C の IT 特別委員に配信し、活用を促した。なお、内容については各地区でリライトできるよう Word データで配信し使用の場合は必要箇所を書き直すようお願いした。

MyLCl 年次大会代議員登録マニュアル…………… P104～105

## 地区状況報告（濱本）

- ①My LCI で会員動静を報告
- ②My lion で活動報告

①②において報告義務がまだまだクラブで浸透していない。  
336-C 地区では、活動報告が0ゼロのクラブが30%ある。  
会合も My lion でアクティビティーの一つとして報告しなければならないが理解不十分。

### 報告事項 14

YCE・国際関係委員会委員長

高橋 淳

#### 日本ライオンズ第4回 YCE 委員会報告

2022年3月4日、日本ライオンズ第4回 YCE 委員会が開催されました。

- ①ヨーロッパ地区対象国の担当窓口についておおむね了解が得られました。  
MD333 の了解が確定していないため、次回最終決定となる予定です。
- ②ヨーロッパ担当窓口振り分け後の運用については、各 MD 指定の旅行代理店が各 MD の新しいヨーロッパ担当国の指定の旅行代理店となること、運営はこれまでの各 MD のやり方を踏襲する。
- ③交換相手国との契約書は MD334 で使っているものを使ってよい。
- ④禁止事項は個人滞在/旅行、飲酒と喫煙、タトゥーを明記する。  
次回は4月25日(月)に WEB で開催されます。

【一社日本 L】第4回委員会次第と資料（2022/3/4 開催）…………… P106～109

### 報告事項 15

その他

## 一般社団法人 日本ライオンズ 第2回理事会議事要録

開催日時：2021（令和3）年11月25日（水）13：30～16：00

場 所：フクラシア八重洲 J会議室（東京・八重洲）

### 1. 本日の出席者の確認

理事長 仁科良三

副理事長 山川洋、古川隆、松岡功

専務理事 村木秀之

常務理事 鶴嶋浩二、下間俊悦、山川洋、山本基博、三宮秀介、福永栄一、

理 事 森川明治郎、中谷宣巨、石橋貞、仁科良三、松岡勲、岡村聖爾、

森口孝行、川島正行、藏大介、永田賢司、鈴木誓男

監 事 高橋克文、福田恵太、吉見章一

理事総数：22名の内19名出席、監事総数：4名のうち3名出席、理事会の定足数充足

オブザーバー：ライオン誌編集長 星野勝美、

池田和司法律顧問、吉田宗一郎会計顧問、菅原雅雄事務総長

### 2. 開会宣言

村木専務理事は議事運営に関する諸留意事項を説明の上、理事、監事、オブザーバーの出席を確認し定足数を満たしているので理事会成立報告の後、開会の宣言により会議開催。

### 3. 理事長の挨拶

### 4. 議事録作成人及び議事録署名人の指名

議事録作成人 古川副理事長、鶴嶋常務理事

議事録署名人 理事長、本日出席の全監事

### 5. 会議資料の確認並びに訂正について

村木専務理事は案件資料の仕分けの訂正を出席者に求めた。

審議事項は (2) (3) (4) (5)

報告事項は (1) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12)

### 6. 審議事項

(2) 第2回社員総会概要（2021年12月16日 WEB開催）

時間割案、予定審議事項、出席対象者等を確認。了承。

また、今後の社員総会日程及び関連する理事会の開催日程を確認した。

・社員総会 第2回（12/16） 第3回（'22、3/23） 第4回（6/15）

・理事会（上記総会に関する） '22 3/10 6/2

・次回総会の資料提出は12/9とする。

・高橋監事から第 2 回総会審議事項仕分け提案があり、池田法律顧問から以下の通り提案あり。

- (2) 今後の社員総会日程
- (3) オリパラ支援金残金の処理
- (4) SON 広島大会協賛金
- (5) 補正予算

菅原事務総長から、(5)については定款上総会に出さなくてよいのではと質問あり。池田顧問から「定款により補正予算は理事会で決められますが、広く皆様に提示してご理解いただくよう過去の総会でも報告しています。」報告事項扱いとする。

以上、総会審議事項については、一同了承。

### (3) オリパラ支援金残金の処理について

松岡副理事長から資料に基づく説明があり。集まった収益金は 493,088,558 円。令和 3 年 9 月 17 日現在 217,582,467 円の余剰金があり、各準地区へ返還することになり、返還額一覧を確認した。

振込手数料の負担と振り込み時期について、三宮常務理事から質問があり。

仁科理事長から振り込み手数料は法人負担で、年内に振り込むことが伝えられた。

吉田会計顧問から実返済額と余剰金総額との差額残額から振込手数料を支払い、最終残額を社団の雑収入とすることについて説明があり。賛成多数にて了承。

### (4) 第 8 回 SON 夏季ナショナルゲーム広島大会 協賛金案 (¥5000) について

福永常務理事から協賛金案 5,000 円 (1 クラブ) 負担の協力が呼びかけられた。

T シャツの販売等で収益を上げる予定ですので、是非ご協力をお願いしたい。

賛成多数にて了承。

### (5) 補正予算について

菅原事務総長から、現法人部門の業務は以前の 3 名から 1.5 名対応している。昨年度途中で 1 名のベテラン職員が退職したまま、その後の補充がなされていない。必携作成業務に支障をきたしている状況で、三宮常務理事からも至急の問題と捉えて対処を求める声が会則委員会を通じて出ている。

昨年度理事会に於いて承認された今年度の人件費総額予算では、なぜか次長分 12 月以降の人件費が含まれておらず、補正予算を提案したい。

これに対して森川理事から、本日初見での検討は難しく、皆でじっくり事務所の効率化を考えるようにと提案があり。引き続きの協議とする。賛成多数にて了承。

## 6. 報告事項

### (1) 理事長 35 地区ガバナー訪問と成果 仁科理事長

皆さまから頂きましたご意見を問答集にして添付してありますので、ご参考にしてください。

### (6) 再開発関係

仁科理事長から再開発組合からの案内について、2023 年には現事務所から退去す

ることになり、今後については組合と交渉していく。

WEB会議が増え今後しばらく続くことを考慮して、事務所内会議スペースとの区切りに簡易なパーティション設置を検討したく見積もりをとる。

#### (7) 理事長からの諮問事項

##### ① SON委員会

SON広島大会実行組織と支援体制のために法人内委員会としてのSON委員会を立ち上げる。近日中に第1回委員会の開催を検討。

鈴木LCIF理事から、「SONは知的障がいの皆さんの協力をお願いしており、夏と冬の大会があり今度は広島である。日本ライオンズではどのような関わり方をしているのかわからない、クラブレベルまで浸透してないし、案内が来ない」といった声を聞く。末端までわかるようにしていきたいので、皆さんの理解をお願いしたい。

村木専務理事から、ゴリサーノ・アワードはSON最高位のアワードで、ライオンズとして初めての受賞です。先日の理事長のMD訪問の際、地区ガバナーへレプリカをお渡しする予定でした。各議長から各ガバナーへお渡ししてください。

#### (8) 各委員会報告

〈ライオン誌委員会〉星野編集長

ライオン誌の発行回数は6回から4回になっていく見込みです。

〈アラート委員会〉山川副理事長

結構批判も多い委員会であるが、別紙の通り被災地への心得を説明。このような形で動いていきたい。まだ組織ができておらず、緊急事態への対策も考えていきたい。

〈YCE委員会〉山本常務理事

9月に第1回会議を開催し、MDと担当国とのYCEは中止となった。担当窓口のばらつきもあり、継続して協議する。

〈国際大会委員会〉鶴嶋常務理事

去る11/15にWEB会議を開催した。現時点では日本からカナダへ入国できない状況であり、大会参加は今後の状況を見て判断したい。来年1/7が早期登録締切りであるが、割当ホテルの予約手続きも不明です。今後渡航できる状況となれば、是非モントリオール大会へ参加して頂きたい。川島国際理事からも来年に希望を託して、早期登録をお願いしたいとのコメントあり。

#### (9) (一般財団法人) 日本ライオンズ許可申請承認について

藏国際理事から既配信メールの通り、名称とバッチ使用の許可をLCIから受けた。森川理事からメール内容(日本語)について質問あり。英語原文の後日入手の依頼あり。

#### (10) ダイナースカード 村木専務理事

法人宛提携手数料の上半期分として62,373円の入金がありました。

#### (11) 公益財団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止センター

添付資料通り

7. その他

山川副理事長個人の提案として、本日複数の提案議案文書（一財の運営等他）の提示があり。出席者で意見交換したが、今後の理事会で再提案していただく方向とする。

16：30、仁科議長により閉会。

以上

2021（令和3）年11月25日

議事録署名人

代表理事 仁科良三 【押印省略】

監事 高橋克文 【押印省略】

監事 福田恵太 【押印省略】

監事 吉見章一 【押印省略】

第8回 SON 夏季ナショナルゲーム広島大会 第1回会議 (ZOOM)  
2022年 1月18日 (火)  
午前11時00分から13時00分

## 会議出席者

理事長 仁科 良三  
副理事長 山川 洋、古川 隆、松岡 勲 (欠席)  
専務理事 村木 秀之  
常務理事 鶴嶋 浩二、下間 俊悦、山本 基博、三宮 秀介、福永 栄一  
法律顧問 池田 和司 (欠席)  
会計顧問 吉田 宗一郎  
事務総長 菅原 雅雄  
LCIF 理事 鈴木 誓男

議事録作成人の指名 鶴嶋 浩二、下間 俊悦

仁科理事長 開会宣言及び委員会メンバーの承認、挨拶

福永委員長 挨拶、大会要項スケジュール配布資料の確認。予算書の変更箇所確認。  
各委員の質問を求める。

鶴嶋委員 参加人数に対してケータリングの数が足りるのか、ボランティアの数が流動的  
なのでこれでいいのかとも思う。

三宮委員 ケータリングは一人1回ずつかどうか？

福永委員長 全体では8,500になる見込みです。

仁科理事長 収入の部で全クラブが5,000円入れたと仮定して、支出の方はそれに合わせて  
44万予備費として残るようにしているが、他に何かやりたいことはあるか？

福永委員長 昨日の広島実行委員会の打合せで、いろいろな要望は出てきているが、具体的  
なものはないので予算化出来ない。先方からの要望を確認する。

仁科理事長 現在の予算書にLCIFの予算は不要ともとれるが如何か？

福永委員長 予算に入っていない宿泊費、輸送費などの委託費はオリンピックの総経費に入っ  
ている。鈴木さんとマーズさんの話なので、私たちのところまで下りてきてい  
ない。結果待ち。

三宮委員 トーチラン助成金20地区10万円は、全国でトーチランをすればその地区でも  
らえるお金なのか？

福永委員長 LCに対してではなく、SONに対しての支出です。  
LCIFからの30万ドルの拠出について、鈴木理事から説明をお願いします。

鈴木理事 この予算書は一部の予算書ではないのか？

福永委員長 2つに分けている。30万ドルの予算書は別途、作成している

- 鈴木理事 全予算は 5,000 万くらいというけれど、有森さんから聞いている話は大会縮小の為、もっと少ないのではないかとトーチランなどを中止して、規模を縮小すると聞いている。宿泊費などの予算が出てこないと話が出来ない。全クラブから全国的に集めると言うてはいるが、当該開催地区クラブが多くを出すという事がなければいけないのでは？LCIF にもこの件を持っていけないのではないかと LCIF に協力してもらったうえで、本部から交付金のような形でお金がきている。LCIF に 1 円も出さずして、30 万ドルくださいというのはあり得ない話。宿泊交通費の 5,000 万はどこから出た数字ですか？
- 福永委員長 23,921,400 円は SO から提出していただいている。交通輸送費として 12,789,348 円、SO からの見積書の金額。合わせて 3,600 万くらいの金額になる。その他ケータリング、メタルリボン、プログラムなどを含めると 46,498,243 円が、当初の概算の予算である。この数字はマーズさんには提出済み。これに対して LCIF から 30 万ドル受け取ると残り 1,300 万ほど不足するので、それを皆さまからご支援願いたいという事で進めている。
- 鈴木理事 予算収入の 2,100 万と 30 万ドル合わせて 5,100 万で全て収まるのか？
- 福永委員長 繰越金と各地区から 1,000 万くらいを見込んでいる。
- 鈴木理事 不足が生じる可能性があるのではないかと？
- 福永委員長 SO の方にはこちらの収入が 5,000 万しかない場合は、それ以上の支出はしないと伝えている。有森さんと広島の実行委員長の温度差がある。1 億を目途としていたが、今、先方が考えているのは 1 億 2,000 万～1 億 4,000 万くらいの費用がかかるという話であった。
- 仁科理事長 地元の広島 LC では、どのくらいの負担を考えているのか？オリンピック、パラリンピックの戻り金を原資とした施策は、どんなことを考えているのか？
- 福永委員長 MD336 としては、全クラブよりの協賛をガバナーにお願いしている。オリパラの返金は、複合としては要求することが出来ない。不足金が生じた場合は MD でもう少し出せないかのお願いはする。
- 仁科理事長 頼まれ仕事で引き受けたと思うが、受けた以上は力強く支援してほしい。MD336 が火柱となってやってほしい。
- 鈴木理事 各クラブ 5,000 円は出すが、それ以上のことはないとの事だが、SON と広島実行委員会の相違が有るので、我々ライオンズにおいては全体の予算については関与することではない。今後の事を考えると 1,000 万と 30 万ドルで予算が組めるようにしないといけない。30 万ドルは天から降ってくるわけではないので LCIF の協力が必要です。
- 福永委員長 SON の実行委員会では、直接地元企業へまわり 3,000 万くらい集めているようだがライオンズクラブは会員のための寄付であるが企業へのお願いもするべきか？

- 鈴木理事           そこは何ら問題ない。知的障害者は全国に 100 万人、SON には 1 万人参加。支出の面だけでなく収入の面でも、より多く集めるような協力や仕組みを考えていただきたい。
- 福永委員長       MD336 では全クラブ支援するのは当然の事、更に募金箱を設置して更なる支援を募る。
- 鈴木理事           MD 単位で 200、300 万をお願いしていただけないか？会員だけに頼るのではなく、日本ライオンズとして発信しては如何か？
- 福永委員長       MD 単位でやっていただければ一番いい。MD 各議長の考えを教えてください。
- 鶴嶋委員           お金が集まらなければどこかを削らなければいけないのが現状。札幌大会でも同じような議論があった。3 地区で分けようか、複合で負担するか協議があった。前回の札幌大会の予算が 1,400 万円に対して 1,000 万しか集まらなかった。不足分については 300 万くらいの個人負担があった。T シャツを倍の金額で買ってもらって 300 万に充てた。SON に関していくと、のびきならない状況に陥ることがあり、140 万くらいのお金をライオンズを通さずに組織委員会に直接負担したこともある。お弁当代や宿泊キャンセル料など、コストカットに努めなければいけないことが経験上あった。
- 菅原事務総長     1,400 万の予算を立てているが今までの経験上、大変難しいだろう。先日オリパラの返金もあったが、今回は各議長が委員を占めており皆様が各地区での啓蒙をしていただき、努力を賜りたい。
- 福永委員長       予算の削るべきところは削り、収入も予算に近づけるようにしたい。
- 仁科理事長       後で足りないからと集めるのは、揉める原因となる。現地では範囲内で出来るように努力してほしい。その為には福永さんには、燃えて頑張ってもらいたい。企業から地元中心に頑張ってもらいたい。LCIF の 3,000 万は常識的にはマッチング資金であり、地元から 3,000 万を用意しないと使えない。鈴木さんからはマッチング資金としてではなく出るような形で買ってもらっている。ライオンズクラブのプライドとして 3,000 万くらい集める努力をするべき。LCIF は資金管理が厳しい。資金が出るようであれば別通帳などを求められる。社団のお金は別通帳で管理してもらおう。今後の為にいいモデルを作してほしい。
- 鈴木理事           名古屋の時は、ピンバッチを 100 円以下で作って、5,000 円で販売したので愛知の支部で 1,000 万位使えた。T シャツを作り、倍くらいの値段で買ってもらいその差額を作った。これを福永さんが、全国展開するのか、336 だけでやるのか、この話がないと前には進まないのではないか。
- 福永委員長       ピンの制作や T シャツの販売の事は聞いておりましたが、皆さんに負担をかけるのは如何なものかと遠慮しております。8 複合がクラブとは別枠で協力してもらえるとすれば有難いのですが、1 複合が 100 万円出してくれることを承認いただけるとすればそれに越したことはない。皆さん持ち帰られて複合で協議されるべきことと思う。ピンは 5,000 円で、T シャツは 3,000 円で販売することを了解いただいた上で、販売数量についても各議長に話を伺いたい。

- 鈴木理事            まずは福永さんがピンを 2,000 個作るので、複合で 1,000 個持つので残りを各地区で割り振りするとかのことを言っていたきたい。
- 福永委員長            地元に戻ってガバ協で協議します。8 複合の議長にも協力していただけることを前提として話したいと思いますが如何でしょうか？
- 仁科理事長            336 のボリュームを決めて熱く語ってもらえれば、ボリュームと同額くらいは皆さんが協力してくれるのではないかと、LCIF から 3,000 万が出るのであれば、今現在 2,100 万位であるが、地区から 3,000 万位は集める努力をするべきではないか。
- 三宮委員              ピン、T シャツの販売はいいアイデアではあるがピン 5,000 円は高いのではないかと 5,000 円だとあまり売れないのではないかと？売れる値段に設定したほうが数出るように思うのだが。
- 鈴木理事              334 でやった時は 5,000 円で売っている。努力してメンバーに買ってもらっている。そうしないとお金は集まらない。
- 三宮委員              福永さんの方で検討してみてください。
- 山本委員              今日ここで全部決めないといけない事じゃないと思う。予備費の金額の少なさを感じた。支出を見直し等、予備費をもう少し増やすことも必要だと感じる。ピン、T シャツの販売については、福永さんに想定を出していただければ皆さんで協力できるのではないかと。
- 下間委員              332 地区では 1 クラブ 5,000 円について既にガバ協で承認を頂いている。ピンについては福永さんからの指示があればガバ協で協力するように協議していきたい。
- 山川委員              1,400 万の予算に関しては、各議長がガバナーにお願いすれば全額集まるのではないかと考えている。私の準地区ではすでに決議してキャビネットを立て替えることとしている。協力的にやっているのだから福永さんも遠慮しないで言っていたきたい。ピンはどのくらい売れるかわからないので予算に組み込むことはおかしいので、余った場合は余剰資金とするべき。
- 古川委員              5,000 円については皆さんに協力してもらえと思う。期限を決めたらいいのでは？資料を末端まで伝わるようにしたい。各クラブ会員まで資料を伝わるようにしていきたい。
- 福永委員長            皆さんの心強いご意見に感謝いたします。ピン、T シャツの販売については再度考えます。1,400 万の予算が不足の場合はもう一度 8 複合に協力をお願いいたします。2 年後には冬季の大会が開催されるであろうと判断しているが、地域差、格差が有るのでお金の集め方や、やり方は若干変わるのはやむを得ない。予算書についてはこれでよろしいでしょうか？鈴木さん如何でしょうか？
- 鈴木理事              これでよろしいかと思えます。
- 福永委員長            仁科理事長、如何でしょうか？

仁科理事長      これで進めてください。

福永委員長      協賛金の振込先についてお知らせしてありますが、これで良ければ挙手をお願いします。札幌大会の余剰金は日本ライオンズ経由で振込むのか、直接振込むのか仁科理事長、如何でしょうか？

仁科理事長      鶴嶋さんに直接振込んでいただくようにしますけれども、福永さんからも宜しくお願いしてください。

福永委員長      鶴嶋議長、直接振込んでもらうようにお願いします。

鶴嶋委員      はい、承知しました。早急に振込させていただきます。

福永委員長      その他で採火式、分化式に今までは LCIF から山田元国際会長と鈴木理事が参加していましたが鈴木さん如何でしょうか？

鈴木理事      4月2日との事だが、オミクロンの事もあるのでもう少し時間をもって判断したい。

福永委員長      案内だけは先に送ります。

仁科理事長      案内でなく特段の配慮を頂いている LCIF にはご招待をしていただければと思います。

鶴嶋委員      予算に満たないときはどのようにするか考えをおこしておいていただきたい。最大限、自分たちで仕上げるというご努力をいただきたい。

福永委員長      最大限努力いたします。これを以て委員会をしめたいと思います。最後に仁科理事長如何でしょうか？

仁科理事長      もし万が一足りなかった場合は、まず 336 で負担して、それでも足りない場合は、全体でやりますから、そのくらいの思いで管理お願いします。

2021-2022 一般社団法人日本ライオンズ  
第3回理事会及び第2回国際理事候補者推薦委員会  
合同WEB会議 議事録

開催日時：2022年1月25日（火）13：30～16：20

場 所： WEB (Zoom)

冒頭、仁科理事長より「村木専務理事がコロナに感染したため、しばらくは活動ができない。復帰するまでの間、専務理事の代理を置くことを審議していただきたい。」と提案があり、セコンドもついたので議案審議となった。

仁科理事長より「松岡副理事長に、専務理事代理を兼務していただきたい。期間は、本日より村木専務理事が復帰するまでの間までとする。」と提案があり、賛成多数で可決。

1. 出席者の確認

理事長 仁科良三  
副理事長 山川洋、古川隆、松岡勲  
専務理事 村木秀之〔欠席〕  
常務理事 鶴嶋浩二、山本基博、三宮秀介、福永栄一  
理 事 森川明治郎、中谷宣巨、伊藤明彦、石橋貞、岡村聖爾、森口孝行  
川島正行、渡部雅文、藏大介、永田賢司、山田實紘、鈴木誓男  
監 事 竹下直義、高橋克文、福田恵太、吉見章一  
国際理事候補者推薦委員会  
委員長/常務理事 下間俊悦  
委 員 石原英司（代理）、荒井善和、菅野文吉、松本元良、藤井大川、中村猛  
川辺信郎〔欠席〕、玉川孝

オブザーバー：

日本ライオンズ・ビジョン2025委員会 委員長 城阪勝喜  
法律顧問 池田和司  
会計顧問 吉田宗一郎  
事務総長 菅原雅雄

定足数の確認 理事22名中21名出席、委員会8名中7名の出席。監事4名中4名出席。従って、本日の合同会議は定足数を満たしている。

2. 議事録作成人の指名及び議事録署名人

常務理事 三宮秀介及び常務理事 福永栄一を指名。議事録署名人は出席した全監事。

### 3. 審議事項

#### (1) 2022-2024 国際理事候補者の選出報告

仁科理事長より、

2022-2024 国際理事候補者の枠が 1 人分日本に回ってきたため、12 月 21 日に国際理事候補者推薦委員会を開催し、翌 22 日付けで理事長及び下間推薦委員長の連名で「2022-2024 国際理事立候補者選出に関する緊急のお知らせ」を発信した。推薦委員会では、「選挙がないように調整すべき」「調整が不調なら選挙すべき」等、種々の意見が出た。私を中心に調整をしてきたが、コロナのせいで候補者との面接ができない。さらにいろいろなお意見、また会則委員会の申し出もあり、この方法を断念いたしました。現在、4 名の推薦の要望が届いています。1 名はクラブ、地区年次大会、複合地区年次大会の推薦等全ての要件がそろっています。後の 3 名のうち 2 名はクラブ推薦があるが、地区および複合地区については年次大会が開催できていないので、地区ガバナーと協議会議長のサインのみ、残りの 1 名はクラブ推薦のみ。ただし、地区ガバナーと協議会議長のサインがない理由書は付いています。

候補者の推薦をどのように進めていくか、皆様のご意見をお聞かせください。

中谷理事

今回、全ての要件が揃っている候補者の推薦要望書を 12 月 21 日の推薦委員会で、どうして確認しなかったのか。そして、なぜ返却したのか。

仁科理事長

12 月 22 日の文書に合わせてほしいとの思いであった。今は、あらためて出している。

中谷理事

推薦委員会の決議事項を理事会の承認もなしに選出手順を示して、候補者を募るということはどういうことでしょうか。

仁科理事長

今回はまず、会則に則って出来るかどうかを考えた。どちらにしてもイレギュラーな事態である。今回は OSEAL から日本ライオンズとして推薦できるかと、日本ライオンズに対して依頼が来た。早速委員会を開いて、今日あたり皆さんにしっかりお話しする段取りでは来たのですが、そこまでは至らなかったということです。

中谷理事

我々は規定に基づいて要望書を提出している。立候補要件を叶えていることの確認を、どうしてしてくれないのですか。

仁科理事長

要件を叶えていることは承知している。

中谷理事

要件を叶えているならば推薦委員会で、なぜ推薦をしてもらえないのか。なぜ新たな立候補者を募らなければならないのですか。その新たな立候補者も複合地区の推薦は取れていないのです。これから推薦を取るならば、来年に立候補をすればよろしいんじゃないですか。12月21日の推薦委員会開催時に、要件を叶えている立候補者はただ一人でした。なぜそこから新たな選出手順に踏み込まなければならないのか、理解できません。ご説明願います。

仁科理事長

先ほども説明したように、推薦委員会には MD 3 3 1 から推薦委員が出ておりますので、力強くそのような意見も出されてきました。

中谷理事

我々の後ろには社団法人の賛助会員がいる。その賛助会員の代表の代議員が推薦を決めて、社団法人の規則どおりに要望書を提出している。それをなぜ邪険に扱うのですか。

松岡副理事長（専務理事代理）

中谷理事と理事長の間で、質問、回答が繰り返されている。

（再度、これまでの経過説明ののち）

この後、理事の皆さんのご意見もお聞きしたいと思いますので、中谷理事、今理事長がお話になった内容でいかがでしょうか。

中谷理事

あと一つだけ。12月21日の推薦委員会開催にあたって、社団から再度要望書を提出してくれと言われ、12月13日に発送している。事実はこの事なのに、無かったように言われるのは、心外です。

松岡副理事長（専務理事代理）

MD 3 3 1 さんからの分も合わせて、推薦委員会で取り扱いを検討させていただいたのが、今年の12月であったと理解している。これで中谷理事いかがでしょうか。合わせて、第（2）項の中で、中谷理事のご意見も併せて、皆さんと議論させていただきたいと思うのですが、いかがですか。

中谷理事

今のご説明では私は納得いきませんが、前に進めていただいて結構です。

## (2) 今後の推薦について

岡村理事

過去の経緯を審議しても進行できないと思う。せっかくいただいた 1 枠を日本のものにするために、英知を集めてもらいたい。国際会則付則第 2 条 3 項の条件は絶対である。絶対条件を満たさなければ資格は無いということを見ていただきたい。資格のない人を、手を挙げたからと言って候補者の中にいれるから、問題が起こる。資格条件に合う人を厳選すべきだ。

森川理事

社団の意思決定は理事会にあり、執行理事会には無い。執行理事会は、理事会の決定したことを執行するのが役目。12月22日の文書は、社団の理事会を経ていない。これについては、理事長はじめ執行理事会は反省してほしい。今後は理事会の決定をもって、社団の意思決定としていただきたい。国際理事立候補について、条件を付加することは会則違反になる。会則を順守して進められることを願います。

仁科理事長

3人の方のご意見、もっともと思います。この件についても、これからのことについても、そういうところに注意して進めていきたい。

山本常務理事

きちっとしたルール通りの運営をしていくという事が我々の結論。今、手を挙げている数名を選挙の対象にする事を提案したい。ただし、エンドースが取れることが前提。

森川理事

国際ルールを順守するならば、地区や複合地区の推薦をとれると仮定して、社団が先に推薦することはおかしい。

山川副理事長

今回手を挙げている方々に OSEAL の面談をしていただき、複合地区のエンドースを得られた方を対象に選挙をすればいいと思う。今回は如何に透明性、公正さをもって進めるかが問題と思う。

菅野推薦委員

このチャンスに日本が一丸となって、推薦ができないのでしょうか。

今、要件を満たしている方をどうして推薦できないのでしょうか。

森川理事

推薦委員会の下間委員長の見解を聞かせていただきたい。

下間推薦委員長（常務理事）

12月21日の推薦委員会では、日程を決めた。

12/25～1/15 立候補受け付け、 2月10日までに推薦候補を決める。

候補者を決める委員会ではないので、最終決定は執行理事会に委任すると決定した。多くのオブザーバーが出席の中、今回は急にイレギュラーで理事の枠が回ってきたので、選挙は難しいという意見が出された。12月22日の文書の中、1月18日の執行理事会は委員会で決めたが、1月20日の面接は理事長が決めたことで、委員会で決まったことではない。

中谷理事

MD331の推薦要望書を見ていただいたか。

下間推薦委員長（常務理事）

見てもいないし、確認もしていない。

中谷理事

7月31日までに社団に提出している。委員長の名前で「今回は枠がないので、委員会の開催も延期します。必要な時が来たら開催させていただきます。」という内容の文書もらった。

下間推薦委員長（常務理事）

事務局から出していただいたように記憶している。

中谷理事

推薦要望書は戻っては来ていない。社団の事務所にあるはずなので、見ていないということがおかしい。

山川副理事長

皆さんがおっしゃることは全てもっともだと思います。前を向いて話をさせていただきたい。他にも立候補したい方があれば、救済策を出すべきというのが執行部の考えです。12月22日の文書については撤回されている。

中谷理事

手続規則の中では、枠の有る無しは書いていない。7月31日までに提出しなければならないとあるので、MD331のメンバーはこれをよりどころにして代議員会を開催し、決議をして提出している。

山川副理事長

そのことについては、その通りです。ただ、現実問題として、数名の方が手を挙げているわけですから、その人たちのことも考えなくてはいけない。

中谷理事

現実問題を言うなら、現にすべての要件を満たしている候補者がいるのであるから、その人を推薦すべきではないか。

山川副理事長

それは乱暴な話です。推薦を取れているからその人に決めろというのは、皆さんが納得しないと思います。これから推薦を取ることもできるのですから。

松岡副理事長（専務理事代理）

活発に意見交換をしていただいておりますが、新たに今回、今までのことは一部撤回されていますが、すでに申請をその文書に沿って、3～4名がだされているので、その取扱いをどうするかを含めたうえで、次の議論をさせていただいた方が前に進むのではないかと思います。

森川理事

撤回されたのであれば、その文書に則って立候補されたのであれば、それは無効だと思います。あらためて、きちっと理事会で精査した、会則に則った案内を出して募集すべきではないですか。

岡村理事

これから推薦を得られると思われる候補者を、俎上に載せるというのはべらぼうな話だ。推薦を受けた候補者に絞るとというのが、妥当な話ではないか。もっと前向きな話をしてもらいたい。

松岡副理事長（専務理事代理）

今、推薦要望書を出されている4名を、完全排除するのではなくて、次の議論の中でどうするか、今後の方針を取り決めたい。議論を前向きに結論を設けていきたいと考えている。

仁科理事長

OECへの届の期日、2月21日が延ばせるものかどうか、山田 PIP お話しいただきたい。

山田 PIP

活発な議論に感心しているのか、驚いているのか、落胆しているのか、複雑な気持ちで聞いていました。日本に枠を一つもらってきたのが、良かったのかどうか。日本から必ず1名出すことが出来るなら、OECへの期限を2月末まで延ばす事を提案して、承認を得ることは可能。まだまだ日本ライオンズは熟していなくて、幼稚園の状態かなと思う。しかし、我々はこれを小、中、高、大学と成長させていかなければならない。これから1か月の間にクリアな形で決めていただき、OECに出していただきたい。じゃんけんの先出し、後出しは問題にならないと思う。

仁科理事長

森川さんのおっしゃる通り、会則に則ってやっていきたい。中谷さんの思いも理解できないと前に進めないと思う。もう一度仕切り直して、2月末までに決めたい。

川島理事（国際理事）

イレギュラーだから仕方ないではなく、イレギュラーだからこそきちんと決まるような、オープンな形になればありがたい。

渡部理事（国際理事）

いろいろな熱い思いで出されていると思う。イレギュラーな世の中ですが、今、出されている方が、全てを網羅されていれば、その方で良いのではないかと思う。

藏 理事（国際理事）

皆さんが納得する方法で結論を出さないと、後で禍根を残す。国際大会で日本は何だと言われてしまう。

永田理事（国際理事）

今までのルールはできるだけ外したくない。現在出ている候補者を優先すべきで、その人に問題があるのなら、それからその後のことを考えていけばよいと思う。

城阪元国際理事会アポイント

仁科理事長を含めて議論をしていただいて、話がまとまらないようでしたら、OSEALで決めていただくのも一つの方法かなと思います。

鈴木理事（LCIF 国際理事）

必携に書かれているのは、本来ローテーションで日本に枠が来た時のこと。ただ、選挙は禍根を残す。国内で選挙をせず、OECにゆだねるのも良いかなとも思っている。

古川副理事長

ひとつお願いがあります。昨日の執行理事会で2時間以上かけて議論した執行理事会の方針を発表させていただけないでしょうか。

松岡副理事長（専務理事代理）

昨日まで議論した一定の方向性を聞いていただくことはよろしいでしょうか。今日の理事会で、一定の方針が決まれば後は委員会に託して、議論していくことも可能です。

三宮常務理事

山田 PIP から OSEAL への推薦を2月末までにしても良いとおっしゃっていただきました。現実的にこの会議を前に進めるために、少し乱暴な意見かもしれませんが、2月中頃までに臨時代議員総会を開催し、そこで推薦を受けた方々を対象に選挙をして、推薦候補を決めるというのはいかがでしょうか。

仁科理事長

会則上は問題ないか。選挙をするからには、選挙管理委員会を立ち上げなければならない。委員長は理事の中から1名、委員は8複合から一人ずつ、ガバナー協議会より任命される。

三宮常務理事

12月22日の文書の中で、1月18日以降の部分は撤回されました。従って臨時代議員総会を開催して、地区、複合の正式な推薦を受けた候補者の選挙をすれば、会員も納得すると思う。選挙管理委員については、本日推薦委員会の委員の皆さんがガバナ

一協議会の任命ですから、地区ガバナーの承認も必要ですが、議長もご出席です。推薦委員の皆さんに選挙管理委員になっていただければ、速やかに選挙管理委員会を立ち上げることが出来ます。

仁科理事長

仕切りのおすからには会則に則ってやりたい。

山川副理事長

エンドースは事後でもよいと思っていたが、皆さんの意見を聞いて考えが変わってきた。臨時代議員総会を開いて推薦を決め、選挙を進めることに賛成。

古川副理事長

執行理事会で決まったことを説明して、それから議論をしてほしいということです。

松岡副理事長（専務理事代理）

皆さん、ご意見ありがとうございます。臨時代議員総会を開いて正式な推薦を受けた方々を対象に選挙を行う。これを選挙管理委員会から、期日も決めた、正式な選挙の案内を発信する。これが、皆さんの大方のご意見かと思います。

森川理事

立候補資格のある元地区ガバナーに、知らせが届くように配信してほしい。

山田 PIP

会員が納得できる形に、如何に近付けるかが大事。臨時代議員総会は対面？Web？もし、日本から1名推薦候補を出すことを確約していただければ、3月末までの猶予を OEC にお願いします。2月21日としたのは、もし日本で出せないなら他の国で検討しなければならないから。

森川理事

会則委員長に確認していただいて、国際会則に則った文書を出していただくようお願いする。

松岡副理事長（専務理事代理）

今後の動きとして、社団、会則委員会、推薦委員会として、全国に再度案内をする。その後選挙を実施して、3月中に OEC に推薦する。という内容で皆さんの賛否を問わせていただく事でよろしいでしょうか。

永田理事（国際理事）

すごくいい形になってきたと思う。3月末まで延ばせたということは、複合地区の理解も得られて進められるので、良いことだと思います。

仁科理事長

決議を取るには、議事扱いにしなければならない。どなたか提案をいただいて、セコンドを入れていただきたい。

三宮常務理事

私から提案させていただきます。

- ・あらためて立候補を募る。
- ・それには、臨時代議員総会を開催して、地区、複合地区の推薦を受けていただく。
- ・推薦を受けた方々を対象に選挙を行う。
- ・各複合地区で選挙管理委員を早急に任命していただく。

以上を提案いたします。

森川理事

**セコンドします。**

**鈴木理事（LCIF 国際理事）**

地区ガバナーが同席していないのに、代議員総会を開催しろというのはいかがなものか。

三宮常務理事

立候補するには、地区、複合地区の推薦が必要ですよという形の案内になります。

山川副理事長

準地区でも理解していただけるのではないか。

仁科理事長

選挙を実施するならば、まず選挙管理委員会を立ち上げなければならない。委員長は理事の中からということなので、昨日の執行理事会では下間常務理事にお願いしようということになったが、皆さんのご意見をお聞かせいただきたい。

諸川理事

三宮会則委員長の動議を議論して決議してから、選挙管理委員会の話に行くべきだ。

福永常務理事

地区、複合地区で、エンドースを受けてもらう話が進んでいるが、すでに提出されている立候補届は開封されたのか。

松岡副理事長（専務理事代理）

開封しました。しかし、新たに選挙についての文書を発信するので、お預かりしている立候補届はいったんお返りする。

福永常務理事

推薦を受けている方以外の立候補届は、いったん返すべきだと思う。

松岡副理事長（専務理事代理）

それでは先程の三宮会則委員長の動議の賛否を問いたいと思います。賛成の方は挙手をお願いします。

賛成多数と認め、この動議は可決されました。この後は、理事長、会則委員会、推薦委員会の3者で相談のうえ、早急に新たな文書を出していただきたい。

## 決議内容

- ① このたびの国際理事候補者推薦選挙については、あらためて立候補者を募る。
- ② 立候補者は、臨時代議員総会にて地区、複合地区の推薦を受ける。
- ③ 全ての要件を満たし、推薦要望書を提出した立候補者を対象に選挙を行う。
- ④ すみやかに選挙管理委員会を立ち上げる。

## 高橋監事

確認をさせていただきたい。動議が出て可決され、MD 3 3 1 以外はリスタートになる。この後は6つのステップがあると思う。

- ① 推薦委員会から、立候補者を募る文書の発信。
- ② いつまでに選挙管理委員会を立ち上げるのか。
- ③ いつまでに代議員総会を開催して推薦を決めなければならないのか。
- ④ 複数立候補があった場合、選挙活動期間をいつからいつまでにするのか。
- ⑤ 開票をいつにするのか。
- ⑥ 3月の何日までに OEC に提出するのか。

これらについて皆さんで共通認識を諮ったうえで、決議に持って行った方が良い。

## 仁科理事長

高橋監事、ありがとうございます。三宮会則委員長、これは可能でしょうか。

## 三宮常務理事

可能だと思います。今、高橋監事の話聞きながら、ざっくりとした日程を思ったのですが、代議員総会を2月いっぱい開催

立候補受付を3月初めから1週間ぐらい

選挙期間を3月中頃から20日ぐらいまで

開票を休み明けの3月21日

OEC への提出を3月25日ぐらいでいかがでしょうか。

## 鈴木理事（LCIF 国際理事）

三宮会則委員長、立候補届を出す場合には、代議員総会を開催しなければならない旨を、文書に明記してほしい。

## 森川理事

選挙期間中の立会演説会等についてはどうか。

## 山川副理事長

ぜひ開催してほしい。

## 森川理事

異議なし。選挙管理委員会で詳細を決めてほしい。

#### 菅野推薦委員

この状況を多くの会員がどのように受け止めるか。この事を忘れないで進めていただきたい。

#### 松岡副理事長（専務理事代理）

今日取り決めていただいた内容については、会則、推薦の両委員会や執行理事会であらためて協議される場もあろうかと思えます。ひとつひとつしっかりと進めていきたいと思えますので、これを持ちましてこの議案を終えたいと思えます。ありがとうございました。

#### 4. その他

- ・一般社団法人日本ライオンズの事務所の再開発問題

#### 城阪日本ライオンズ・ビジョン2025委員会 委員長

皆さん、ご苦労様です。一般社団法人日本ライオンズの事務所の再開発問題について、ご報告させていただきます。

私が、全国の賃貸協会の役員をしている関係で、こういう問題に詳しいだろうという事で、仁科理事長からご指名を受けて、ビジョン2025委員会の委員長を務めさせていただいております。この場をお借りしてここまでの経過報告をさせていただきます。

昨年の9月22日に「八重洲2丁目中地区再開発準備組合」が発足し、その日に第1回目の会合が開催された。10月27日に第2回目の会合が開かれている。

JOTOビルとは2015年6月11日に賃貸借契約をしている。ラッキーなことに、定期建物賃貸借契約ではなく、単なる賃貸借契約で借家権がある。再開発準備組合がこの借家権を認めているので、立ち退き問題を有利に進めていけるのではないかと考えている。過去2回の打ち合わせには、仁科理事長、村木専務理事、菅原事務総長、鈴木LCIF国際理事と私が出席し、問題点を整理しているところです。あと2回ほど打ち合わせをして、何とか良い方向に詰めていければと思っている。日本ライオンズは奉仕団体なので、決して無理な要求はしていません。基本的にお願いしているのは、八重洲の入り口に日本有数の大きなビルが建つわけで、そこへ今の家賃、今の広さで入居できればいいですと、申し入れている。この再開発には全面的に協力すると申し入れているので、正当な要求ではないかと思っている。新しいビルは45000円/坪ぐらゐの家賃が必要。今の坪数を確保しようと思えば、200万円を超える家賃になる。それを何とか今の広さ、今の家賃で新しいビルに再入居させていただけないかと交渉しているところです。ある程度の妥協が必要と思うので、その時には、理事の皆さんに十分検討していただきたい。

来年の早い時期に引っ越しをお願いしたいというのが組合の要求です。ビルの完成は2028年ごろ、地上43階、地下3階の日本でも誇れるようなビルが建設される。

もう少し組合と打ち合わせをして、今年中には理事会に報告できるのではないかと  
思っている。以上です。

松岡副理事長（専務理事代理）

城阪元国際理事会アポイント、ありがとうございました。皆さん、何か質問が  
ありますか。無いようでしたらこれで締めたいと思いますが。

仁科理事長

三宮会則委員長、よろしく申し上げます。

3月10日に理事会を予定しているので、その時に立会演説会ができればいいか  
なと考えます。また、21日が休日なので、22日に開票すれば23日が全国ガバ  
ナー会なので、うまく活用すればいいのではないかと思っている。

以上で本日の会議を閉会いたします。

議事録作成人 MD335 三宮秀介  
MD336 福永栄一

2022（令和4）年1月25日

議事録署名人：

代表理事 仁科 良三 【押印省略】

監 事 竹下 直義 【押印省略】

監 事 高橋 克文 【押印省略】

監 事 福田 恵太 【押印省略】

監 事 吉見 章一 【押印省略】

## 一般社団法人日本ライオンズ 臨時理事会議事要録

開催日時：2022（令和4）年2月2日（水）13：30～16：30

場 所： WEB（Zoom）

### 1. 本日の出席者の確認

理事長 仁科良三

副理事長 山川洋、古川隆、松岡勲（専務理事代理）

専務理事 村木秀之〔欠席〕

常務理事 鶴嶋浩二、下間俊悦、山本基博、三宮秀介、福永栄一〔欠席〕

理 事 森川明治郎、中谷宣巨、伊藤明彦、石橋貞、岡村聖爾、森口孝行

川島正行、渡部雅文、藏大介、永田賢司、鈴木誓男、山田實紘

監 事 竹下直義、高橋克文、福田恵太、吉見章一〔欠席〕

理事総数：22名の内20名出席、監事総数：4名のうち3名出席、理事会の定足数充足

池田和司法律顧問、吉田宗一郎会計顧問、菅原雅雄事務総長

### 2. 開会宣言

松岡専務理事代理は議事運営に関する諸留意事項を説明の上、理事、監事、オブザーバーの出席を確認し定足数を満たしているので理事会成立報告の後、開会の宣言により会議開催。

### 3. 理事長の挨拶

ご出席ありがとうございます。

コロナ感染状況も予断を許さない状況が続いていますが、各地区、MDともご苦勞されていることと思います。くれぐれも健康管理にご留意されることを祈念します。

### 4. 議事録作成人及び議事録署名人の指名

議事録作成人 山川副理事長（MD333 議長）、山本常務理事（MD334 議長）

議事録署名人 理事長、本日出席の全監事

### 5. 配布資料並びに議案の確認： 松岡副理事長兼専務理事代理

前回議事録の承認 前回(1月25日開催)理事会の議事録は完成していないことから本日の資料には入っていないことが事務局から説明があった。

三宮秀介常務理事から前回理事会での決議事項を説明した。①オセアルへの国際理事推薦者の報告を日本から必ず候補者を出すことを条件に3月末に延期していただく。②立候補予定者は地区並びに複合地区での代議員による推薦承認を得た

うえで改めて立候補届を提出いただく。③推薦候補選挙までの日程を次回理事会までに提出する。以上、候補者は国際協会へ提出する立候補届の書式を全て整えることが必要であり、選挙管理委員会が資格審査をしたうえで、複数の候補者がある場合は選挙を実施する。

## 6. 審議事項

(1)「国際理事候補者推薦に関する案内について」 仁科良三理事長より資料に基づき説明。

特別大会とは必携第 59 版地区会則 7 条 2 項、複合地区会則 7 条 4 項で規定する特別大会であることを注記にて追加することとする。特別大会の開催に関してはその手続き等が規定されているので特に注意する必要がある。臨時代議員総会等での決議方法には書面等による方法も過去においては実施されているので、各 MD・地区の状況に合わせて実施することによりよい。

表題は「国際理事候補者の推薦についてのお願ひ」に修正する。本文書発信日を立候補受付開始日として追加する。

**一部修正および追記したうえで賛成多数にて可決。**

(2)「国際理事候補者推薦選挙管理委員会の設置と同委員会の委員長並びに委員(任命のお願ひ)選出」 仁科良三理事長より説明。

選挙管理委員会委員長は理事の中から選任することとなっているので、三宮秀介常務理事を指名する。複数の候補者が出た場合は選挙管理委員会で選挙を実施し、その結果を国際理事推薦委員会へ答申し、国際協会へ提出する。発信人は仁科良三理事長と三宮秀介選挙管理委員長の連名とする。

各 MD から選挙管理委員の任命報告の提出期日については(4)オセアル OEC 推薦までのスケジュールについての議案の中で決定したうえで記載する。

**一部修正したうえで賛成多数にて可決。**

(3)選挙手続き規則第 16 条に定める投票人の確認(特に第一副地区ガバナー・第二副地区ガバナーの住所確認) 仁科良三理事長より説明。

事務局にて選挙人名簿を精査するうえで住所等を各 MD へ確認を依頼する。  
**賛成多数にて可決。**

(4)オセアル OEC 推薦までのスケジュールについて

三宮秀介常務理事から資料 A に記載の日程((1)にて一部修正)に基づき説明。

日程に余裕の無い状況ではあるが、日本国内での手続きがクリアな形で実施され、国際協会への届けが確実なものになることが望まれる。今回の推薦候補者を決める選挙に立候補しないで、後日地区及び MD の推薦決議を取得し 30 日前までに国際協会法律部部長宛てに立候補届を提出し正式に受理された場合、有効な届け

出であることを確認した。今回の推薦選挙の日程と合わせて、ご案内することにする。

3月末までの日程について、各クラブまで伝わるようにすることが必要で、立候補を希望する方に情報がいきわたり、立候補手続きが可能な日程案を提示する。選挙活動他の今後の日程については選挙管理委員会にて検討する。金品を伴う選挙活動を禁止する。

**賛成多数にて可決。**

#### (5)その他

下間俊悦国際理事推薦委員会委員長から発言：

日本ライオンズの国際理事推薦委員会の存在について、日本ライオンズの推薦がなくても国際理事に立候補することは可能であり、この委員会で推薦手続きを実行することは必要なのか疑問を感じる。

過去に国際理事・国際協会第三副会長選挙に於いて地区・複合地区の推薦を得られた候補者が、日本ライオンズの推薦を得ずに立候補して当選したことはない。やはり、日本国内での推薦を得られるかは大変重要なことだと認識している。従って、推薦委員会の役割は大変重要なことだと考える。

本日の理事会での議論は日本ライオンズの将来に対して大変重要な議論であったと思う。

出席した元国際会長・国際理事・LCIF理事からも同様のご意見をいただき、国際理事の推薦に関して大変有意義な議論であったとのご発言をいただきました。

## 7. 報告事項

### (1)職員採用の件 菅原事務総長から報告

現状の事務局の実態を報告の上、面接実施の上一名の採用を報告した。現状の職員の勤務体制を一部変更することで、事務局運営を円滑化する。事務局員の採用及び勤務体制の変更に関して全員了承した。

### (2)理事会・執行理事会の議事録に関して

議事録は会議の進行を円滑にするためにも、我々常務理事が責任をもって決められた期日までに提出することを徹底し、次回開催時の冒頭に承認をえて会議を開催できるようにする。書式も統一したフォームで作成することで、決議の内容が明確に確認できるようにする。

### (3)モントリオール国際大会の登録に関して、川島国際理事に確認

大会に関する新たな情報はない。web 参加の場合の登録に関しても今現在は未定である。

(4)村木専務理事担当のライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会を村木専務理事が復帰するまでの代行として、松岡副理事長兼専務理事代理に委嘱する。

16：30、仁科議長により閉会。

以上

2022（令和4）年2月2日

議事録署名人

代表理事 仁科良三 【押印省略】

監事 竹下直義 【押印省略】

監事 高橋克文 【押印省略】

監事 福田惠太 【押印省略】

### 336 複合地区 臨時ガバナー協議会(WEB) 議事録

日 時：2022年3月8日(火) 13:00~15:00 ※14:15了

出 欠 ※敬称略

2022-2024 年度国際理事候補者 ※会議冒頭ご挨拶のみ		
2019-2020 年度 331 複合地区ガバナー協議会議長 (331-A 地区 美唄 LC 所属) 渡辺 修		
336 複合地区ガバナー協議会顧問/国際理事	渡部 雅文	○
336 複合地区ガバナー協議会顧問/元国際理事	谷野 徹	○
336 複合地区ガバナー協議会顧問/元国際理事	藤井 基博	○
336 複合地区ガバナー協議会顧問/元国際理事	名越 勉	欠
336 複合地区ガバナー協議会 議長 (一般社団法人日本ライオンズ常務理事)	福永 栄一	○
336 複合地区監査 / 前 336 複合地区ガバナー協議会議長 (一般社団法人日本ライオンズ理事)	岡村 聖爾	○
336 複合地区ガバナー協議会 副議長 (C 地区ガバナー)	三島 英揮	○
336 複合地区ガバナー協議会 副議長 (D 地区ガバナー)	大野 美雄	○
336 複合地区ガバナー協議会 幹事 (A 地区ガバナー)	蔵本 守雄	○
336 複合地区ガバナー協議会 会計 (B 地区ガバナー)	平山 智雄	○
336 複合地区 GMT メンバー (A 地区第一副地区ガバナー)	市村 通夫	欠
336 複合地区 GMT メンバー (B 地区第一副地区ガバナー)	西尾 慎一	○
336 複合地区 GMT メンバー (C 地区第一副地区ガバナー)	弓場 秀俊	○
336 複合地区 GMT メンバー (D 地区第一副地区ガバナー)	中島 繁	○
次期 336 複合地区ガバナー協議会議長予定者	池原 堅	○
336 複合地区 GLT メンバー (A 地区第二副地区ガバナー)	山崎 勝彦	欠
336 複合地区 GLT メンバー (B 地区第二副地区ガバナー)	藤井 信英	○
336 複合地区 GLT メンバー (C 地区第二副地区ガバナー)	三口 巖	○
336 複合地区 GLT メンバー (D 地区第二副地区ガバナー)	山崎もとみ	○
336 複合地区事務局運営委員会委員長	森田 安芸彦	○
336 複合地区事務局運営委員会委員 (A 地区キャビネット幹事)	長尾 和彦	○
336 複合地区事務局運営委員会委員 (B 地区キャビネット幹事)	山田 隆嗣	○
336 複合地区事務局運営委員会委員 (C 地区キャビネット幹事)	高東 信男	欠
336 複合地区事務局運営委員会委員 (D 地区キャビネット幹事)	山崎 敏弘	欠

司会進行：336 複合地区事務局運営委員会委員長 森田 安芸彦

挨拶	
336 複合地区ガバナー協議会顧問/国際理事	渡部 雅文

2022-2024 年度国際理事候補者について 2 名が立候補している。1 名は MD331 の渡辺 修候補者、もう 1 名は MD333 の長澤千鶴子候補者であるが、2 名とも私、福永議長、岡村前議長の同期のガバナーにあたる。MD336 としては渡辺 修候補者を一丸となって応援することとする。

挨拶	
2022-2024 年度国際理事候補者	渡辺 修

様々な自然災害に加え、この 21 世紀にロシアのウクライナ侵攻というまさかの事態、非常に混沌とした時代をむかえている。一日も早い平和と平穏な日々を祈る。ライオンズクラブの奉仕活動は、人として人の為に何が出来るか、世界中の方がよりよく生きていくための活動である。また、同時に会員あつての活動である。

We Serve の理念の元で立候補をさせていただいた。国際協会とのパイプ役となり一意専心取り組む。あたらためて投票人の皆様のもとへ経歴と所信表明、リーフレット等を選挙活動ルールに基づきお送りさせていただくのでご一読いただきたい。

挨拶	
前 336 複合地区ガバナー協議会議長（一般社団法人日本ライオンズ理事）	岡村 聖爾

今回残念ながら選挙による国際理事推薦という形式をとることとなった。当初昨年度よりエンドースされていた渡辺 修さんを推薦すべきであると申し上げたが、それに関しては議事録にも記載されることがなかった。選挙は禍根を残す。かつてより地域を大切に、地域を代表する国際理事を選出することを旨としてきたが、いつの頃からかローテーションもなくなってしまった。立候補者が複数であるケースは前回もそうであったが、前ははかるうじて 2 つの選出枠が確保出来たため争いは免れた。MD336 は谷野元国際理事、藤井元国際理事のご指導の下“出たい人”ではなく“出した人”である渡辺 修さんを推薦することで一本化していただければありがたい。今後はこのような無理な選挙戦を招くことがないよう一本化を望む。この背景も考慮して貴重な一票を投じていただきたい。渡辺 修さんは国際理事として最適であると認識しており、今後に期待をしている。

※以後臨時ガバナー協議会

開会宣言および挨拶	
現 336 複合地区ガバナー協議会議長（一般社団法人日本ライオンズ常務理事）	福永 栄一

ローテーションを無視した状態、また、ことばや道理によって容易に解決できないことも、金銭の力で思いのままになるような部分がライオンズの組織の中に垣間見ることがある。LCIF 寄付を 100 口すべきである等任意性を逸脱した様々な話が飛び交っている。エンドース本来の意味を考えると、既にクラブ、準地区、複合地区で承認をされている方がいるにも関わらず、なぜわざわざ選挙を行うのか理解し難い。また、当初は選挙どころか一般社団法人日本ライオンズが全てを独断専行する流れであったが、それについては会則委員長が違反を言い渡し白紙撤回となった。今回の選挙に至るまでにはこのような経緯があったが、今後選挙はあるべきではない。渡辺 修氏を強く推薦したい。

挨拶	
336 複合地区ガバナー協議会顧問/元国際理事	谷野 徹

国際理事候補者推薦の話はもとより、その他多くの議題が並んでいる。今月開催される第 4 回ガバナー協議会に向けて本日の会議が有意義な時間であればと願う。

挨拶	
336 複合地区ガバナー協議会顧問/元国際理事	藤井 基博

国際理事候補者推薦については各複合地区から広く平等に選出していただくことが筋ではないかと感じる。世界が混迷している時代であるが、ライオンズクラブは国際協会であるので国際的視野に立ち協調し合う奉仕団体として真っ当に物事を進めるべきである。

議題 1	
2022-2024 年度国際理事候補者推薦選挙について	

- 【一社日 L】 第 6 回執行理事会議案（2022/3/1 開催）…………… P3
- 【一社日 L】 第 1 回国際理事候補者推薦選挙管理委員会議事録（2022/2/16 開催）…………… P4～8

福永議長より資料に基づいて話があった。

- ・開票作業日は 3 月 29 日（火）
- ・MD333 長澤千鶴子立候補者については 3 月 7 日にエンドースされた。

議題 2	
一般社団法人日本ライオンズ次期組織について	

福永議長より下記話があった。

- ・執行理事会にて現一般社団法人日本ライオンズ仁科理事長の 2 期目続投について反対を表明した。
- ・昨年度の執行理事から今年度の執行理事への交代の際に、印鑑証明を添えて実印を押印する作業が必要となり、これに 8 月まで時間を要し空白期間が生じた。今期から次期への事務処理軽減と空白期間をなくす為、仁科理事長と一般財団法人日本ライオンズ不老理事長（元国際理事）、城阪ライオ

ンズ大学校長（元アポイント）を理事としてまず割り当て、その後増員する流れについて発言があった。詳細は3月10日の理事会、その後の社員総会での議題に含まれる。3月24日・25日のガバナー協議会と役員連絡会議でも進捗について報告を行う。

### 議題3

一般社団法人日本ライオンズ事業について

#### ①70周年記念事業

福永議長より下記話があった。

執行理事会の中で車椅子を1万台寄贈する為、1人あたり2000円の拠出依頼があったが、まず各地区ガバナーへの相談が必要となる旨を伝えた。その後、日本ライオンズ菅原事務総長より内容についてはまだ詰められていない為白紙の状態にしてもらいたいとの連絡を受けた。

#### ②ウクライナ人道支援金拠出

ウクライナ侵略による避難民・難民支援について(複合地区・地区寄付報告)……………P9～13

福永議長より下記話があった。

- ・食糧、医療物資提供支援となる。
- ・各地区単位で取り纏め、指定口座へ振込む流れで即刻協力をお願いしたい。※任意
- ・各地区宛でOSEAL 調整事務局 LCIF 日本担当窓口から寄付に関する資料が配信されている。
- ・EU と歩調を合わせウクライナのライオンズクラブへの支援も行う方向で動いている。
- ・3/24.25 のガバナー協議会・役員連絡会議でもあらためてお話をさせていただく。

### 議題4

一般財団法人日本ライオンズ事業について

#### ①第1回全国特別支援学校フットサル大会

地区担当者及び特別支援学校校長一覧……………P14

福永議長より資料に基づいて下記話があった。

- ・一般財団法人日本ライオンズ主催で2022年11月に札幌にて全国大会が開催される。予選会を日本各地で開催。人的応援の要請がありA,B地区ガバナーへお伝えした。

※中国地区（岡山）担当クラブ：岡山西ライオンズクラブ

※四国地区（愛媛）担当クラブ：未定（3/8現在）

蔵本ガバナーより下記話があった。

一般財団法人日本ライオンズが一方向的に決めた事業であると感じる。担当クラブを探しているが未だ見つからない。今後も見つからない場合、一般財団法人日本ライオンズから各地区大会へ拠出される150万円（用途：旅費/宿泊費/食費 etc…）をウクライナ支援に充てるべきではないか。

⇒

福永議長より下記回答があった。

拠出金150万円は一般財団法人日本ライオンズから開催校へ直接届くと聞いている。3/26に財団理事会が開催されるがLCIF 真備町水害復興支援事業贈呈・落成式と重なり欠席となる。後日議事録を確認し、加えて専務理事にも質問をする。

一般財団法人日本ライオンズの余剰金は3千数百万円であるが、この事業で3千万円を使用する。皆様からの寄付で成り立っており、今後寄付が再度依頼される可能性も考えられる。

### 議題5

SON 広島大会経過報告について

ボランティア募集要項・アンケート（企業/団体用）……………P15～19

森田事務局運営委員長（SON 広島大会実行委員）より資料に基づいて下記話があった。

- ・添付資料はSOからの一般の方を含めたボランティアへの募集要項となっており、既に8MD内に配信済み。4000人程度のボランティア確保を目標とする。
- ・MD336ではライオンズ委員会としてサポートを行う。一般の方で手伝いを希望される方がいる場合は別添の資料でお申し込みいただきたい。

### 【経過報告】

- ・第2回ガバナー協議会で336-C地区に委嘱をしたライオンズ委員会が2月に立ち上がり、11月の大会当日における労件担当クラブも三島ガバナーのご尽力により決まり始めた。
- ・4/2全国トーチランが広島市にて開催、2/28に概要を8MD内に配信済みであるが、コロナ禍対応を含め若干の変更が生じる。
- ・本日3/8夜にSOサイドで他県からの来賓について等含めトーチラン大会実施規模について協議が行われる。追って詳細をご報告する。
- ・ライオンズ委員会として広島から20名程度の動員を希望されている為、三島ガバナーに人選をご依頼している。
- ・ピンバッジ、Tシャツ、幟関連、トーチラン必要用品等制作を開始している。
- ・2/28時点での8MD内からの協賛金入金状況は2,130,000円。
- ・336-C地区内各クラブで募金箱を製作、設置。A,B,D地区でもご協力をいただきたく製作準備中。
- ・SON 概要PR映像を制作中。完成後8MD内各クラブへ配信予定。協賛金の拡大につなげたい。

福永議長より下記話があった。

- ・MD331からの前回札幌大会繰越金は6,646,441円(2022/1/19入金確認)
- ・協賛金は最低2000万円必要となる。3月末に8MD内各キャビネット事務局より(※一部キャビネット事務局からは既に集約分入金済み)MD336へ入金される。
- ・3/24.25ガバナー協議会・役員連絡会議で再度開催地MD336として協力をお願いする。

### その他

- ①ライオンズ必携 複合地区会則の一部改定について  
ライオンズ必携第59版改定案 ..... P20

福永議長より資料に基づいて話があった。

※ライオンズ必携の刷新はなし

- ②ケンタッキー州竜巻被害へのご支援  
報告 ..... P21

福永議長より資料を一読いただきたいとの話があった。

- ③第104回モントリオール国際大会について  
大会：2022年6月24日(金)～28日(火)  
ガバナーエレクトセミナー：6月23日(木)

福永議長より下記話があった。

- ・現地でのREAL開催一本で決定したので、特にガバナーエレクトセミナーを受けることとなる現第一副地区ガバナー各位には必ず参加していただきたい。
- ・国際理事候補者選挙についても投票は現地参加者のみでの実施となる予定。
- ・MD336オフィシャルエージェントは近畿日本ツーリスト岡山支店となっている。3月末まで早期登録料は100ドル。中止の場合は返金。

### 【当日資料：3ページ分】

- ①336複合地区第68回年次大会 開催内容変更について(案)
- ②前夜祭の会場変更のご案内アクセスマップ
- ③336複合地区第68回年次大会事務局からのお願い

森田事務局運営委員長より下記話があった。

- ・感染拡大防止飲食ガイドラインに伴って前夜祭会場を変更する。  
5/21(土)前夜祭 ANAクラウンプラザホテル広島 ⇒ 広島グランドプリンスホテル
- ・本日(3/8)時点での大会登録者数は1295名、代議員登録者数は861名、前夜祭登録者数は360名
- ・大会記念誌原稿未提出の方へ再度ご依頼。締切日：3/15
- ・大会式典について、ガバナー、次期議長、ガバナーエレクト各位にはぜひご同伴者様との出席をお願いしたい。準備の都合上4/8までに連絡をいただきたい。
- ・前夜祭会場変更に伴って、議事運営委員会(5/21開催)の時間と会場の変更が生じている。別添当日資料をお目通しいただきたい。

- ・三島ガバナーより MD330 と MD337 からの国際理事候補者について質問があった。  
⇒  
福永議長より 2 名についてはそれぞれの準地区で推薦されなかった為辞退となったとの回答があった。
- ・谷野元国際理事よりウクライナへの支援について戦況が落ちついてから行うべきではないか、支援のシステムは機能するののかとの話があった。  
⇒  
福永議長より国際協会からの要請に沿って一般社団日本ライオンズが動いている。支援については可能であると聞いているとの話があった。
- ・三島ガバナーよりウクライナへの 1 人あたり 1000 円の寄付について、OSEAL 調整事務局 LCIF 日本担当窓口への送金締切について質問があった。  
⇒  
福永議長より送金は即始めていただいても構わない、なるべく早い方がよいとの回答があった。

議事録署名人：336 複合地区ガバナー協議会 議長 福永 栄一  
承認年月日：2022 年 3 月 10 日

福永 栄一

血 中 献 第 39 号  
令 和 4 年 2 月 15 日

ライオンズクラブ国際協会 336 複合地区  
ガバナー協議会議長 福永 栄一 様

日本赤十字社  
中四国ブロック血液センター  
所 長 小林 正夫



令和3年度における献血推進状況について

謹啓 向春の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素から、血液事業並びに献血の推進につきましては格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本年度におきましては新型コロナウイルスの感染に対しワクチン接種等により感染拡大が落ち着いたかと思われたところ、新たなオミクロン株により感染が急拡大し、移動献血会場の中止なども相次ぎ、振替先の確保なども苦慮しているところです。

このような状況のなか、ライオンズクラブ 336 複合地区の皆様には献血推進に多大なご協力を賜り、中国・四国地方においては輸血用血液製剤の在庫確保が維持できましたこと、重ねてお礼申し上げます。

この度、本年度上半期におけるライオンズクラブ様の献血推進状況を取りまとめましたことから、別紙のとおりご報告いたしますので、ご査収くださいますようお願いいたします。

謹白

# 令和3年度上半期におけるライオンズクラブ様との献血推進・協力実績

【令和3年7月～12月】

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	合計
対象期間献血者数 (合計)	195	2,775	2,951	3,857 (内ルー△動員243)	2,979	2,236	4,447	5,107	2,549	27,096
協力日数 (稼働数)	10.3	54.1	48.2	62.0	49.4	46.7	68.0	81.6	70.5	490.8
1日当たりの献血者数	19	51	61	59	60	48	65	63	36	51.4
対象期間における 各県総献血者数	11,062	11,288	40,296	60,817	25,857	14,334	19,129	26,583	14,576	223,942
中四国内総献血者数に占める ライオンズクラブ献血者数の割合	1.8%	24.6%	7.3%	6.3%	11.5%	15.6%	23.2%	19.2%	17.5%	12.1%

## 第1回国際理事候補者推薦選挙管理委員会 議事録

日時：2022年2月16日(水)13:30~16:00(ZOOM会議)

### ◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ理事長 仁科 良三 (334-E 地区 長野みすず LC)

国際理事候補者推薦選挙委員会委員長 (MD335 議長) 三宮 秀介 (335-A 地区 神戸須磨 LC)

各複合地区委員：

330 複合地区推薦選挙管理委員 田中 明 (330-C地区 和光 LC)

331 複合地区推薦選挙管理委員 荒井 喜和 (331-A 地区 札幌清田 LC)

332 複合地区推薦選挙管理委員 菅野 文吉 (332-D 地区 川俣 LC)

333 複合地区推薦選挙管理委員 松本 元良 (333-D 地区 伊勢崎佐渡 LC)

334 複合地区推薦選挙管理委員 藤井 大川 (334-A 地区 名古屋サウス LC)

335 複合地区推薦選挙管理委員 中村 猛 (335-B 地区 牧方 LC)

336 複合地区推薦選挙管理委員 安田 克樹 (336-C 地区 竹原 LC)

337 複合地区推薦選挙管理委員 古川 隆 (337-A 地区 福岡くしだ LC)

オブザーバー： 国際理事候補者推薦委員会委員長 (ガバナー協議会議長)

下間 俊悦 (332-F 地区 男鹿 LC)

事務総長 菅原 雅雄 (330-A 地区 東京掘留 LC)

1. 開会のあいさつ 委員長 三宮秀介  
委員長を拝命いたしました、335 ガバナー協議会議長です。
2. 出席者紹介及び議事録作成人の指名 委員長により MD330 田中明 MD334 藤井大川 指名される
3. 理事長のご挨拶 理事長 仁科良三  
規則により日本ライオンズの理事の中から委員長をお願いしている。12月22日第1回国際理事候補者推薦委員会が行われ、会則委員会・執行理事会が開催された。1月25日第3回理事会及び第2回国際理事候補者推薦委員会が開催され、そこで選挙管理委員会の選挙で決定することになった。
4. 議事  
(1) これまでの経過説明  
本年度2名の国際理事がモンテリオール国際大会にて選出された、本来であれば1名の日本の枠であったがフィリピンが候補者を絞れず、日本から2名の立候補者が有るので枠を譲って貰っ

た。本年度は枠が無かったが10月ごろからフィリピンもまだ1名に絞れない、香港も時間がないと辞退され、日本から出してもらいたいとなった。3月の末までに1名の候補者に絞ることになった。2月2日の理事会で委員長に選ばれた。

## (2) 議事項目

各委員意見を述べ合い最後に集約確認をする。

### ① 推薦候補者決定までのスケジュール(案) 別紙1

開票作業日を3月29日(火)とする。

### ② 選挙管理委員会の業務

イ. 3月18日資格審査ののち、候補者の情報を会員に知らせなければならない。

その内容と、方法

投票人には投票用紙と候補者情報を知らせるだけで無く、一般会員にどのように知らせるか候補者の情報をメールやホームページに掲載する。

候補者情報の開示はすべきである。情報の量は規定する。

ロ. 投票人の名簿確認。投票人に対して投票用紙と候補者の情報を記載した文書を送付しなければならない。

各複合において、指名されている選挙人の名簿・住所の確認および郵送用宛名シールを日本ライオンズ事務所に送ってもらう。

投票人は国際理事候補者推薦選挙手続規則16条に規定。

返信用封筒には、白紙の封筒に入れた投票用紙を入れる。

ハ. 選挙活動の期間とその内容

立候補届を出してから投票の前日まで。準地区・複合地区の推薦を得てから届出書を出すことになっている。選挙期間に差ができる。選挙期間迄でも良くないか?

選挙活動期間をなるべく長くしてもらいたい意見もある。規則に違反しない期間で。

今回は差が出て仕方がない、推薦書が届いた時点から複合の大会で推薦を受けた翌日からなど意見が有る。

複合の推薦を受けた翌日から18日23時59分までとする。

※活動内容は如何するか

立会演説会とか、ホームページに動画を乗せるとか、SNSの活用などをどうしていくか。投票人の情報の開示は如何するか、開示しないか。クリーン選挙であるべき。名前地区役職などの開示か。どこまでの物で選挙活動をするか。地区クラブ名がわかれば、投票人に渡る。郵便であれば何からかの金品が入っていると勘ぐられるといけない、メールで文書送付がクリーンである。動画の開示があれば立会演説会を開か無くても良くなる。ホームページの制作費用は候補者負担となる。

クラブへ郵送する文書・メール・ホームページに載せる動画などが活動になる。SNSなどの規制は難しい。

ニ. 開票作業日 場所(日本ライオンズの事務所)、立会人?

最高得票者が2名以上の場合、どうするか。

選挙管理委員が日本ライオンズの事務所で行う。立会人も必要・理事会からの立会人

も人数を制限して認める。

複数人の最高得票者があった場合、再選挙は時間的に難しい。一人に絞る方法が規則に書かれていない。日本ライオンズ理事会に任せる。

複数名有った場合はその時に考える。

ホ. 開票結果が確定ののち、選挙管理委員長より、一般社団法人日本ライオンズの仁科委員長に報告する。

へ. その他

選挙活動として、挨拶に各地区を回ることの規制はしない。

確認・まとめ

○開票作業は3月29日(火)とする。18日資格審査は委員会で行う。29日午後より開票作業を行う。開票作業は委員が集合して、日本ライオンズ事務所または人数の加減でホールを借りる。選挙管理委員会が携わり候補者の立会人も認める。その他日本ライオンズからの立会人も認める。

○選挙活動の期間は、各候補者が複合地区の推薦を受けた翌日から3月18日までを期間とする。候補者によって期間が異なってくる。

○投票人・地区・クラブ名は公表する。候補者からのアプローチはクラブを通して文書などの送付をする。SNS等は規制のしようが無い。候補者の各地区・クラブ等への訪問は候補者の判断に任せる。管理委員会として立ち入らない。

○候補者の情報はメールで行う。複合地区→準地区→各クラブと送られる。日本ライオンズのホームページに掲載する。候補者が希望すれば動画等も掲載する。費用は候補者負担とする。

○投票人に対して、投票用紙・返信用の封筒・白紙の封筒及び各候補からの資料をつけて送付する。

○最高得票者2名以上ある場合は日本ライオンズに任せる。

## 5. 次回委員会の開催日

3月18日 午後 ZOOMにて

必要があれば、開催の連絡をする。

## 6. 閉会挨拶

委員長 三宮秀介

ローテーションが無くなりほぼ毎年選挙がある。可能性が出てきている。この選挙が試金石と成る。

議事録作成者 MD330 田中 明  
MD334 藤井大川



2022年2月21日

ライオンズクラブ国際協会 MD330~337  
複合地区ガバナー協議会議長 各位  
地区ガバナー 各位

一般社団法人日本ライオンズ  
理事長 仁科良三  
国際理事候補者推薦選挙管理委員会  
委員長 三宮秀介

### 国際理事候補者推薦選挙についてのお知らせ

拝啓 余寒の候、各位におかれましては、ますますご清栄にてライオニズムの高揚にご精進のことと存じます。さて、このたび標記の選挙を実施するにあたり、去る2月16日(水)第1回国際理事候補者推薦選挙管理委員会(以下 選挙管理委員会とする)を開催し、今回の選挙を下記要領にて実施することといたしました。

#### 記

##### 1. スケジュール

- 2月4日(金) 推薦要望書 受付開始  
(この間に候補者の所属する準地区、複合地区では特別大会を開催し、推薦を決議する)
- 3月15日(火) 推薦要望書 受付締切(当日の消印有効)
- 3月18日(金) 資格審査  
資格審査ののち、候補者のリストと投票用紙を投票人に送付
- 3月19日(土)~25日(金) 投票期間(25日の消印まで有効)
- 3月29日(火) 開票作業(候補者は立会人を立ち合わせることができる)  
推薦候補者の確定(最高得票者をもって、日本ライオンズの推薦候補者とする)  
結果を各複合地区、準地区に発信  
同時にオセアル調整事務局にも提出

##### 2. 推薦要望書の提出

推薦を希望する候補者は、上記の期間内に推薦要望書を複合地区ガバナー協議会議長経由で、選挙管理委員会に提出しなければならない。

推薦要望書には、下記の書類を添付するものとする。

- (a) 候補者の氏名、履歴、所信を記載した書面
- (b) 所属する準地区及び複合地区大会での推薦決議が記載された議事録の写し
- (c) クラブ会長、地区ガバナー、複合地区ガバナー協議会議長の推薦書

##### 3. 資格審査は、選挙管理委員会が行う。



資格審査を終えた候補者の情報（氏名、履歴、所信）を、複合地区、準地区にメールで送信し、同時に一般社団法人日本ライオンズのホームページに掲載する。

候補者の情報と投票用紙を投票人に送付する。

#### 4. 選挙活動とその期間

選挙活動の期間は、候補者が複合地区の推薦決議を受けた翌日から投票開始の前日までとする。

選挙活動については、当たり前のことであるが、金品の提供は禁止する。SNSの活用、投票人のクラブや本人を訪問することはとくに規制はしないが、コロナ禍の時期でもあり、相手方の意思を尊重すること。また、投票人へのアプローチは、投票人の所属クラブを通して行うこととする。

一般社団法人日本ライオンズのホームページに静止画像や動画を投稿することを認める。ただし、その費用は候補者の負担とする。

#### 5. 開票作業は、3月29日（火）14:00 から、一般社団法人日本ライオンズの事務所、または選挙管理委員会が用意した会議室で行う。

開票時に候補者は立会人を立ち合わせることができる。

以上

このたびの国際理事候補者推薦選挙は、日本の8複合地区としては久しぶりのことであり、一般社団法人日本ライオンズとしても発足以来初めての選挙です。選挙管理委員会のメンバーもこのような役職は初めてで、手探り状態で進めておりますが、全力を尽くして公明正大、正々堂々とした、ライオンズクラブに相応しい選挙にしたいと思っております。会員皆様のご協力、ご支援を切にお願い申し上げます。

敬具

日本ライオンズクラブ クラブ数・会員数

2022年2月末現在 国際本部集計

\*増減及び入退会等は期首からの累計

	クラブ数	新結成	解散	クラブ数増減	会員数	入会者数	退会者数	会員数増減	男性会員数	女性会員数	女性の割合	専従会員(子会員)	子会員の割合	男性子会員数	女性子会員数	子会員を除く会員数
330-A	192	0	1	-1	5,691	316	192	124	4,097	1,594	28.0%	1,455	25.6%	498	957	4,236
330-B	151	0	0	0	3,729	156	133	23	3,121	608	16.3%	355	9.5%	104	251	3,374
330-C	73	0	1	-1	1,825	74	80	-6	1,508	317	17.4%	231	12.7%	79	152	1,594
330MD	416	0	2	-2	11,245	546	405	141	8,726	2,519	22.4%	2,041	18.2%	681	1,360	9,204
331-A	72	1	1	0	2,431	116	108	8	1,994	437	18.0%	329	13.5%	74	255	2,102
331-B	74	0	0	0	2,191	62	70	-8	1,801	390	17.8%	312	14.2%	47	265	1,879
331-C	44	0	0	0	1,555	52	72	-20	1,274	281	18.1%	242	15.6%	66	176	1,313
331MD	190	1	1	0	6,177	230	250	-20	5,069	1,108	17.9%	883	14.3%	187	696	5,294
332-A	57	1	0	1	1,880	91	44	47	1,426	454	24.1%	356	18.9%	75	281	1,524
332-B	50	0	0	0	1,983	53	52	1	1,312	671	33.8%	693	34.9%	131	562	1,290
332-C	55	1	0	1	1,558	85	59	26	1,120	438	28.1%	389	25.0%	85	304	1,169
332-D	68	0	1	-1	2,282	78	77	1	1,716	566	24.8%	506	22.2%	114	392	1,776
332-E	52	0	0	0	1,705	67	38	29	1,370	335	19.6%	270	15.8%	48	222	1,435
332-F	45	0	0	0	1,272	38	36	2	921	351	27.6%	291	22.9%	54	237	981
332MD	327	2	1	1	10,680	412	306	106	7,865	2,815	26.4%	2,505	23.5%	507	1,998	8,175
333-A	70	0	1	-1	2,703	138	95	43	2,289	414	15.3%	224	8.3%	71	153	2,479
333-B	45	0	1	-1	1,445	58	46	12	945	500	34.6%	425	29.4%	108	317	1,020
333-C	112	0	2	-2	2,818	117	140	-23	2,216	602	21.4%	348	12.3%	121	227	2,470
333-D	49	0	0	0	1,919	88	85	3	1,426	493	25.7%	457	23.8%	107	350	1,462
333-E	81	1	0	1	4,210	189	160	29	2,985	1,225	29.1%	1,293	30.7%	400	893	2,917
333MD	357	1	4	-3	13,095	590	526	64	9,861	3,234	24.7%	2,747	21.0%	807	1,940	10,348
334-A	110	0	0	0	5,430	314	159	155	3,725	1,705	31.4%	1,659	30.6%	344	1,315	3,771
334-B	76	0	1	-1	3,836	104	138	-34	2,827	1,009	26.3%	1,097	28.6%	259	838	2,739
334-C	75	0	1	-1	2,999	118	140	-22	2,579	420	14.0%	290	9.7%	39	251	2,709
334-D	93	0	0	0	4,793	171	169	2	3,390	1,403	29.3%	1,352	28.2%	233	1,119	3,441
334-E	49	0	0	0	2,365	70	45	25	1,653	712	30.1%	677	28.6%	163	514	1,688
334MD	403	0	2	-2	19,423	777	651	126	14,174	5,249	27.0%	5,075	26.1%	1,038	4,037	14,348
335-A	69	0	0	0	1,813	100	72	28	1,417	396	21.8%	145	8.0%	29	116	1,668
335-B	151	0	2	-2	6,394	357	247	110	4,529	1,865	29.2%	1,577	24.7%	347	1,230	4,817
335-C	102	0	0	0	3,716	177	103	74	3,081	635	17.1%	345	9.3%	85	260	3,371
335-D	57	0	1	-1	1,742	64	62	2	1,391	351	20.1%	233	13.4%	52	181	1,509
335MD	379	0	3	-3	13,665	698	484	214	10,418	3,247	23.8%	2,300	16.8%	513	1,787	11,365
336-A	139	0	1	-1	5,375	269	308	-39	4,126	1,249	23.2%	836	15.6%	161	675	4,539
336-B	87	0	0	0	2,619	112	123	-11	2,181	438	16.7%	238	9.1%	46	192	2,381
336-C	81	0	1	-1	3,019	129	113	16	2,482	537	17.8%	378	12.5%	73	305	2,641
336-D	88	0	0	0	2,754	115	114	1	2,417	337	12.2%	127	4.6%	17	110	2,627
336MD	395	0	2	-2	13,767	625	658	-33	11,206	2,561	18.6%	1,579	11.5%	297	1,282	12,188
337-A	113	1	1	0	4,593	256	186	70	3,412	1,181	25.7%	790	17.2%	157	633	3,803
337-B	63	0	1	-1	2,293	111	91	20	1,862	431	18.8%	305	13.3%	55	250	1,988
337-C	73	0	0	0	3,216	93	108	-15	2,235	981	30.5%	954	29.7%	268	686	2,262
337-D	68	1	0	1	2,188	188	86	102	1,786	402	18.4%	231	10.6%	52	179	1,957
337-E	55	0	0	0	1,731	67	63	4	1,405	326	18.8%	254	14.7%	76	178	1,477
337MD	372	2	2	0	14,021	715	534	181	10,700	3,321	23.7%	2,534	18.1%	608	1,926	11,487
総計	2,839	6	17	-11	102,073	4,593	3,814	779	78,019	24,054	23.6%	19,664	19.3%	4,638	15,026	82,409

2021-2022 年度  
第 3 回全日本スペシャルティクラブ・FWT 会議 議事録

日 時：2022 年 1 月 19 日（水）11：00～12：00

会 場：愛知県名古屋市「浅田」

司 会：L 伊藤 和子（東日本世話人）

【出席者】

GAT エリアリーダー（スペシャルティクラブ・FWT 担当）	L 長澤 千鶴子
330 複合地区スペシャルティクラブ・FWT コーディネーター	L 小川 晶子
331 複合地区スペシャルティクラブ・FWT コーディネーター	L 設楽 幸子（欠席）
332 複合地区スペシャルティクラブ・FWT コーディネーター	L 吉方 裕子（欠席）
333 複合地区スペシャルティクラブ・FWT コーディネーター	L 伊藤 和子【世話人】
334 複合地区スペシャルティクラブ・FWT コーディネーター	L 村木 峰子
335 複合地区スペシャルティクラブ・FWT コーディネーター	L 鯖江 敏子
336 複合地区スペシャルティクラブ・FWT コーディネーター	L 有本 みどり【世話人】
337 複合地区スペシャルティクラブ・FWT コーディネーター	L 古賀 京子
スペシャルティクラブ・FWT 顧問（特別アドバイザー）	L 高橋 かず子

【進行】

1. 開会。司会による出席者確認

2. GAT エリアリーダー挨拶 L 長澤 千鶴子

3. 複合地区現況報告

【MD330】上半期 9 支部結成（全てスペシャルティ支部）、下半期は 7 支部結成、1 クラブ結成を見込む。他

【MD331】上半期 1 支部結成（スペシャルティ支部）、下半期は 1 クラブ結成を見込む。貧困家庭のこども支援を目的としたスペシャルティクラブ。他

【MD332】上半期 2 クラブ結成（スペシャルティクラブ 1）、下半期は 6 支部結成、1 クラブ結成を見込む。地区コーディネーターの熱心な活動報告を添付。他

【MD333】上半期 4 支部結成、下半期 7 支部結成（※注：後日訂正）、2 クラブ結成を見込む。当初見込みより大幅な遅れ。11 月 250 名参加の GMT/SC・FWT 合同研修会の効果に期待。他

【MD334】上半期 1 支部結成、下半期は見込みなし。会員減少に歯止めがかからない状況。セミナー、クラブ訪問を計画も実施は不透明。他

【MD335】上半期 3 支部結成、下半期は 8 支部、4 クラブ結成見込み。B・C 地区は GMA パイロット地区であり GMA・GMT・FWT 合同でアスクワセミナーを開催、1 支部の追加効果あり。他

【MD336】上半期 2 支部結成、下半期は 3 支部結成見込み。B 地区でエクステンションを進めていたが高齢により弱小化しているクラブに入会をしてクラブ活性化へ。他

【MD337】上半期 3 支部（スペシャルティ支部 2）、1 クラブ結成。下半期は 4 支部、1 クラブ結成見込み。各地区支部結成に向けて全力投球中(各地区 1 支部結成予定)。他

3. その他

・330 複合地区コーディネーターL 小川晶子から『ウィグドネーションプロジェクト』について説明あり。詳細資料を後日送付する。

4. 次回会議日程 未定

5. 閉会の言葉 L 有本みどり

（午後の第 1 回 GMT/スペシャルティクラブ・FWT 合同会議へ）

議事録署名人 伊藤 和子

議事録作成人 有本 みどり



2021～2022 年度

第 2 回 336 複合地区 GLT コーディネーター会議(WEB)次第

日 時：2022 年 2 月 17 日 (木) 10:30～12:00

使用プラットフォーム：Zoom ※議事録録画配信

出 欠

336 複合地区 GLT 担当ガバナー	三島 英揮	○
336 複合地区 GLT コーディネーター	池原 堅	○
336 複合地区 GLT メンバー (336-A 地区第二副地区ガバナー)	山崎 勝彦	○
336 複合地区 GLT メンバー (336-B 地区第二副地区ガバナー)	藤井 信英	○
336 複合地区 GLT メンバー (336-C 地区第二副地区ガバナー)	三口 巖	○
336 複合地区 GLT メンバー (336-D 地区第二副地区ガバナー)	山崎もとみ	○
336 複合地区 GMT コーディネーター	真鍋 隆	○
336-A 地区 GLT コーディネーター		
336-B 地区 GLT コーディネーター	遠藤 謙一	○
336-C 地区 GLT コーディネーター	上野 康史	○
336-D 地区 GLT コーディネーター	椎木 一三	○
336 複合地区 GST コーディネーター	澤 辰水	○
336 複合地区ガバナー協議会 議長 ※オブザーバー	福永 栄一	欠

司会進行：336 複合地区 GLT コーディネーター 池原 堅

開会挨拶 336 複合地区 GLT 担当ガバナー 三島 英揮

出席者紹介

議 題 ①「2021-2022 年度 MD336 内各準地区 GLT コーディネーター各位の  
実績報告について」

※今期の各準地区、地区ガバナー方針と併せて発表をお願いいたします。

②「今年度の複合地区研修状況報告について」

- ・複合地区新会員オリエンテーション(3/中旬予定)
- ・複合地区、各地区次世代リーダーシップセミナー(未定)
- ・第一副地区、第二副地区ガバナー研修会 (10/12)
- ・複合地区公認ガイディングライオン講習会(11/22)

③「その他要望事項について」

質疑応答

閉会挨拶 336 複合地区 GMT コーディネーター/336-A 地区 GLT コーディネーター 真鍋 隆

※各準地区 GLT コーディネーター各位は、研修計画を国際協会 HP 会員ポータルサイト Learn  
へ必ずご入力ください。

## 第4回8複合 GST コーディネーター会議議事録

日時	2021年11月11日(木)	13:30~15:30
場所	WEB	
出席者	GAT 日本全域リーダー 元国際理事	L 中村 泰久
	GAT エリアリーダー(GST 担当)	L 識名 安信
	330 複合地区 GST コーディネーター	L 井田 渉
	331 複合地区 GST コーディネーター	L 松浦 淳一
	332 複合地区 GST コーディネーター	L 岸 秀年
	333 複合地区 GST コーディネーター	L 田中 勝司 (欠席)
	334 複合地区 GST コーディネーター	L 浜島 清美 (世話人)
	335 複合地区 GST コーディネーター	L 江草 長史
	336 複合地区 GST コーディネーター	L 澤 辰水
	337 複合地区 GST コーディネーター	L 高橋 抒見
	OSEAL 調整事務局事務局長	マーズ佐子
	OSEAL 調整事務局 GST スペシャリスト	畠山 直子

1. 開会あいさつ GST コーディネーター世話人 L 浜島清美  
会議出席のお礼  
333 複合地区 GST コーディネーター L 田中が欠席
2. あいさつ GAT 日本全域リーダー L 中村泰久  
GMA と並行しての連日の会議の労いの言葉。  
GAT の中で GST が会議の数が一番多く、12 月 1 日に向けての準備への励ましのごあいさつがありました。  
GAT エリアリーダー L 識名安信  
会員の減少が続いている。  
インパクトのある奉仕を通じて会員を増やし、奉仕の手を増やしていこう。  
やりがいのある奉仕をして、退会者を減らしていこうとごあいさつがあった。
3. タウンミーティングの件 世話人 L 浜島清美  
各複合地区より参加人数の中間報告がありました。  
「ID,PID,GAT 役員,MD コーディネーター等は人数に含まない」  
「録画データが欲しい」  
「録画データがあると参加者が減る可能性があるので、公表しない」  
「Zoom での参加者を増やせないか 150⇒200」  
「300 までなら OK」  
「中身を充実させる」

タイムスケジュール・当日の準備について

- 「13 時受付」
- 「当日は 330B 地区より 20~30 名の応援をいただける予定である」
- 「MD コーディネーターは 11 時集合。来れる人は 10 時」
- 「来賓の紹介は CC,DG,MD コーディネーターまで紹介する」
- 「1 部での発表クラブには事前に情報交換シートを送付する」
- 「GAT 感謝状、GAT ピン、ボールペンを用意する」

## 役割分担

「総合マスター L 井田、司会 L 浜島、会場 L 江草」

「当日までに役割一覧を各コーディネーターに送付する」

「2部のグループディスカッションで各MDコーディネーターは進行役として参加すること」

「Web参加者のファシリテーターはどうするのか？」

「各コーディネーターより参加者名簿が整い次第330B地区へ提出する」

「各ファシリテーターに事前にシナリオを渡し、落としどころを示す」

「グループディスカッションでは刺激を与え、自分たちのアクティビティと比較し、得意分野に特化した奉仕の参考にしたい」

## 表彰クラブ

332C さくらレオクラブ 『宮城子供病院へiPad寄付』

333C 船橋中央ライオンズクラブ 『子供食堂支援』

334A 弥富ライオンズクラブ 『チャリティーマラソン大会』

335A 神戸須磨ライオンズクラブ 『難病と闘う子供たちへのセラピー』

## 事業の中身について説明（インタビュー）

きっかけ、苦労した点、メンバーのやる気アップの秘訣、満足度など  
動画、写真等の添付資料を事前調査表と共に提出する

## 4. 各MDコーディネーターからの報告

330 フォーラムのお願い、MyLion

331 公式訪問等活動がやっと始まった

332 奉仕活動が少しずつ動き出した

334 対面での委員会が出来るようになった、MyLion報告率アップ

335 「イエローリボン・ランフェスタ」の報告

336 これから委員会等を進めていく

337 対面での委員会が出来るようになった、MyLion報告率アップ

## 5. 閉会あいさつ GAT エリアリーダー L 識名安信

タウンミーティングの成功へ激励の言葉

ライオンズクラブにとってGSTの役割は大きい

インパクトのある奉仕を通じて会員増強を進めていく。

15:30に閉会した

2021-2022 年度

## 第5回8 複合 GST コーディネーター会議 議事録

日時 : 2022 年 2 月 9 日 (水) 14:00~16:10

場所 : WEB 会議 (Zoom)

### 【出席者】

GAT 日本全域リーダー/元国際理事	L 中村 泰久
GAT エリアリーダー(GST 担当)	L 識名 安信
330 複合地区 GST コーディネーター	L 井田 渉
331 複合地区 GST コーディネーター	L 松浦 淳一
332 複合地区 GST コーディネーター	L 岸 秀年 (欠席)
333 複合地区 GST コーディネーター	L 田中 勝司
334 複合地区 GST コーディネーター	L 浜島 清美 (会議世話人)
335 複合地区 GST コーディネーター	L 江草 長史
336 複合地区 GST コーディネーター	L 澤 辰水
337 複合地区 GST コーディネーター	L 高橋 攄見
OSEAL 調整事務局事務局長	マーズ佐子
OSEAL 調整事務局 GAT スペシャリスト	畠山 直子
OSEAL 調整事務局 LCIF スペシャリスト	本間 純子

### 1. 開会 (L 浜島清美)

- ・開会の宣言。

### 2. 出席者紹介 (L 浜島清美)

- ・会議資料の出席者一覧のとおり。
- ・332 複合地区 GST コーディネーター L 岸秀年が欠席した。

### 3. GAT 日本全域リーダー挨拶と報告 (L 中村泰久)

<12/1-全日本 GST フォーラム>

- ・フォーラムに多数参加して頂き感謝申し上げる。
- ・実行宣言後の行動が大切である。

<2/9am-GAT 進捗 Web 会議>

- ・課題は、講師不足/6 月末退会者/GMA パイロット/会費未納などが顕在化している。
- ・委員長コメントとして、日本の GLT/GMT/FWT/GST は個々に特化せず全方位の活動が素晴らしい/地区目標は遅れずに提出して欲しい/地区運営は継続性が大切である/国際会議の値上げなどがあった。

<挨拶>

- ・GST は、インパクトのある奉仕活動の指導/実践をして欲しい。

- ・新型コロナの影響で、奉仕活動に対する考え方が地域で温度差がある。この啓蒙活動も重要である。

#### 4. GATエリアリーダー挨拶 (L 識名安信)

##### <挨拶>

- ・GAT 進捗報告書の内容は、地域の関係者で共有して欲しい。
- ・8 地区(全 35 地区)が報告書を未提出。こんな事態にならないように啓蒙願いたい。
- ・新型コロナに対応する新しい奉仕の手段を探って実践をお願いしたい。

#### 5. 議事録作成者指名

- ・L 田中勝司が、議事録の作成を担当する。

#### 6. 協議事項

##### ①全国一斉アクティビティについて

##### <実施環境>

- ・新型コロナ禍で、日本全国一斉の相乗りが難しい地域がある。
- ・近々の実施に向けて準備(奉仕、ロゴ、ジャケットなど)が済んでいる地域もある。(MD334)

##### <各コーディネーターからの意見>

- ・地区ガバナーに熱が無く「押し付けられた感」を持つ地域もある。(MD330、MD333、MD337)
- ・不活性なライオンズ・デーとの連携が出来ないか。継続性も大切である。(MD331)
- ・今期中(6 月迄)の開催は時間がタイトである。奉仕の選定が間に合わない。(MD335、MD336)

##### <全体>

- ・日本全国で、同一の日に、各地域にインパクトのある奉仕 を実施することに意義が有る。
- ・奉仕活動の厳選も大切である。
- ・GAT エリアリーダーの L 識名安信が、近々に「方向性」を 35 地域に示す。

##### ②全日本 GST フォーラムについて

##### <フォーラム>

- ・全国のライオンと意見の交換/共有が有意義だった。(MD331、MD334、MD336、MD337)
- ・新型コロナ禍で一部にリモートもある。全て対面に比べて、ディスカッションの時間が短く、ディスカッションが深まらない点に不満がある。(MD330、MD335)
- ・各地域から 158 件の意見が集められた。(MD330)

##### <実行宣言>

- ・実行宣言が、クラブ会員まで周知徹底されず、地区ガバナーでの滞留が見受けられる。(MD336、MD337)
- ・会員増強(スペシャルティークラブ、GMA パイロットなど)の内容が多い。(MD333)

##### <全体>

- ・12/1 の収支は、L 中村泰久のご支援で黒字となった。
- ・繰越金(75,240 円)と 158 件の意見は、第 2 弾イベントで活用する。

### ③各複合地区報告

#### 〈Mylion 報告率〉

- ・ MD331：A 地区-72%、B 地区-55%、C 地区-61%、全体-63%
- ・ その他 MD：会議時間短縮で省略。(Mylion から個別に参照の事)

#### 〈地区活動報告〉

- ・ 会議時間短縮で省略。第 6 回 8 複合 GST コーディネーター会議に先送りする。

### ④LCIF と GST の奉仕事業推進における協力・理解について

(OSEAL 調整事務局 局長マーズ佐子 LCIF スペシャリスト本間純子)

#### 〈現況〉

- ・ 日本国内での申請される交付金事業が、規模が小さくて、かつ少ない。
- ・ 地区及びクラブ・シェアリング交付金の理解度が低い。特に「自分たちが積み立てた基金、従って使途も自由だ」という意識が根強い。
- ・ その結果「本当に奉仕を必要とする受益者」に大切な基金を活用できていない。

#### 〈優れた使途：地区及びクラブ・シェアリング寄付金〉

- ・ こども食堂支援／日本語学校／視覚障害者の図書／児童養護施設などの事例がある。
- ・ 但し「事業計画に透明性があり、定量的である」ことが前提である。

#### 〈承認されにくい使途〉

- ・ NPO や団体への寄付、モニュメント建立、ライオンズの広告宣伝、自治体連携など である。

#### 〈GST コーディネーターへのお願い〉

- ・ 交付金の性格や規則を十分に理解して頂き、クラブ／地域の活動を支援願います。
- ・ 交付金を活用することで、地域でインパクトある奉仕を実践して、ライオンズクラブへの注目度を高めて頂きたい。

### ⑤その他 (OSEAL 調整事務局 GAT スペシャリスト畠山直子)

- ・ ライオンズクラブ国際協会の補助金の説明会(Web)を 2/22(火)に実施します。

### 5. 閉会挨拶 (L 識名安信)

- ・ 社会的弱者への対応が、ライオンズクラブの本務である。
- ・ 現在は、新型コロナ禍で奉仕の実践で障害が多いが、色々な角度から見直して、是非とも「新しい奉仕」の実践/継続をお願いしたい。
- ・ また、情報共有の大切さも忘れないで欲しい。

議事録作成人 L 田中勝司

2021～2022 年度

第 2 回 336 複合地区青少年ライオンズクエスト委員会(WEB)議事録

日 時：2022 年 3 月 10 日 (木) 13:30～15:30 ※14:30 了

出 欠 ※敬称略

特定非営利活動法人 青少年育成支援フォーラム事務局長 (講師)	馬淵 英晃	○
336 複合地区ガバナー協議会議長	福永 栄一	欠
336 複合地区青少年ライオンズクエスト委員会担当ガバナー	大野 美雄	○
336 複合地区青少年ライオンズクエスト委員会委員長	酒井 公一	○
336-A 地区 青少年・LCIF・ライオンズクエスト委員長	宮内 利弘	欠
336-B 地区 YCE/青少年健全育成 (青少年担当委員長)	壺岐 昇一	○
336-C 地区 LCIF・ライオンズクエスト・アラート委員長	橘高 寛二	○
336-C 地区 青少年健全育成 (薬物乱用防止・平和)・大会参加委員長	上野 寿幸	○
336-D 地区 青少年健全育成委員長	守谷 光広	○
MD336GST コーディネーター ※オブザーバー	澤 辰水	欠

司会進行：336 複合地区青少年ライオンズクエスト委員会委員長 酒井 公一

**担当ガバナー挨拶**

336 複合地区ガバナー協議会 副議長	大野 美雄
---------------------	-------

連日報道されるロシアとウクライナとの戦争について大変痛ましく、むなしく感じる。子供たちには平和ポスターコンテストの絵を通じて将来大人になって平和に立ち向かっていただきたい。

酒井委員長より出席者紹介、馬淵 英晃 事務局長は 14：00 頃入室。

**議 題 1**

青少年委員会関連
----------

①2021 年度平和ポスター提出状況

酒井委員長より、MD336 内では 11,101 点の作品が応募され、D 地区からの作品が最優秀賞に選ばれた。既にシカゴ国際協会へ発送、現在審査結果待ち。各地区から多数の応募をいただきあらためて御礼を申し上げる。

参加クラブ数・応募総数

	A 地区	B 地区	C 地区	D 地区	合計
参加クラブ数	77	21	41	40	179
応募総数	3,080	942	5,904	1,175	11,101

②2022 年度平和ポスター提出のお願い

第 35 回平和ポスターコンテストテーマ：「思いやりのあるリーダーになろう」

酒井委員長より、例年のことではあるが学校へは早めに依頼をしていただきたいとの話があった。

酒井委員長（A 地区宮内委員長代理）と B 地区吉岐委員長より、準備は例年通り既に進めているはずであるがあらためて確認をするとの話があった。

C 地区上野委員長より下記話があった。

1/15 の次年度コンテストキット販売に併せて、国際協会サイトで概要を確認、リジョン内今期委員へ既に通達済み。4 月に入ると担任や学校の年間行事が決定される為例年 2 月、3 月の内に依頼を行う。

酒井委員長より下記話があった。

C 地区は毎年基本の活動計画がスムーズに出来ていると思われる。早期からの取り組みを各地区での模範としたい。

D 地区担当大野担当ガバナー（D 地区守谷委員長代理）より下記話があった。

各クラブがご依頼をする学校についてはほぼ決まっていると思うが、キャビネット会議で再度確認と依頼を行う。C 地区の早い取り組みを参考としたい。

また、昨年度の審査には絵画に精通した外部審査員に加わっていただいたが、専門家による審査であれば権威付けも出来、結果に納得しやすい。

酒井委員長より最終審査にはプロの外部審査員が加わることも学校へお伝えしては、との話があった。

### ③選考もれの平和ポスターの展示方法

大野担当ガバナーより、国際協会へ発送した MD336 最優秀賞 1 点のその後の選考の行方について質問があった。（※送付締切は毎年 12/15 頃国際本部必着）

⇒国際協会へ送られた作品については入賞した場合に限って複合事務局へ通知があり、国際協会のサイト、ライオン誌、国際大会の会場で掲示される。その他情報は皆無である。作品原本の返却もない。

⇒過去、学校の先生や保護者様から選考状況についてキャビネット事務局から複合事務局へ質問をいただいたことがあり、OSEAL 調整事務局へ問い合わせをしたことがあるが回答はもらえないままである。

⇒酒井委員長から OSEAL 調整事務局宛で文書にて依頼を行う。

大野担当ガバナーより下記話があった。

今回 MD336 最優秀賞となった D 地区内生徒さんの作品については、写真で記録を残しているのでパネルにして生徒さんへお渡しする。

A 地区：酒井委員長より下記話があった。

クラブ内での審査時点で選考にもれた作品について、過去高知りょうま LC では一般の方に作品をみていただくようスーパーマーケット店内で 2~3 週間展示をさせていただいたことがある。

D 地区：大野担当ガバナーより、公民館等で掲示いただいているクラブもある。D 地区キャビネット事務局に届いた作品についてはパネルに入れて年次大会会場で展示を行っている。

B 地区：吉岐委員長より下記話があった。

今回の作品については、2 月に鳥取倉吉地区と岡山地区に分けて入賞作品と選考もれ作品を約 100 点一般の方に公開した。

C 地区：上野委員長より下記話があった。

今回参加クラブは 41 クラブ、応募総数は 5,904 点である。キャビネットでの最優秀作品は地区年次大会で表彰を行う。優秀賞についてはクラブ経由で賞状と賞品の図書カードを添えてご本人へご返却している。クラブ単位で公民館での掲示をしているところもあるが、応募総数も多数の為一般の方に作品全体をみていただく機会はとっていない。

酒井委員長より下記話があった。

選考に漏れた作品を一般の方含めて大勢にみていただくには各クラブの協力が必要となる。多くの方にみていただくことにより生徒さんの出展意欲も高まるかと思われる。また、ご父兄や先生方も嬉しく感じるかと思う。

次期委員長の皆様へ確実に引き継ぐ為のバトンを渡していただきたい。

## 議 題 2

ライオンズクエスト委員会関連

①各4地区のワークショップの開催状況

※③講演と資料参照

②今後期末から来期に向かってのLQ委員会の取り組みについて

**D地区：**大野担当ガバナーより下記話があった。

活動内容が浸透していないかと思われる。コロナ禍であることに加えて、先生の多忙なスケジュールに組み込むことが難しい。クラブごとで活動内容についての理解度が異なり積極的なクラブ任せとなっているかと思われる。

**C地区：**橘高委員長より下記話があった。

今期8月に3校15名の先生に参加いただき、2日間に渡って開催した。熱心な担当者がおり大変助かっている。来期も7月末～8月で予定をしている。

**B地区：**壱岐委員長より、ライオンズクエストについては担当委員長が異なるとの話があった。

**A地区：**酒井委員長より、A地区も地区同様限られたクラブ任せとなったように思われる。私立校でも難しいが、公立学校の先生に予定を組み込んでいただくことは更に難しいかと感じる。

酒井委員長より、補助金申請と交付についても期をまたぐ作業となる為次期委員長への引継ぎをお願いしたいとの話があった。

③NPO:特定非営利活動法人 青少年育成支援フォーラム 馬淵 英晃 事務局長 講演

「コロナ禍における青少年ライオンズクエスト委員会活動の在り方について」

馬淵事務局長より組織について下記紹介があった。

### 組織について

JIYD：青少年育成支援フォーラムは、NPO 法人である。

LCの組織ではないが、LQプログラムの著作権がライオンズクラブ国際財団(LCIF)で所有されており、LCIFからLQプログラムの日本国内での普及活動事務局として指定を受けている。

### 主な活動について

全国各地のライオンズクラブで活動をされてるメンバー皆様と共にLQの普及活動に務める。

- ・アメリカで開発されたLQプログラムを日本に導入出来るよう日本語版の教材を開発。
- ・先生方を対象にした研修会(ワークショップ)への専門講師の要請や派遣。

### 講演内容

資料 ..... P5～9

- ・コロナ禍でのライオンズクエスト普及活動
- ・コロナ前、コロナ禍でのワークショップ開催数
- ・各種研修の開催方法
- ・対面形式の研修開催での対策
- ・講師派遣、研修運営に関する対応

質疑応答
------

酒井委員長よりコロナ禍での地区 LQ 活動状況について質問があった。

C 地区：橋高委員長より下記話があった。

2021 年 8 月に LQ ワークショップを対面形式にて開催、2022 年 3 月 1 日にはオンライン (Zoom)にて約 70 名の会員に参加いただき LQ セミナーを開催した。

⇒酒井委員長より馬淵事務局長へオンラインでのワークショップ開催について問題点等質問があった。

⇒馬淵事務局長より下記回答があった。

過去試験的に 2 回オンライン形式にて実施をしたが、LQ ワークショップは対面式である部分において評価をいただいている。研修内容も対面式がベースとなっている為、実際のところはオンラインでの実施は難しいと考える。それゆえ慎重に進めている。

酒井委員長より下記話があった。

教育委員会や教員を志望されている方に集まっていただきワークショップを開催することは大変有意義であると感じる。コロナ禍、何かと制限が生じて実施は容易ではないがぜひ多くの方へお声がけいただきたい

その他
-----

※割愛

閉会挨拶
------

336 複合地区青少年ライオンズクエスト委員長
-------------------------

酒井 公一
-------

次回第 3 回 336 複合地区青少年ライオンズクエスト委員会については、5 月の複合地区年次大会の前に感染状況を考慮しつつ対面形式で行う予定。詳細は後日お伝えする。

次回もよろしく願いたい。

議事録署名人：MD336 青少年 LQ 委員会 委員長 酒井 公一

承認年月日：2022 年 3 月 11 日

酒井 公一

# コロナ禍での ライオンズクエスト普及活動

2022年3月10日

第2回336複合地区青少年ライオンズクエスト委員会（WEB）

NPO法人 青少年育成支援フォーラム 馬淵英晃

## ワークショップ開催数：コロナ前とコロナ禍

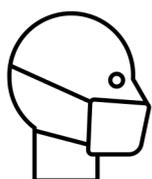


複合地区	準地区	2019年	2020年	2021年	2022年 1-3月	2022年 4-6月	2022年 7-9月
330		6	2	4			1
331		2	3		2		
332		8	3	3	3		1
333		19	4	9	2	1	9
334		13	2	7		1	7
335		24	1	7		1	9
336	A	3					
	B	1					
	C	7		1			1
	D		1				
337		20	3	5	1		9
合計		103	19	36	8	3	37

## 各種研修の開催方法

種類	対象	時間	対面	オンライン	目的
ワークショップ	教員	1～2日	✓	(試行中)	LQプログラムの実践者の養成
フォローアップ 校内研修	教員（実践校）	1～2時間	✓	✓	実践校でのLQプログラムの継続実施を支援
体験セミナー	教員	1～2時間	✓	✓	LQプログラムの体験
	ライオンズ	1～2時間	✓	✓	

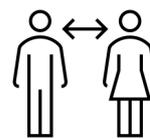
## 対面形式の研修開催での対策（一般的なものの）



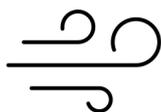
マスク／フェイスシールド



手洗い／消毒



ソーシャルディスタンス



換気



広い会場



お茶菓子／お弁当

お茶菓子の用意は止めたり、昼食は個別にとる場合も

Lions Quest ワークショップ 等の開催主催者・支援者の皆さま

特定非営利活動法人 青少年育成支援フォーラム (JIYD)

## 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえたワークショップ等の開催への 講師派遣・研修運営に関する対応について

新型コロナウイルス感染症への様々な制約を伴う対応が長期に渡り求められ、日々、子どもたちの教育機会の維持と充実にご尽力されておられる中で、Lions Quest ワークショップ等の研修の開催をご検討、ご計画いただき、誠にありがとうございます。研修の開催にあたって、以下の対応を取らせていただきますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

### 1 研修運営について

- 1.1 開催主催者が設けている新型コロナウイルス感染症予防対策（以下、予防対策）に従い、ワークショップを運営いたします。
- 1.2 講師派遣のご依頼をいただいた際に主催者へ予防対策についてお伺いし、主催者の対策・指示が守られる方法での運営を準備いたします。
- 1.3 その為、ワークショップ等は、標準的な運営方法とは異なる方法で実施する場合がありますことをご了承ください。

### 2 講師派遣について

- 2.1 派遣する講師は、JIYD が選考した講師の居所（または出発地）を主催者へお伝えし、主催者の了解を得た上で決定とさせていただきます。
- 2.2 講師派遣が決定した後、開催地や講師の居所の感染症流行状況、講師からの体調不良の申し出等により、止むを得ず、派遣講師の変更が生じる場合があります。当初予定していた講師が派遣できなくなった場合、JIYD は、主催者に連絡の上、代替りの講師の手配に努めますが、代替りの講師の手配ができない場合があることもご承知おきいただきますよう、お願いいたします。
- 2.3 講師の移動は、通常は公共交通機関を使用していますが、自家用車の利用など、感染リスクを軽減する為の手段をお認めいただきますようお願いいたします。自家用車を利用する場合は、事前に開催主催者・支援者にご相談させていただきます。

以上

# みんなの ライフスキルタイムズ



2022年は1月6日からワークショップがスタート。昨年末も12月27日までワークショップを実施していました。屋外の寒波とは違い、会場内は活発な意見交換やグループ活動でとてもあたたかな雰囲気。一年の終わりに、一年のはじまりもライフスキル教育で楽しく充実していました。年末年始に開催されたワークショップの様子や参加者の声をお届けします。

今年もライオンズクエストプログラムおよびライフスキル教育の普及活動に精進してまいります。本年もどうぞよろしく願います。



2022.1.8-9 東北福祉大学にて

コロナ禍で学校の中での先輩たちとの縦の仲を築く機会がなかったため今回のワークショップで多くの先輩方と交流しコミュニケーション力を身につけることができました。先輩方の実習での体験や感想なども聞くことができ、自分の教師になりたいという将来像をより具体的に考えることができました。

(大学1年)

2日間で参加者全員と交流することができ、たくさんのお意見や考えに触れることもできました。何より、「発言しやすい」「居場所がある」と感じられる集団がこの2日間で作られたというのは、春からの教員生活でもぜひ真似して実践していきたい。

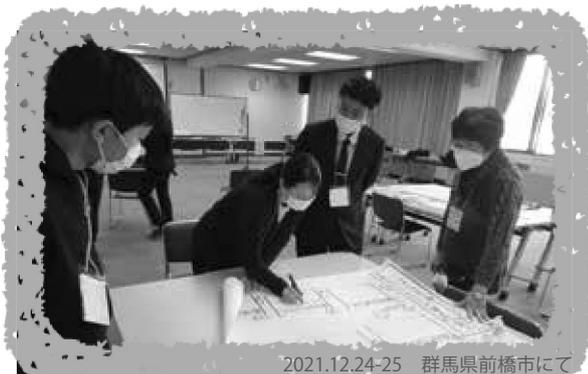
(大学4年)



2022.1.8-9 東北福祉大学にて

2日間を通して、参加者が本当に主体的に活動していたと感じましたし、自分もこんなに「考え」「伝える」ことははじめてだったかもしれません。いろいろな引き出しを増やし、児童の実態に合わせてそれを選択していけるよう、積極的に学んでいきたい。

(小学校教諭)



2021.12.24-25 群馬県前橋市にて

小学校・中学校・企業とさまざまな職種の人たちが集まった研修で、多種多様な考えや意見が聞けたことはとてもよい機会となりました。教員は校外にでることが少ない職種ですので、時に外にでてさまざまな意見を聞くことでより深い考えや指導方針を考える力を得ることができると思います。

(中学校教諭)



2021.12.24-25 群馬県前橋市にて

# みんなの ライフスキルタイムズ



2月17日と18日に、大阪府枚方市の小学校で3年生児童を対象に「ライフスキル」授業が開催されました。講師は寺西認定講師。出張授業という335B地区では初の試みでした。授業のテーマは「自分の気持ちを相手に伝える」。子どもたちは、最初のエネジャイザーで違和感なく授業に取り組みました。タブレットを使用して小グループによる活動に難しさを感じましたが、寺西認定講師が見事に対応をして活発に意見が発表されました。子どもたち、先生方に「ライオンズクエストプログラム」が伝わりました！

ライオンズクラブ国際協会  
335B地区 ライオンズ  
クエスト・薬物乱用防止委  
員長 山本佳久



ライオンズクエスト認定講師 寺西 勉

**★子どもたちは、**  
ゲストに来てもらえる事が大好きです。こんな「おじいちゃん(笑)」でも大歓迎されました。子どもたちの反応も良く、とても元気にぎやかに楽しく過ごすことができ、グループ活動も前向きに取り組む姿に感心しました。1)身体と気持ちをほぐすゲーム、2)めあての確認、3) ロールプレイでのモデル、4) グループ活動と発表という活動に前向きに協力しながら取り組んでいた姿はとても可愛かったです。「おじいちゃん」から子どもたちに「学校生活のいろんな場面で使ってね」とお願いして授業を終えました。休憩時間もおしゃべり好きな子どもたちが寄ってきて「べんちゃん、きいて、あのね・・・」攻撃です。楽しかったなあ！

**★担当の先生、校長先生、ライオンズクラブは、**  
今回の出張授業のとりまとめ役の先生は、前任校(私が以前勤めていた学校)でライオンズクエストのワークショップを受講しており、現任校に異動された今春に、子どもたちの状況を見るにつけ、ライフスキル授業をする必要があると考えられたそうです。私が勤務校で蒔いたライフスキルの種がこんな形で別の学校で芽が出るとは思いませんでした。また、コロナ禍にも関わらず、担当の先生の思いを受け止め、ライフスキル授業の実施を許可した校長先生もさすがですね。今回の授業も一緒になって参加され、子どもたちの様子を温かく見守っている姿は素晴らしかったです。こうした活動を支援してくださっているライオンズクラブの皆さんは、当日見学にも来てくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。

**★担任の先生は、**  
事前に担当の先生と打ち合わせしたことがきっちり伝わっていて、4クラスの担任の先生(男性2名・女性2名)とは、いきなりの授業。タブレットの準備や欠席している子どものオンライン参加、ワークシートなど、きめ細かい対応をしていただきました。何よりモデルを示す活動では、私と二人で『掛け合い漫才!』。急な突っ込みにも負けずにリアリティ満載の演技をしてくださいました。子どもたちは拍手喝采!日頃から子どもたちに寄り添いながら指導されていることが伝わってきました。

## 2022 モントリオール国際大会について



3. 11. 2022

ライオンズクラブ国際協会  
OSEAL 調整事務局

モントリオール国際大会に関しまして、現在確認できた最新の情報をお知らせいたします。日本からの参加者向けの情報ですので、国際協会ウェブサイト上の情報と食い違う場合がありますが、こちらに掲載している情報が日本からの会員が参加する場合の最新情報になります。

2年間、世界のライオンズが集う機会がない中、ようやく開かれる国際大会です。モントリオールは実質2年間かけてこの大会の準備に取り組んでまいりましたので、充実した国際大会となることが期待されております。カナダ政府の対応について、2月末にようやく方針が明らかになったため、これまで十分なお案内が出来ず、またコロナ禍が完全に収束したとは言えない状況ではありますが、出来るだけ多くの日本のライオンズにご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

### 1. 開催形式について

北米における人の移動に関する制限の緩和状況に伴い、参加者が一定の条件を満たし、開催にあたって十分配慮をすれば安全に大会が開催される目途が立ったことから、モントリオール国際大会は原則**対面による現地開催**とすることになりました。

VISA取得や渡航が困難な会員のため、バーチャルアクセスによる参加方法の設定も行いますが、現地開催がなく、すべてをバーチャルで行った昨年の国際大会とは異なり、バーチャルで見ることができる行事は限定的であり、ほぼ録画中心になります。また、通訳なども現地開催の通訳をそのまま使用し、バーチャル用に設定された前回とは異なりますので、聞き取りにくい部分などが生じる点をご理解の上、ご参加いただく必要があります。

パレードや投票などへの参加は、現地での参加のみが認められます。

### 2. 大会登録手続きについて

早期登録は、2022年3月31日までとなります。

オンラインでの登録は、国際協会ウェブサイト <https://www.lionsclubs.org/ja> から、LCICon 国際大会に進み、「登録する」をクリックして行うことが出来ます。

[https://www.mcisemi.com/lci2022/#\\_ga=2.114826176.699493831.1646964210-1686199609.1646350139](https://www.mcisemi.com/lci2022/#_ga=2.114826176.699493831.1646964210-1686199609.1646350139)

※登録サイトは日本語を選ぶことができますが、このページは機械による自動翻訳のため訳語がおかしいところ、英語のままのところがあります。

- クラブ口座、地区口座を使用して登録料をお支払いになる場合

この文書と合わせてお送りする、「大会登録・宿泊手配フォーム（EXCEL 書式）」を使用して登録申し込みを行ってください。今回は、グループではなく、1名からの登録にもご使用いただけます。

オセアル調整事務局で振込記録と突合した上で、大会部が登録の処理を行います。登録確認書はオセアル調整事務局から、グループの代表者にお送りいたします。

詳しくは、別紙「国際大会登録方法のご案内」をご参照ください。

- 別書式での登録が必要な役職者
  - 1) 現協議会議長と地区ガバナー 登録料が100ドルの特別料金になるため、別途書式が用意されていますので、こちらをご使用ください。
  - 2) 元国際理事 登録料が免除となり、宿泊は原則本部ホテルとなりますので、別書式が用意されています。こちらをご使用ください。
  - 3) 第一副地区ガバナー・ガバナーエレクト ガバナーエレクトセミナー4日目はモンリオールで実施されますので、これを含め別の登録書式で登録することになります。登録料は必要ありません。
  - 4) 元国際会長、現職国際理事、LCIF 理事 国際本部が手続きを行います。登録は必要ありません。

### 3. カナダ入国のための手続き等

日本からカナダ入国のための必要書類は、別紙入国に関する説明書をご参照ください。通常の日本パスポート保持者は、ビザ取得は必要ありませんが、電子渡航認証（eTA）をオンラインで取得する必要があります。申請ページは英語またはフランス語のみですが、ひとつひとつ日本語訳を示したガイドが用意されていますのでご参照ください。渡航認証料金は7カナダドルです。

<https://www.canada.ca/en/immigration-refugees-citizenship/services/visit-canada/eta/apply-ja.html>

3月11日現在、カナダ入国のためには、有効なワクチン予防接種を完了していることの証明と、入国時に陰性であることの証明が必要とされています。その上であれば、カナダ入国後の検疫は必要ありません。

3月11日現在、3回のワクチン接種を終えている方は、必要な証明書等を提出することにより、検疫は必要ありません。また、帰宅のための公共交通機関の使用も可能です。別紙厚労省の説明資料をご参照ください。

ただし、これらの状況は頻繁に更新されておりますので最新の情報をご参照ください。

### 4. 代議員の登録について

代議員の登録は、原則 MyLCI を使用して事前に行います。登録期間は2022年1月1日から6月22日です。詳しくは別紙説明資料「代議員登録方法」をご参照ください。

## 5. 宿泊ホテルの手配について

大会登録とあわせて、宿泊手配を国際協会に依頼することができます。

日本の代議員ホテルは、

フェアモント・ザ・クイーンエリザベス 地図の6番 2人部屋1泊 266米ドル

<https://www.fairmont.jp/queen-elizabeth-montreal/>

W モントリオール・ホテル 地図の32番

<https://www.marriott.co.jp/hotels/travel/yulwh-w-montreal/> 2人部屋1泊 309米ドル

が現時点では割り当てられております。

本部ホテルはサントル・シェラトン・モントリオール 地図の20番 2人部屋1泊 186米ドル

<https://www.marriott.co.jp/hotels/travel/yulsi-le-centre-sheraton-montreal-hotel/>

宿泊は、200ドルのデポジットが必要です。詳しくは、登録に関する説明資料をご覧ください。

## 6. パレードの申し込み、バンケットルームの申し込み等について

通常の国際大会時同様、複合単位で申し込みが可能です。日本においては例年8複合合同での申し込みをされているものと理解しております。申込期限は5月15日です。パレード規定を添付いたしましたのでご確認ください。

地区や複合が晩餐会等を開催するためのバンケットルームの申し込みについては、例年通り、国際協会に申し込むことで、国際大会代議員ホテルの施設を室料は無料で使用することが可能です。ただし、数に限りがあるため、ホスト国の代議員、執行役員が所属する国の代議員、第3副会長候補者の所属国の代議員にまず優先権が与えられ、その後は申し込み順の対応となります。部屋の割り当て迄を国際本部が行いますが、その後の食事や配席などの手配は直接ホテルと申し込みを行った代表者が行い、国際協会は関与いたしません。

## 7. ガバナーエレクトの旅行手配について

ガバナーエレクトは、モントリオールでエレクトセミナーの最終日プログラムが実施されることから、原則全員がモントリオール国際大会にご出席を予定されているものと思います。

つきましては、円滑に旅行手配と入国手続きおよび移動を行っていただくため、ご希望のDGEについては国際本部で一括旅行手配を行います。ガバナーエレクトへのご案内は、週明けに別途改めて発信いたしますので少しお待ちください。全地区キャビネットおよびご登録いただいている個人アドレスに一斉配信いたしますが、すでにご自分で手配をされているガバナーエレクトはそのまま進めていただいて問題ございません。

2021-2022 年度 一般社団法人日本ライオンズ  
第 5 回アラート委員会 (WEB 会議) 議事録

日 時 : 2022 年 1 月 31 日 14:00~15:45 (WEB 会議)

参加者 : 別紙 参加者出席簿

議事録作成 : MD333 アラート班長 若林 純也

議事 1 プロトコールについて

議事 2 災害協定について

議事 3 アラートマニュアルについて

そのた アメリカ、フィリピン、トンガの災害支援について

■ 開会挨拶 東日本統括リーダー 橋本 修一

■ 委員長挨拶 アラート委員長 山川 洋

コロナの影響で予定していたリアル会議から WEB に変更になったことの説明、本日の議題は「プロトコール」「災害協定」「アラートマニュアル」について進めさせていただく説明があった。

現在国内での災害は報告されていないが、ご周知のとおりアメリカケンタッキー州の竜巻被害、フィリピンの台風、トンガの火山噴火被害など災害が発生し、ガバナー協議会で支援金を集める協議があった。アメリカ竜巻被害時に一人 1000 円の支援金を依頼し、3000 万超の支援金が集まっているが、アメリカに続きフィリピン、トンガと災害が続いたので、再度の支援金要請になるかと思われます。支援金については各地災害の状況を検討し現地の人の役にたてる支援を行わせていただきたいと思いますと考えている。

日本ライオンズでは様々な議論を行っているところだが、アラート委員会については、全国の選ばれたメンバーにお集まりいただき議論いただきながら、アラートの活動を高め日本ライオンズの価値も高めてゆける様、ご協力をよろしくお願いいたします。

■ 議事 1 プロトコールについて

アラート委員長 山川 洋

8 複合組織図のなかにアラート班長など誰の目でも分かる様、正式に役職を組み入れてもらうことで複合議長に対し働きかけをさせていただきます。

また 8 月の日本の社員総会を経て、各委員会のスタートが 9 月になると実質の活動が間に合わなくなるので、次期の役員については本年度中に決定いただき、新年度スタートとともに活動できる様、しっかり引継ぎしてもらう様、要請させていただきます。

### 330 複合地区アラート委員 森川 明治郎

役員の継承について、各準地区でエレクトが決定した段階から各役員人事の構成がスタートされると思いますので、時期がきましたら書面で依頼するなど委員長の対応をお願いします。

### アラート委員長 山川 洋

例えばアドバイザーやエリアリーダーなども公的な役職ではないが、こうした役職も正式に組織図に組み入れられることが重要と考えておりますので、各複合議長に働きかけをしてまいります。

※山川委員長より本件の賛否確認・・・全員賛成

## ■ 議事2 災害協定について

### 日本ライオンズアラート委員長 山川 洋

災害協定について、県単位での協定は必要と考えますが、自治体との協定については、すべての自治体と結ぶべきという意見と、協定を結ばなくても問題なく進んでいるところもあるので必ずしも必要とは思わないという意見もあり、これについて委員会でも賛否分かれるところでありますので、皆さんにご意見を伺いたい。

### 西日本統括リーダー 坂本 恵市

山川委員長からのお話しにもありましたとおり、すべての自治体や社協と協定を結ぶことはなかなか難しいが、災害も広域化している昨今、コロナ禍の現在では特に県をまたいで災害活動が難しいことから、県単位で完結できる様なアラート体制が必要であり、県社協からもその様な要望も出ていますので県単位の協定は必ずお願いしたいと思いますが、現在の締結状況は把握されていますでしょうか。

### アラート委員長 山川 洋

菅原事務総長のご協力のもと各複合地区の災害協定状況を調べさせていただきましたので、まとめまでもう少しお時間をいただきたく、よろしく願いいたします。都道府県レベルでの協定はマストで進めさせていただきます。

また、青年会議所や商工会議所青年部などと協定を結んでいる事例もあり、それらの団体が実行部隊となり、ライオンズは後方支援を行っていくなどのイメージもあります。

### 西日本統括リーダー 坂本 恵市

都道府県レベルの社協が中心となり多くの都道府県レベルの災害ネットワークがある。大阪だと「大阪災害支援ネットワーク」があり我々も所属していますし、北海道だと「北のくに災害サポートチーム」「岩手 NPO 災害支援ネットワーク」「災害支援ネットワーク千葉」など、災害に関係する様々なネットワークが多く都道府県レベルに存在す

るので、それらのネットワークに是非連携していただき、顔の見える関係になりますし、ニーズもつかめるので、こちらも推奨も是非進めていただきたいので、後ほど文章でご提案します。

#### 332 複合地区アラート委員 木川田 明弘

県レベルでの災害協定については必要と思います。市町村レベルでの災害協定については、地区の事情もあるかと思いますが、うまくいけてるところに関してはそれで良いかと思いますが、この方向性について概ね賛成です。

#### MD332 副班長 木村 知紀

MD332 青森は、青森県と協定を結ばせていただきました。柿原コーディネーターの方で全社協と協定を結んでくれたおかげで大変スムーズでしたので、各準地区の委員長さんへ説明すればこれは問題なく進むと思います。

現在わたしが地区の内規を整備することで取りかかっていますが、災害が起きた際の想定として、県と市町村など行政側の役割は異なるため、日本アラートも地区とうまく連動しないとアラートは機能しません。社協も行政であることを踏まえ、本来であれば自治体（市長など）と、ライオンズ側はクラブやゾーンなどとの連携も踏まえたうえで県との協定を結ぶ必要があると思われます。

後方支援やボランティア支援などと言われる場合もあるが、実際に現場に入るとそうではないケースも多くあるので、あらゆるケースを踏まえ検討したいと考えています。

#### MD331 副班長 新岡 尚

331-C 地区には 44 クラブがあり、現在 10 クラブが社協と災害協定を締結したところですが各社協さんの感想として、そこまで積極的でなく熱がない、ライオンズがもう一度掘り起こし、締結まで苦労してこぎつけるというケースが多いので、都道府県レベルでライオンズへ協力していただく様、もう一度案内文を出していただけないでしょうか。

#### アラート委員長 山川 洋

良いと思います。2020 年 8 月に全社協と日本ライオンズで協定を結んでおりますので、仁科理事長ご了解のもと、再案内させていただきます。

#### アドバイザー 柿原 勝彦

MD331 新岡さんの再案内のご提案について、全社協より協力依頼の案内は以前に各都道府県レベルでいっていますが、自治体レベルでの積極性が薄いとのことですので、再度わたしの方で全社協へ電話連絡し依頼させていただきます。

当初の 2020 年 8 月のスタートの際、西日本エリアリーダー坂本さんからもお話しがありました地域のネットワークについて、わたくしの高槻でも災害支援ネットワークを作り、行政、社協、警察、保健所、JC や各自治区の長などに所属いただき、出来たら 2 か

月に 1 回くらいセミナーや勉強会をやろうということで日ごろからコミュニケーションを重ねています。災害ネットワークは有事の際にいきなり機能しませんので、有事に備え、平時の時から日頃から毎年の積み重ねを作っていたら、皆さんにもよろしくお願ひします。

#### MD335 アラート委員 佐々木 健太

MD335 では 3 年前、大阪府、大阪市、和歌山県、堺市の 4 大社協と災害協定を締結し、柿原アドバイザー、坂本エリアコーディネーター協議のもと、日本ライオンズと全社協とまず協定を結ぶことは事が早いということで、その流れに至った経緯があるが、いままた日本のアラート委員や複合の委員長が複合でどういう案内をし、実質の役割としてガバナーと準地区アラート委員長が連携し、都道府県と協定を結ぶ作業を今後進めてもらうわけですが、我々はその道案内をする役目であることを理解することと、柿原アドバイザーから話がありました、市町村レベルでの連携についても、クラブやゾーンでも進めてほしいこと、準地区アラート委員長や副班長などと一緒に我々も啓蒙活動をしていく流れを皆さんで共有し進めていくことが良いと思います。

#### 日本アラート委員長 山川 洋

おっしゃるとおりです。準地区の委員長さんを複合（日本）の副班長さんとして組織に組み入れることができました。この流れをしっかりと引き継いでもらうことで、しっかりと連携できると思っています。複合の班長さんが居て、副班長さんが準地区のアラート委員長さんという良い組織の流れができました。これらをこれからしっかりと形にしていかななくてはなりません、まだ 100%完成形ではないので、必要なところはこれからブラッシュアップし来期に臨み、来期のアラート委員長さんは即スタートをきれる形をとればと考えています。

#### MD331 アラート委員 能澤 正明

1 月 14 日に全 71 クラブが猛吹雪のなか集まりセミナーを開催し、防災の話をし、札幌社協と協定書を結びましたところですが、すべてのクラブが必ずしも防災意識が高いわけではないと感じますので、あらためて我々から訴え、皆さんに理解してもらう必要があると感じました。（ここで能澤さんの通信不良により発言中断）

#### MD332 複合アラート班長 山下 里美

わたしは複合班長 3 年目になりますが、当初から私たちの地区では締結を進めており、一昨年は山形県社協と、昨年はわたしの地区の 5R1Z は 5 クラブ合同で酒田市と協定を結び、いま 332-E の伊藤 剛班長もおられます今年も米沢でゾーン単位で 4 クラブ合同で協定を結びました。クラブ単位での社協などとの協定締結は現実にはなかなか難しいところもあるので、県単位での締結はマストとし、クラブ単位は絶対ということではなく、ゾーン単位で ZC に主導してもらい進めるのが良いと思います。また人事についても年

度によって代わりますので、ガバナーをトップとして引継ぎを行うことや、締結が進んでいないところを進めるなど、こちらも大事と思います。

#### MD331 複合アラート班長 浅野 敬一

先ほど新岡副班長からも再度 協力要請文を出してほしい話があったところですが、オホーツク圏の 331-B は非常に広大な地域なので、各市町村に一度案内がいつてゐることは間違いないにせよ、再度案内文を出していただくことは大変助かります。

現在、能澤委員長を筆頭に新岡副班長が全市町村と協定を結ぶべく必死に動いているところですが、先ほどの山川委員長からお話しのあった「結べるところは結んでほしい」というニュアンスだと、ZC の動きが鈍い場合、進まなくなることが懸念されますので、ガバナーから ZC へもっと動いてもらう依頼文書を出してもらう様、依頼しましたし、2月2日に開催される ZC 会議でも私の方で依頼はさせていただきますが、出来るところというより、強制的に進めても良いのではないかと思います、いかがでしょうか。

#### 日本アラート委員長 山川 洋

わたくしの説明が悪かったかと思いますが、結べるところは結ぶという話しではなく、ライオンズクラブとして当然のこととして基本的に都道府県はマストで、地区、準地区、委員長さん、委員、班長さんなどを中心に、ひとつでも多くの自治体と協定を結んでほしいという意味のご説明でした。強制というのは難しいと思いますし、アラートメンバーは実行力のある皆さんが揃っていますので、県とのことを進めながら自治体もひとつでも多く推し進めていただければと思いますし、札幌のセミナーや、地域で結ばれている協定などのことも情報が入ってきませんので、皆さんで共有しながら、ひとつでも多くの自治体と連携を取っていける様、推し進められればと思います。

#### MD331 複合アラート班長 浅野 敬一

こちらの地区は海沿いなどで時々水害はあるものの、基本的には災害もなく平穏な地域なのでクラブ会長たちの意識は薄く、アラート会議などを開催しても人は集まらない現状がある。その意識を何とか高めようと能澤委員長、新岡副班長も頑張ってくださいているところですが、ZC はなかなか実感がわいてない現状があるので、ZC を動かせば早い気がします。

#### 日本アラート委員長 山川 洋

わたしの地元の牛久市も災害はないので、社協の仕事も福祉がほとんどということから、その話は理解しており、そうしたなかですべての自治体をマストということではなく、そう出来る様、努力目標とするというところで現在は良いのではと考えてございます。

#### MD335 アラート委員 佐々木 健太

浅野さんの意見に同意見です。ZCを動かすには、ガバナーに了承をいただきCABのRC、ZC 会議などで皆さんに説明をすることが必要で、これを年初に行うことが有効と考えます。わたし自身は335-B CABでの説明の後、他地区A、C、D地区と廻れたらと考えております。

万一災害のときは、ゾーンや準地区などで災害対策本部を立ち上げていただき、アラート委員がひとり孤軍奮闘するのではなく、資金管理や物資管理も担当を決め、組織的に活動できる体制を作るのがベストと考えますし、先週、第一副地区ガバナーと打合せをさせていただきましたが、335-B地区には3R、11Zありますので各3R、11Zから11人の代表者を出していただき、アラート委員長をプラスし12人で組織を構成し、資金管理3人、物資管理3人、会計3人とFBなど広報関係で2名の11人の組織を次期で構成してもらう様、依頼しました。ZCにご理解いただき、ゾーンでの諮問委員会などで各クラブ会長さんなどへ啓もう活動していただくなど、第一副地区ガバナーや関係者へお伝えするのが、わたしたちの役割と考えます。

#### 日本アラート委員長 山川 洋

当初からご説明させていただいておりますとおおり、期首から動ける組織作りが重要と考えており、まったくそのとおおりと思います。

組織がしっかりしていないと何も下せませんが、組織がきちんとされていれば色々なことが達成できますので、日本から班長、副班長、ZCへしっかり考えや情報が伝わっていき浸透する組織の流れを作っていきたいので、皆さまよろしく願いいたします。

#### MD331 アラート委員 能澤 正明（通信状況が復旧）

先ほどの話しの後半ですが、札幌社協と331-Aの全71クラブが集まり、そのうちの35クラブは札幌のクラブでしたが、そのなかでZCに対し自身のゾーンはしっかり取りまとめていただき、災害のときの自身の役割をしっかり決めていただく様、ご説明をしました。2年前、協定書が各自治体へいき、どのクラブへも文章はきていたとのことですので、我々が声をかけていなかっただけのことであるので、情熱を込めきちんと説明をしていけば自治体も理解につながると思います。

ライオンズメンバーに関しては防災意識が低く、アラートに対する理解になっていませんので、アラート委員長や班長がしっかりと働きかけていくことと、協定は地区大会や複合大会などでアラートの説明や依頼を行い、そうすることで全メンバーに対し浸透し、大会ではアラート分科会をつくり、そこできちんと説明することによりライオンズクラブの公式な流れができるかと思えます。一特定の人々の努力だけでは全日本全体に拡がりつくることは難しい。私は間もなく3年の任期を終えようとしていますが、2年前に全国に協定書が回ったことに対する責任、ライオンズクラブ活動としての責任、全メンバーの意識を高めることの責任が我々アラートの責任と考えますし、これらのことをわたし自身後継者にしっかり引き継ぎをしていきます。

日本アラート委員長 山川 洋

大変参考になりました、ありがとうございます。是非今年でお辞めになるということではなく、先輩方が抜かれることは損失になりますので、アドバイザーなど何等かの形でお残りいただきたく、よろしく願いしたいと思います。実績を担当された先輩方が後継者へ引き継いでいくことは沢山ありますので、是非今後もご教授いただけます様、よろしく願いいたします。

これまでのまとめとして

- ・各都道府県の協定についてはマストで、まだ協定が済んでいないところがあれば、それは我々が押し進めていくこと
- ・自治体に関しては、なるべく多くの自治体と協定を結べる様、セミナーや勉強会など開催するなどし班長、準地区の委員長や ZC まで流れが出来る形にしていくこと
- ・全社協から各都道府県への再度の協力要請文については、仁科理事長ご了解のもと、再度案内させていただき。で窓口としてはこれまで進めてきてくださった柿原アドバイザーが適任と考えますので、柿原アドバイザーに進めていただこうと思います。

仁科理事長へ確認ですが、日本ライオンズと全社協は協定が済んでいますが、各自治体へは話しが落ちきっていないところもあり協定が進んでいないところもあるので、全社協から各自治体へ再度案内文を送ることの動きを取らせていただければと思いますがいかがでしょうか。

日本ライオンズ理事長 仁科 良三

皆さまお疲れさまです。いつも熱心にご討議いただき誠にありがとうございます。先日の大分の地震の際、朝起きて携帯を見ると皆さん活発な情報が飛び交っていましたので、大変素晴らしいと感じました。

全社協の働きかけについて、手続きとしては日本の理事会において山川委員長の方からご提案いただければよろしいかと思えます。文書内容につきましては、全社協とのこれまでの流れと実績実数なども盛り込んでいただき、現状どれだけの協定が済んでおり、さらに絆を強めたいので、ライオンズ側も日本、地区、各地域と連携を深めますから、社協さんも日本、県、各支部へ再度の伝達をお願いしたいということでお伝えいただければと思います。社協に関しては全社協があり県の組織があり、その下に各支部がありますので、この辺への情報伝達がどうしても弱くなる傾向がありますので、その辺も強化いただきたいということで盛り込んでいただければ、推進につながると思います。

日本アラート委員長 山川 洋

執行理事会で現状報告と全社協への再度働きかけの件、ご報告させていただきます。よろしく願いいたします。柿原アドバイザーにおかれましては準備が整いましたら全社協への働きかけを起こしていただきたいと思えますので、よろしいでしょうか。

アドバイザー 柿原 勝彦

準備が整いましたら社協と調整しまして上京いたしますし動かさせていただきます。

■ 議事3 マニュアルについて

日本アラート委員長 山川 洋

ライオンズクラブにおけるアラートの組織や活動についてマニュアルは必要と思いますが、全体委員会のほかに少人数で集まり採む考えもございましたが、コロナの影響もあり中止になってしまい集まれていない現状もありますので、どなたかアラートに精通されている方に実行委員長になっていただき有志を集めていただいて素案を作っていたきたいと思いますがいかがでしょうか。

※MD335 佐々木 健太アラート委員の挙手（立候補）があり、マニュアル素案作成の実行委員長として決定し、次回アラート全体会議までに素案を作成することとなる。

■ アメリカ・フィリピン・トンガの支援について

日本アラート委員長 山川 洋

冒頭のご挨拶でも振れさせていただきました海外 3 か国の災害について述べさせていただきます。3 国に対し支援を行わせていただければと考えており、昨年 12 月末段階で 3000 万を超える支援金が寄せられ、予想として 4000 万から 5000 万の支援金が集まるのではないかと考えており、目標金額の 1 億にはまだ届いておりませんので、さらなるご支援をお願いさせていただこうというところでございますが、3 国に対する支援を行うということに対し、仁科理事長のお考えをお聞かせいただきたいと思います。

日本ライオンズ理事長 仁科 良三

災害が追加追加で発生している現状があり、トンガも特定口座が開きましたし、既に振り分けをし LCIF へ振込を済ませたところは終わっていますので、これからのものに関しては執行理事会で相談しながらトンガに指定するなどしてということによろしいかと思えます。あらたに資金を募る案内を出すのは難しいところもあるので、気持ちはあるけどまだ出されていないというクラブや地区などもあるかもしれませんので、結論を言えばアメリカ、フィリピン、トンガと LCIF の特定口座も開かれていますので、そういう支援活動はできると思いますので相談します。山川委員長には支援金状況を調査していただきコントロールしていきましょう。

日本アラート委員長 山川 洋

ありがとうございます。支援金告知は頑張りますので広く支援できる様よろしく願いいたします。支援金状況は菅原事務総長に集計いただき 12 月末段階しかまだ確認できておりませんので、1 月を締めたもので確認させていただき、まだ支援いただいていない地区などございましたらご依頼させていただき、トンガに指定するなど調整させていただければと思いますのでよろしく願いいたします。

## ■ 日本ライオンズ アラート委員報告

MD337 アラート委員 兼 MD337 副班長 石永 扶佐男

蔓延防止法が出ているので活動がなかなか動けないことがあります。動きに対して ZC の責任が重すぎる場合があるので、リジョンで対応したり CAB がバックアップするなどサポートを考えていかないといけないということがあります。

2 年前に柿原アドバイザーに、ガバナー、1 副、2 副養成講座の際、アラートの根を張ってほしいとお願いしたところ早速取り組んでいただきアラートを入れてもらいましたが、ガバナーからリジョンやゾーンでの活動内容について説明いただくと ZC やご当地クラブがやりやすい形を作ってもらえればと一番良いと思いますし、これを飛び越えて ZC に頑張ってくださいと依頼をしても CAB がサポートをしなければ ZC は出来ないでしょうし、地区からクラブへ活動を依頼しても、ノウハウのあるクラブはできますが、出来ないクラブは賛同は得られず分裂もおこってしまうこともあるので、セミナーなどで周知を図りたいということがあります。

アラートセミナーを 3 月に計画していましたがコロナもあり 5 月に延期を余儀なくされそうですが、みんなが同じ目線でアラートについて見つめられる場を設けたいというのがこのセミナーの狙いで、地区やクラブ、ゾーンや社団、複合など、いろんな立場のメンバーが集まり、どう動いていけるか話し合える場であり、そこで話し合うことを共有してもらい、例えば 337 ではこうだから全国も足並み揃えてやろうという流れを作れば思っています。

社協の状況ですが、九州は熊本だけが県社協と協定を結んでいない状況なので進めています。クラブから「結んだところで活動できるのか」という意見が出て振り出しに戻ってしまう状況があるので、理解をいただきながら進めているところです。

MD336 アラート委員 高岡 英治

13 日にアラート委員会を開催し 27 日にガバナー協議会が終わりました。このなかで全日本アラート体制組織図を出し、かつ複合地区の組織図を出し、副委員長、各準地区の委員、運営部隊と実働部隊の連絡網をつくりました。今日もお話しも出ていましたとおし ZC が難しいところもありますが動きがしっかりしているところもあります。ガバナー協議会で MD336 緊急災害連絡網を作り案が通り決議され、ライングループ A、B、全体のグループとして C として分け、MD 議長を頭とする連絡網として各準地区アラート委員長から ZC、ZC からクラブへ通達、クラブは社協と連携を全部がとる形とし、これはガバナー協議会で通りましたのでこの通りやっています。

研修会、セミナーをやりたいと思っていますが MD336 では 9 県すべて社協との締結は終わっております。山口県、広島県、岡山県に関しては市との締結も数多くあり、まだ増えていくと思います。336-A の香川県では研究会をつくっており、赤十字や青年会議所を巻き込んでセミナーを開催しており、これを準地区で進めていきたいと考えています。また 336-A ではリジョンにすべてへおろしており、災害が起こった場合には何が必要か、物資は何が必要か、誰が動くのか、すべて出していただいております。それを集計

しセミナーなどへ反映していくのですが、まだそこまで追いついていない状況ですが、組織は確率した状況です。今治は ZC より市と協定締結して良いか確認があり、是非ということでゾーン 4 クラブが締結されましたし、来期にかかるかもしれませんが、そのほかもどんどん進めています。

また岡山みらいの周年に参加してまいりましたが、ここには日本全国のアラートメンバーが集まっており、素晴らしいセミナーの様な周年で感激しましたが、このなかでアラートに特化した支部のお披露目があり、これも素晴らしいと 336-A でも是非つくりたいと思い、いま大学に声掛けをしアラートに特化したレオを作ろうということで来季になるかもしれませんが計画を進めております。やはり動くのは若い力かと思しますので大学生や地域に応じたアラートに特化したレオを作りたいと思います。ちょうど母校の校長がライオンズクラブに入りましたので、わたしが委員長で彼を副委員長に任命し、動きたいと思っています。

藤井班長と石永班長が 2 月に合同でセミナーをやりたいとのことで多いに賛成で、コロナの関係でどうなるか分かりませんが私も参加し石永班長にお会いしたいですし、佐々木班長も是非マニュアルを頑張ってくださいたいですし、336 も第 3 回アラート委員会までに森川前委員長が作られたマニュアルと我々のマニュアルをミックスさせ MD では独自に作ってきたということもございますので、坂本エリアリーダー、佐々木班長と今後ご協力をお願いいたします。

#### MD335 アラート委員 佐々木 健太

複合地区の委員会を年 5 回予定しており最初の 2 回は開催できましたが、2 月に予定していました 3 回目の委員会は東京、大阪の感染者は 1 万人を超えていますので中止となりましたが、335 では 4 つの準地区がありますので、委員会にガバナーも参加いただき、今までの 335 アラートの経緯を説明させていただく機会を作り、また第一副地区にも委員会に参加いただき次年度の準備をお願いする場も 5 月に予定しておりましたが、こちらもコロナの関係で中止にするしかないか議長と相談中ですが、先ほどより皆さんの地区の事情を聞かせていただき地区によって色々事情が異なると大変勉強になりました。

わたしのところは 5R2Z となっていて 5 つの市町村にまたがっていますが、これを ZC がまとめるのは難しいと思います。柿原アドバイザーの高槻にも 4 つ 5 つクラブがあり柿原さんのところがリーダーになっていただいています。同じ地区でも摂津市というところは一つのクラブなのでクラブと市が協定を結んでいただきました。なのでゾーンやリジョンなど地区の事情で進めていただければよろしいと思います。335 の ABCD でも状況が全然違い、335-C では京都、奈良、滋賀の 3 つの県社協と協定を結んだこともあり、また兵庫の神戸市や明石市など明石魚住 LC が結んでいただいていた。まずは組織づくりをしたいところでしたがコロナで中止が続いておりますので、各関係者と協議をしながら残り下期をウェブ会議などで色々進めていきたいと思っています。

#### MD332 アラート委員 木川田 明弘

1月27日に班長会議を実施し、ここで第1回から第4回のアラート会議の内容の報告をさせていただき、ラインの連絡網をつくったという話題のとき 332-C 加藤ガバナーより、ラインの活用方法はただの連絡網となるより、今どきは準地区もラインの連絡網があるので、もっと発展拡大させライオンズ全体で動ける様な例えば防災訓練をするなども面白いのではという話があり、わたしも同感でありました。

また 332MD でアラートフォーラムが開催される予定ですが、コロナも関係もありますので1月に小委員会を開き検討したいところでしたが、こちらも開催が出来ず決定にいたっておりませんので落ち着いたところで検討したいと思っています。

#### 日本アラート委員長 山川 洋

連絡網についてですが、ライオン誌へアラート委員長の中間報告を記載させていただきましたが、現在の組織図、連絡網は90%ということで、皆さんの英知を終結しこれからますます磨きをかけていくということにしていますので、今後の委員会に反映していきたいのでよろしく願いいたします。

#### MD331 アラート委員 能澤 正明

1月17日にガバナー協議会があり、議長、2人のガバナー、次期ガバナー、複合構成メンバーなどへ20分お時間をいただき今後のアラートのあり方を次期のガバナーに理解していただきたくご説明させていただきました。331のセミナーに出席した際、71クラブの皆さんにアラートの存在、防災に対するあり方と社会的な責任を話しをさせていただき、災害の有無しに係わらずライオンズ活動の柱に防災をいれなくてはいけない、クラブの事業、プログラムのなかにも組み入れていただくことがライオンズクラブの社会的な責任だということを訴えました。

札幌市の社協、ボランティアセンターの方々にお話しをする流れのなかで、彼らは十分に意識は高まっていると感じました。わたしは地域の防災の責任者をしており、防災訓練、避難訓練を必ずやっており、それが下地になっていますので、ライオンズとアラートの接点を結びつけることによって上手に機能すると考えています。災害の有無に係わらず社協とボランティアセンターを基地とし行政は真剣に防災訓練に取り組んでおり、2年前に全社協からライオンズの協力依頼書は届いており、全社協や北海道から文書を出していると話が出ていましたので再度文書を出していただくことは有効と考えます。そして来期に対する橋渡しは地区大会、複合大会で全メンバーにアラート委員長、班長として訴え現状に対する認識をあらたにしてもらうということが重要と思います。

#### 日本アラート委員長 山川 洋

貴重な意見をありがとうございます。是非今のお話しを反映いただき、皆さんも参考いただき準地区、複合の年次大会で申し送りをしていただきたいと思いますし、わたしも来期に早くしっかり申し送りし来季スタート同時に委員会は動ける様にしたいと思います。

## MD330 アラート委員 森川 明次郎

山川委員長のもと今季問題している課題が進んでおり安心しています。330MD では各準地区の委員長さんと綿密に会議を行い、オミクロン株が落ち着いたところで、ここまで出ていた内容について各準地区でスムーズに年次大会でご報告できる様な体制を目指します。今後とも皆さまには有意義な委員会となる様ご尽力をお願いします。

### ■ 総評

#### アラートチーム アドバイザー 柿原 勝彦

皆さまお疲れさまでした。今日はアラート委員会としてやるべきことは何なのか各委員さんから各地域ごとの意見も踏まえお話しがあったと思います。わたしは日本ライオンズにおいてアラート委員会を立ち上げてほしいと言ったとき、能澤ライオンもおっしゃっていた様に、我々がライオンズクラブとして責務や出来ることを人・物・お金を結集をしてライオンズとして出来ることをよりスムーズにできればということで3年目になり皆さん本当に熱心に議論いただいておりますが、何度かお話しも出ていましたとおり、もっとライオンズ全体にガバナーを通じてアラートについて認識を強く持ってもらいたいと思いますし、ライオンズクラブメンバー イコールアラート委員という様な有事に備えた危機意識、機器管理を持っているメンバーでいたいと考えていますので、皆さんこの1年一緒にやってきてアラートとは何かということは認識されていると思いますが、アラート委員会ではわたしの所属の335-Bではアラートの実働部隊では元のライオンズの役職は関係なく個人のライオンズとして有事の際には支援に入ります。その支援ではわたしの地区では救助班や炊き出し班、物資班、運送班、心のケア班、ベット班など8つのカテゴリーに分け皆さん登録してもらっていますが、ZCにはやはり意識を強く持っていただきたいところで、ライオンズクラブメンバー イコールアラートでは常に危機管理を持っているというメンバーでありたいと思っていますので、これからも皆さんは大変な作業かと思いますが、根強く皆さんに伝わる活動をしたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

#### 日本ライオンズ理事長 仁科 良三

皆さま長時間にわたりお疲れさまです。着々と準備が進んでいるところと思います。山川委員長を中心に大いに情報交換していただきポイントを突きながら上げていただければ我々も動きますのでよろしく願いいたします

一方で地球の温暖化など我々の住んでいる地球を大事にしよう、また将来のZ世代の皆さんに対し、もし地球の温度が2度上がったらどうなるのだろうなど予防として付け加えながらやっていくこともよろしいのではないかと思います。大変熱心にありがとうございました。

### ■ 次回 第6回全体アラート委員会日程の決定 (Web開催)

2021年2月24日(木) 15:00 から

## ■ 閉会挨拶

西日本統括リーダー 坂本 恵市

皆さまお疲れさまでした。プロトコールの問題、災害協定については周知されたことと思います。是非とも前向きに出来れば市町村レベルまでお願いします。また ZC のこともございますが、やはり全体として危機感が足りないことが一番の原因と思っています。災害の無い地域だからアラートに消極的という意見もございましたが、最低限こちらにいるメンバーはご自分の地域の過去における災害を調べてほしいと思います。災害の無い地域は日本にはありませんので 50 年 100 年遡って調べていただいて、そういう知識は持っていただいて、最近では 50 年に一度、100 年に一度と言われる災害がどんどん起きる状況になっていますので、それに備えないといけないというコンセンサスを持ってもらわないとアラートはなかなか進んでいきません。最低限皆さんの地域の災害はすぐ話せるくらいであってほしいと思いますし、それくらいでない皆さんに熱を伝えることが出来ませんので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

佐々木ライオンにはマニュアルでご苦勞いただきますが、これから一番大事なのは枠組みやスキームを具体的に決めていかないとならない段階に入ります。マニュアルがあつてはじめて組織的な動きが出来る様になりますので、地区の事情なども踏まえ皆さんそれぞれに考えていただき次回の会議でもご意見あるかと思ひますが是非進めていただき次回も実の有る会議にさせていただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

2021-2022一般社団法人ライオンズ 第5回アラート全体会議(WEB)出欠状況

◎日時: 2022年1月31日(月) 15:00 - 17:00

2022.1.31 16:00

役職名	氏名	地区	クラブ名	ウェブ会議出欠 ○:出席 ×:欠席
日本ライオンズ 理事長	にしな りょうぞう 仁科 良三	334-E	長野みすず	○
副理事長 / アラート委員長 / MD333議長 / アラート委員 (MD333)	やまかわ ひろし 山 洋	333-E	牛久茎崎	○
日本ライオンズ 専務理事代理	まつおか いさお 松 岡 勲	335-C	京都南	○
日本ライオンズ 専務理事	むらき みてゆき 村 木 秀之	330-A	東京 数寄屋橋	×
アラート委員(MD330)	もりかわ めいじろう 森川 明治郎	330-C	坂戸	○
アラート委員(MD331)	のざわ まさあき 能澤 正明	331-A	札幌 トラスト	○
アラート委員(MD332)	きかわだ あきひろ 木川田 明弘	332-C	仙台高砂	○
アラート委員 (MD334)	あらい かつひこ 荒 尾 勝彦	334-D	金沢城北	×
アラート委員 (MD335)	ささき けんた 佐々木 健太	335-B	吹田江坂	○
アラート委員 (MD336)	たかおか えいじ 高岡 英治	336-A	松山湯築	○
アラート委員 (MD337) 兼 班長(副)MD337	いしなが ふさお 石永 扶佐夫	337-C	武雄	○
アラートチーム・アドバイザー	かきはら かつひこ 柿原 勝彦	335-B	高槻	○
日本ライオンズ アラートチーム 東日本統括リーダー	はしもと しゅういち 橋本 修一	332-D	郡山東	○
同 西日本統括リーダー	さかもと けい 坂本 恵	335-B	松原	○
330-A地区GST緊急対策・アラート・復 興支援委員会 委員長(代理出席)	ねぎし くみこ 根岸 久美子	330-A	東京上野南	○
班長(副)MD330	いしづか たけまさ 石塚 丈雅	330-B	横浜	○
班長(副)MD330	うらなか りゅうたろう 浦中 竜太郎	330-C	埼玉レス キュー	×
班長(正)MD331	あさの けいいち 浅野 敬一	331-B	北見中央	○
班長(副)MD331	しんや まさよし 新屋 雅良	331-A	札幌中島	○
班長(副)MD331	やなぎさわ ゆたか 柳澤 豊	331-B	留萌みなと	×
班長(副)MD331	にいおか ひさし 新岡 尚	331-C	室蘭東	○
班長(正)MD332	やました さとみ 山下 里美	332-E	山形 アルカディア	○
班長(副)MD332	きむら ともり 木村 知紀	332-A	青森 ZERO	○
班長(副)MD332	おいかわ みつよし 及川 三美	332-B	水沢 中央	○
班長(副)MD332	おおはし ひろゆき 大橋 博之	332-C	東松島	○
班長(副)MD332	はこざき てつじ 箱崎 哲司	332-D	田村	○
班長(副)MD332	いとう つよし 伊藤 剛	332-E	米沢松川	○
班長(副)MD332	くさなぎ こうえつ 草薙 孝悦	332-F	中仙	×
班長(正)MD333	わかばやし じゅんや 若林 純也	333-E	水戸葵	○
班長(副)MD333	さくらい まさとし 桜井 政利	333-E	牛久茎崎	○
班長(正)MD334	にしむら かずゆき 西村 和之	334-D	鯖江王山	○
班長(正)MD335	ふじの はら みつこ 藤之原 美津子	335-A	明石魚住	○
班長(副)MD335	い나다 かつとし 稲田 勝利	335-B	大阪桜之宮	×
班長(副)MD335	なか ち じゅんいち 中 千 潤一	335-C	京都 ミレニアム	○
班長(副)MD335	ひがしもと まさふみ 東本 将文	335-D	姫路白鷺	×
班長(正)MD336	ふじい のぶひで 藤井 信英	336-B	岡山みらい	○
班長(副)MD336	たなか はじめ 田中 元	336-A	高松空港	○
班長(副)MD336	いのうえ のりたか 井上 哲孝	336-B	岡山みらい	○
班長(副)MD336	ほそかわ あきら 細川 晃	336-C	福山あい	○
班長(副)MD336	よしむら あとむ 吉村 あとむ	336-D	安来	○
班長(正)MD337	あおき かずひこ 青木 和彦	337-D	鹿児島谷山	×
日本ライオンズ 事務総長	すがわら まさお 菅原 雅雄	330-A	東京堀留	○
42名中合計				34

## 委員会内部用

2021-2022 年度 一般社団法人日本ライオンズ  
第 6 回アラート委員会 (WEB 会議) 議事録

日 時 : 2022 年 2 月 24 日 (木) 15:00~17:00 (WEB 会議)

参加者 : 別紙 参加者出席簿

議事録作成 : MD333 アラート副班長 L 桜井 政利

司会者 : MD333 アラート委員会正班長 L 若林 純也

協議事項 :

- (1) 災害時のマニュアルについて MD335 複合地区アラート委員 L 佐々木 健太
- (2) 緊急連絡網のボトムアップについて
- (3) 災害協定の締結状況報告
- (4) アメリカ ケンタッキー州竜巻被害 (フィリピン・トンガ) の中間報告
- (5) その他

そのほかアラート委員並びに委員会メンバー報告及び意見交換

### 1. 開会挨拶

西日本統括リーダー L 坂本恵市

特に災害時のマニュアルについて、協議の時間かかるかと思しますので、効率の良い運営をしていただければと思います。

### 2. 出席者確認と議事録作成人・署名人の確認

司会 : MD333 アラート委員会班長 L 若林 純也

- ・ 出欠確認が行われた。
- ・ 議事録作成人は 330 複合地区 副班長 L 桜井政利であることが確認された。
- ・ 議事録署名人は山川委員長であることが確認された。

### 3. 理事長挨拶

一般社団法人日本ライオンズ理事長 L 仁科 良三

欠席

#### 4. 委員長挨拶

一般社団法人日本ライオンズアラート委員会委員長 L 山川 洋

本当にコロナがなかなか収まらない中で、いろいろ活動が制限され、皆さん大変だと思えます。こんなときだからこそやれやれることはあると思えます。

特にアラートの場合、本当は災害が起きない事がいいが、そのときのために何ができるかということが大事だというふうに思っております。本日はよろしく願いいたします。

#### 5. 協議および報告

一般社団法人日本ライオンズアラート委員会委員長 L 山川 洋

アラート委員会の活動の取決めマニュアル（案）に関して：

今回の委員会で意見の吸い上げをしたい。

335 複合アラート委員 L 佐々木 健太

別添資料「アラート委員会マニュアル（案）」の説明

準地区にアラート委員会がない場合には、設置していただけるのが望ましい。

準地区のアラート委員長の役割の多さから、複数名でアラート委員会を構成、

準地区のアラート委員長を準地区コーディネーターとして、期の変わり目に対応できるように、5月位に準備委員会の立ち上げ、引継ぎを行う。

理念については、意見を募って付け足したい。

災害レベル判定を社団法人の委員長が最終決定するとなっているが、実作業は東西の統括リーダー、被災地のMD議長・地区ガバナーとの協議をする。

災害レベルに応じた支援方法などを協議。

一般社団法人日本ライオンズアラート委員会委員長 L 山川 洋

精度の高いマニュアル作成ありがとうございます。

準地区委員長をコーディネーターにする件：

準地区に対して指名をするのは、難しいのではないかと、今後の課題とする。

335 複合アラート委員 L 佐々木 健太

マニュアルは、エクセルで作成しているので、追記や訂正に関しては、原本を消さずにシートをコピーしてコピー側で行ってください。

次回委員会の10日前までに、追記や訂正したデータを送付いただきたい。

**一般社団法人日本ライオンズアラート委員会委員長 L 山川 洋**

次回委員会に関して、4月に開催を予定する。

今後もマニュアルに関しては、継続とする。

緊急連絡網の件

災害発生時の情報の集約に使い、1秒でも早い対応ができるような体制をとりたい。

そのために、ブラッシュアップする意見をお聞きしたい。

**MD333 アラート委員会班長 L 若林 純也**

前回委員会で各準地区に、アラートのLINEグループがあり、防災訓練も行っているとの意見もあった。

副班長も参加した、緊急連絡網以外のLINEグループもあった方がよい。

**335 複合アラート委員 L 佐々木 健太**

LINEグループの分け方は、MDごとに作成した方がいい。

日本ライオンズのアラート委員会のグループLINEの下に、MDのアラートグループLINE、その下に準地区のアラートグループLINEのように3段階に分けるのがいい。

LINEグループも人数が多くなると費用がかかってくる。

**330 複合アラート委員 L 森川 明治郎**

コミュニケーションがとれるLINEグループがあってもよいのでは。

緊急連絡網については、平常時に定期的に確認訓練をおこなう。

**一般社団法人日本ライオンズアラート委員会委員長 L 山川 洋**

非常にいい案です。

コミュニケーション用のLINEグループを立ち上げる件について意見をお聞きしたい。

**332 複合アラート委員 L 木川田 明弘**

LINEの件は、賛成。

任期3年の件について伺いたい。

期の変わりごとに、自分から地区ガバナーに働きかけをするのか、

日本ライオンズより準地区に働きかけをしていただけるのか。

**一般社団法人日本ライオンズアラート委員会委員長 L 山川 洋**

任期について、会則では、2020年11月27日付の発行です。

任期最長3期と2024年6月末までが任期になると、この委員会で確認されております。

準地区の委員長をアラート委員会から推薦するのは、難しいのではないかと。

**332 複合アラート委員 L木川田 明弘**

日本アラート委員会で決めたことの遡及範囲はどこまで及ぶのか。

**一般社団法人日本ライオンズアラート委員会委員長 L 山川 洋**

アラート委員会は決定機関でない、提案する立場である。

日本ライオンズの社員総会等で承認をとり決定となる。

**332 複合アラート委員 L木川田 明弘**

良いマニュアルができていますので、アラート委員会以外にも浸透するとい

**335 複合アラート委員 L佐々木 健太**

補足として、マニュアル上に、準地区のアラートの役割まで記載したのは、方向性としての着地点として考えている。あくまで素案なので、これから皆さんの意見を取り入れブラッシュアップしていく。

**一般社団法人日本ライオンズアラート委員会委員長 L 山川 洋**

非常にいいマニュアルですので、皆さんの意見を取り入れてブラッシュアップする。

**331 複合アラート委員 L能澤 正明**

来期の人事に関しては、MDの議長を中心に決めていきたい。

決まった段階で日本ライオンズに報告する。

アラート委員の任期は1年、班長は、3年必要と考える。

**一般社団法人日本ライオンズアラート委員会委員長 L 山川 洋**

今期、重点に考えているのは、組織作りになるので、ガバナー・エレクトに根回しできるようなアラート委員会にしたい。

**330 複合アラート委員 L森川 明治郎**

人事に関しては、コーディネーター指名に関して、準地区との不協和音があったこともある。例として、GMAのグローバルメンバーシップアプローチの関係で、第一副地区ガバナーが10月から準備を始めている。

協会としても、次年度の準備を試みているが、実態としては、難しい。

アラートに関しては、7月ごろの災害の能性が非常に高くなっている。

前例がある YCE の制度（9 月任期）を取り入れた方が、受け入れやすいのではないかと。

**一般社団法人日本ライオンズアラート委員会委員長 L 山川 洋**

YCE の制度を取り入れるのは、良い案だと思います。

理事会で、ご提案していただきたい。

**336 複合地区 班長 L 藤井 信英**

336 複合地区では、アラート委員会の委員の任期を 12 月末までに変更した。

**332 複合地区 副班長 L 木村 知紀**

災害が起きた際の対応は、準地区が基本となるので、準地区を固めていかないと、

日本ライオンズ・複合地区からのアドバイスもできない。

現在、準地区・MD332 において、アラートに関しての規定を作成している。次回委員会開催時に参考資料として、提出できればと思う。

**一般社団法人日本ライオンズアラート委員会委員長 L 山川 洋**

各準地区に、アラートに精通した方を増やしていければ、良い意見が上がってくるので

35 の準地区がそうなる、アラートに関してスムーズな対応ができるのではないだろうか。

**アラート委員会委員の任期に関して、確認したい。**

アラート委員会の会則は、2020 年 11 月 27 日に発行されている。

任期としては、2024 年 6 月末まで、任期を務めることができる。

アラート委員会には、アラートを理解している方が、1 人でも多く居ていただきたい。

**災害協定の提携状況**

提携状況の資料については、委員会終了後に、メールにて配信します。

資料の訂正等ありましたら、メール等で連絡をいただきたい。

都道府県との災害協定の締結は、マストでお考えいただきたい。

期限としては、来期には必ず災害協定を締結していただけたらと思います。

**報告事項**

**一般社団法人日本ライオンズアラート委員会委員長 L 山川 洋**

アメリカケンタッキー州の竜巻被害支援のお願いをさせていただき 1 月 26 日時点で

\$ 395,855 の支援をいただいた。

L C I Fに、フィリピンやトンガの災害にも対応できるようにお願いしたところ  
フィリピン10万ドル、トンガに5万ドルの支援金を振り分けしていただけることになった。

#### **会則の変更について**

人事に関して、委員会にも人事権があった方が、開かれた委員会ができるのではないかと思うが、意見をお聞きしたい。

#### **330 複合アラート委員 L森川 明治郎**

変えるべき所は、変えてもいいと思います。

#### **335 複合アラート委員 L佐々木 健太**

今期中に、アラート委員会の次年度計画の素案の作成を立てたらどうか。

#### **一般社団法人日本ライオンズアラート委員会委員長 L 山川 洋**

計画を練りこんだ素案を作成して、来期期首からアラート委員会として動けるようにしたい。

素案作成に関しては、有志で作成する。

災害時には、現地で対応して活動している実行部隊の方々には、肩書を作成して、アラート委員会に残っていただけるように検討したい。

#### **第7回アラート全体会議の日程について**

日時：2022年4月26日火曜日 15：00～

場所：東京都内 場所未定

会議の方法：都内の会場とZOOMのハイブリッドで行う。

#### **今後の議事録作成に関して**

#### **MD333 アラート委員会正班長 L 若林 純也**

今後は、委員会の議事録作成をMDごとをお願いしたい。

#### **6. アラート委員並びに委員会メンバー報告**

#### **330 複合アラート委員 L森川 明治郎**

東京都との災害協定については、調整中。

330-C地区 戸田市・和光市は締結済み。

コロナ禍で、委員会開催できず、進んでいない。

**331 複合アラート委員 L能澤 正明**

災害協定に関しては、準地区で推進していく。

**332 複合アラート委員 L木川田 明弘**

MDでアラートの規約を作成している。

**334 複合アラート班長 L木村 知紀**

各準地区と県の災害協定は、全て締結済み。

10 市町村と 13 クラブの災害協定が締結済み。

**335 複合アラート委員 L佐々木 健太**

335-B 大阪府・和歌山県・大阪市・堺市 締結済

335-C 京都府・滋賀県・奈良県 締結済

335-A、335-D 兵庫県 締結済

**335 複合アラート 副班長 L藤之原 美津子**

割愛。

**336 複合アラート委員 L高岡 英治**

336-A 四国 4 県 締結済 来期アラート委員会を独立した委員会とした。

336-B 鳥取県・岡山県 他 7 市 1 町 締結済

336-C 広島県 他 3 市 締結済

336-D 島根県・山口県 他 4 市 締結済

**337 複合アラート 班長 L青木 和彦**

337-A 福岡県 締結済

337-B 宮崎県 締結済

337-C 長崎県 締結済

337-D 沖縄県 締結済

佐世保にて、2 部構成のアラートフォーラム会議を 6 月 11 日に開催予定。

**335 複合アラート 副班長 L藤之原 美津子**

ボランティア支援団体「JVOAD」の説明。

ライオンズクラブの加入について検討したらどうか。

一般社団法人日本ライオンズアラート委員会委員長 L 山川 洋

今委員会では、ご提案を承った。

今後検討する。

## 8. 総評

アドバイザー L 柿原 勝彦

L 佐々木作成のマニュアルについて、3月末までに皆さんの意見をお送りしてほしい。

今回作成したマニュアルは、各準地区が指標として利用してくれれば、災害の際にスムーズな対応ができる。

今までは、各地ばらばらで行っていたことを日本ライオンズで1本化するために、アラート委員会を設置した。

アラートチームとは、実働部隊として、災害の際に現地で動く部隊。

危機管理意識を強くもっていただきたい。

## 9. 閉会の挨拶

西日本統括リーダー L 坂本 恵市

全国のリーダーからアラート対応の指標がほしいと言われる事が多いので、

完成度の高いマニュアルを作成してください。

組織としての同じレベルで対応できるように構築することが、日本ライオンズのアラート委員会の役割になる。

議事録作成人 一般社団法人日本ライオンズアラート委員会  
333 複合地区 副班長 桜井政利

議事録署名人 一般社団法人日本ライオンズアラート委員会  
委員長 山川 洋

承認年月日 2022年3月2日

2021-2022 一般社団法人ライオンズ 第6回アラート全体会議(WEB)出欠状況

◎日時: 2022年2月24日(木) 15:00 - 17:00 Zoom開催

2022/2/24 15時現在

役職名	氏名	地区	クラブ名	○出席×:欠席
日本ライオンズ 理事長	仁科 良三	334-E	長野みすず	×
副理事長/アラート委員長/MD333 議長/アラート委員(MD333)	山川 洋	333-E	牛久葦崎	○
日本ライオンズ 専務理事代行	松岡 勲	335-C	京都南	○
日本ライオンズ 専務理事	村木 秀之	330-A	東京数寄屋橋	×
アラート委員(MD330)	森川 明治郎	330-C	坂戸	○
アラート委員(MD331)	能澤正明	331-A	札幌トラスト	○
アラート委員(MD332)	木川田 明弘	332-C	仙台高砂	○
アラート委員(MD334)	荒尾 勝彦	334-D	金沢城北	×
アラート委員(MD335)	佐々木健太	335-B	吹田江坂	○
アラート委員(MD336)	高岡 英治	336-A	松山湯築	○
アラート委員(MD337) 兼 班長(副)MD337	石永 扶佐夫	337-C	武雄	×
アラートチーム・アドバイザー	柿原 勝彦	335-B	高槻	○
日本ライオンズ アラートチーム 東日本統括リーダー	橋本 修一	332-D	郡山東	×
同 西日本統括リーダー	坂本 恵市	335-B	松原	○
班長(正)MD330	野村 起成	330-A	東京五反田	×
班長(副)MD330	石塚 文雅	330-B	横浜	×
班長(副)MD330	浦中 竜太郎	330-C	埼玉レスキュー	×
班長(正)MD331	浅野 敬一	331-B	北見中央	○
班長(副)MD331	新屋 雅良	331-A	札幌中島	×
班長(副)MD331	柳澤 豊	331-B	留萌みなと	○
班長(副)MD331	新岡 尚	331-C	室蘭東	○
班長(正)MD332	山下里美	332-E	山形アルカディア	○
班長(副)MD332	木村 知紀	332-A	青森 ZERO	○
班長(副)MD332	及川 三美	332-B	水沢中央	○
班長(副)MD332	大橋 博之	332-C	東松島	×
班長(副)MD332	箱崎 哲司	332-D	田村	○
班長(副)MD332	伊藤 剛	332-E	米沢松川	○
班長(副)MD332	草薙 孝悦	332-F	中仙	×
班長(正)MD333	若林 純也	333-E	水戸葵	○
班長(副)MD333	桜井 政利	333-E	牛久葦崎	○
班長(正)MD334	西村 和之	334-D	鯖江王山	○
班長(正)MD335	藤之原 美津子	335-A	明石魚住	○
班長(副)MD335	稲田 勝利	335-B	大阪桜之宮	×
班長(副)MD335	中千 潤一	335-C	京都ミレニアム	○
班長(副)MD335	東本 将文	335-D	姫路白鷺	○
班長(正)MD336	藤井 信英	336-B	岡山みらい	○
班長(副)MD336	田中 元	336-A	高松空港	○
班長(副)MD336	井上 哲孝	336-B	岡山みらい	○
班長(副)MD336	細川 晃	336-C	福山あい	○
班長(副)MD336	吉村 あとむ	336-D	安来	×
班長(MD337)	青木和彦	337-D	鹿児島谷山	○
日本ライオンズ 事務総長	菅原 雅雄	330-A	東京堀留	○
42名中合計				29

2021－2022年度上半期  
一般社団法人日本ライオンズ会計報告書

2022/2/18 会計監査

# 一般社団法人日本ライオンズ会計報告書

2021年7月1日～2021年12月31日の財政状況を下記のとおりご報告します。

2022年2月18日

一般社団法人日本ライオンズ 理事長

仁科 良三



下記の会計報告は、監査の結果適正に表示されているものと認めます。

2022年2月18日

2021－2022年度日本ライオンズ会計監査委員

330複合地区監査委員

中野 了



331複合地区監査委員

小玉 誠



332複合地区監査委員  
一般社団法人日本ライオンズ監事

竹下 直義



333複合地区監査委員  
一般社団法人日本ライオンズ監事

高橋 克文



334複合地区監査委員

丸山 正芳



335複合地区監査委員  
一般社団法人日本ライオンズ監事

福田 恵太



336複合地区監査委員

矢野 敏明



337複合地区監査委員  
一般社団法人日本ライオンズ監事

吉見 章一



# I 貸借対照表

一般社団法人日本ライオンズ

2021年12月31日現在

(2020.12.31)

(単位：円)

科 目	当年度末A	前年度末B	差異 (A-B)
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金	0	33,079	△ 33,079
銀行預金	304,149,748	520,421,097	△ 216,271,349
郵便貯金	0	1,461,919	△ 1,461,919
郵便振替	7,944,348	7,069,390	874,958
未収入金	9,094,159	9,064,919	29,240
仮払金	0	9,260,570	
頒布品	23,275	661,463	△ 638,188
流動資産合計	321,211,530	547,972,437	△ 226,760,907
2. 固定資産			
(1) 基本財産	0	0	0
(2) 特定資産	0	0	0
(3) その他の固定資産			
敷金	11,976,840	11,976,840	0
什器備品	217,273	325,907	△ 108,634
その他固定資産合計	12,194,113	12,302,747	△ 108,634
固定資産合計	12,194,113	12,302,747	△ 108,634
資産合計	333,405,643	560,275,184	△ 226,869,541
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
預り金	52,248	47,958	4,290
オリンピック支援預り金	0	214,951,902	△ 214,951,902
アラート委員会預り金	8,524,362	21,028,617	△ 12,504,255
未払消費税	0	0	0
未払金	4,456,057	4,684,778	△ 228,721
流動負債合計	13,032,667	240,713,255	△ 227,680,588
2. 固定負債	0	0	0
負債合計	13,032,667	240,713,255	△ 227,680,588
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	320,372,976	319,561,929	811,047
正味財産合計	320,372,976	319,561,929	811,047
負債及び正味財産合計	333,405,643	560,275,184	△ 226,869,541

## Ⅱ 正味財産増減計算書

一般社団法人日本ライオンズ

2021年7月1日～2021年12月31日

(単位：円)

科 目	当年度予算	当年度A	前年度B	差異 (A-B)
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 受取賛助会費	76,800,000	39,128,640	40,560,960	△ 1,432,320
② 寄付金	0	62,373	94,690	△ 32,317
③ 国際協会補助金	17,280,000	9,052,159	8,861,797	190,362
④ 国際協会翻訳料	120,000	56,500	56,500	0
⑤ ライオン誌送料収益	25,810,000	12,160,863	12,587,352	△ 426,489
⑥ 広告料	300,000	87,120	196,020	△ 108,900
⑦ 受取利息	16	12	10	2
⑧ 雑収益	350,000	378,243	360,528	17,715
⑨ 各種会議旅費分担金収益	3,600,000	392,000	89,000	303,000
⑩ 頒布品収益 (注1)	17,000,000	269,426	18,705,194	△ 18,435,768
経常収益合計	141,260,016	61,587,336	81,512,051	△ 19,924,715
(2) 経常費用				
① ライオン誌直接出版費	<b>(45,650,000)</b>	<b>(22,489,389)</b>	<b>(23,770,064)</b>	<b>△ 1,280,675</b>
印刷費	10,030,000	5,110,600	5,754,100	△ 643,500
ライオン誌送料	25,810,000	12,444,103	12,970,433	△ 526,330
発送事務費	5,000,000	2,519,894	2,610,158	△ 90,264
旅費交通費	180,000	792	0	792
編集関係諸費	80,000	65,100	62,460	2,640
原稿料・編集費	4,550,000	2,348,900	2,371,450	△ 22,550
広告関係諸費	0	0	1,463	△ 1,463
② デジタル版関連費 (ウェブマガジン)	<b>(6,230,000)</b>	<b>(2,749,663)</b>	<b>(2,307,286)</b>	<b>442,377</b>
旅費交通費	2,000,000	1,282,314	991,026	291,288
原稿料・編集費	3,190,000	870,100	738,100	132,000
サーバー管理費	970,000	545,160	545,160	0
その他	70,000	52,089	33,000	19,089
③ 各種委員会会議	<b>(4,330,000)</b>	<b>(1,214,750)</b>	<b>(349,427)</b>	<b>865,323</b>
旅費交通費	4,200,000	963,300	328,880	634,420
会議費	100,000	113,450	0	113,450
雑費	30,000	138,000	20,547	117,453
④ 頒布品原価 (注1)	<b>13,450,000</b>	<b>165,800</b>	<b>10,936,455</b>	<b>△ 10,770,655</b>
⑤ 事務費	<b>(66,066,000)</b>	<b>(35,065,263)</b>	<b>(40,835,882)</b>	<b>△ 5,770,619</b>
理事会旅費	3,000,000	3,329,729	3,248,667	81,062
会計監査旅費	600,000	121,648	107,468	14,180
国際大会・アジアフォーラム関係費		0	0	0
NLLI次世代セミナー会場費補助	1,500,000	0	0	0
マスク34万枚支援補助		0	0	0
人件費 (注2)	31,720,000	16,980,000	21,340,214	△ 4,360,214
福利厚生費 (注2)	5,000,000	2,599,494	3,453,021	△ 853,527
旅費交通費 (注2)	1,366,000	799,586	1,010,000	△ 210,414
印刷費	400,000	130,476	199,985	△ 69,509
通信費	1,420,000	652,019	593,189	58,830
備品・消耗品費	350,000	113,692	179,491	△ 65,799
事務用品費	600,000	326,889	440,990	△ 114,101
図書費	50,000	29,400	36,624	△ 7,224
リース・レンタル料	700,000	335,940	221,616	114,324
IT関連費	1,870,000	975,260	782,210	193,050
支払手数料	260,000	195,195	188,143	7,052
顧問料	1,160,000	605,000	594,000	11,000
地代家賃 (注3)	14,000,000	7,027,356	7,627,356	△ 600,000
水道光熱費	800,000	371,459	378,605	△ 7,146
雑費	720,000	459,720	421,903	37,817
減価償却費	0	0	0	0
租税公課	550,000	12,400	12,400	0
経常費用合計	135,726,000	61,684,865	78,199,114	△ 16,514,249
当期経常増減額	5,534,016	△ 97,529	3,312,937	△ 3,410,466
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益合計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
雑損失	0	15,979	28,332	△ 12,353
経常外費用合計	0	15,979	28,332	△ 12,353
当期経常外増減額	0	△ 15,979	△ 28,332	12,353
当期一般正味財産増減額	5,534,016	△ 113,508	3,284,605	△ 3,398,113
一般正味財産期首残高		320,486,484	316,277,324	4,209,160
一般正味財産期末残高		320,372,976	319,561,929	811,047
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額		0	0	0
指定正味財産期首残高		0	0	0
指定正味財産期末残高		0	0	0
III 正味財産期末残高		320,372,976	319,561,929	811,047

注： 1. 頒布品収益及び頒布品原価の減少要因は、ライオンズ必携を発行しなかった為です。  
 2. 人件費、福利厚生費、旅費交通費（定期代）の減少要因は、職員1名の退職（2021年4月退職）によるものです。  
 3. 地代家賃は2021年1月から一般財団法人日本ライオンズからの分担金（月額10万円）を減額して表示しています。

**Ⅲ 財産目録**  
 一般社団法人日本ライオンズ  
 2021年12月31日現在

(単価：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>			
現金及び預金			
現金	手許保管	運転資金として保管している	0
銀行預金	三菱東京UFJ銀行京橋支店 (普) 0548024 三菱東京UFJ銀行京橋支店 (普) 0548320 三菱東京UFJ銀行京橋支店 (普) 0604392	アラート委員会緊急支援金の預り金 運転資金として保管している オリンピック・パラリンピック支援金	8,524,362 295,625,386 0
郵便振替	ゆうちょ銀行〇一九支店 (当座) 00170-8-514451	運転資金として保管している	7,944,348
		(現金及び預金合計)	<b>312,094,096</b>
未収入金	国際協会PR補助金 頒布品売上代金 懇親会費立替分	上半期2021年7月～12月分 \$ 81,178×111.51円 ライオンズ文庫代	9,052,159 0 42,000
		(未収入金合計)	<b>9,094,159</b>
頒布品	事務所内/ライオンズ必携第59版0冊@118円 事務所内/ライオンズクラブ役員必携 27冊@293円 事務所内 ライオンズ・スクール初級編167冊@92円 (ライオンズクラブ入門)	2020年10月20日発行2020-21年度 (会議資料・頒布単価200円) 2020年11月20日発行2020-21年度 (会議資料・頒布単価500円) 2019年10月1日発行第4版第2刷 (ライオン誌頒布単価400円)	0 7,911 15,364
		(頒布品合計)	<b>23,275</b>
<b>流動資産合計</b>			<b>321,211,530</b>
<b>(固定資産)</b>			
敷金	三菱地所リアルエステートサービス(株)	JOTOビル9階901号室 (52.53坪/173.67㎡)	11,976,840
		(敷金合計)	<b>11,976,840</b>
什器備品	事務所内設置の備品等	会議用テーブル・イス・書類ロッカー (連絡事務所) 職員用事務机・椅子6セット (ライオン誌) 富士ゼロックス・A3カラーレーザープリンター (ラ誌)	1 217,271 1
		(什器備品合計)	<b>217,273</b>
<b>固定資産合計</b>			<b>12,194,113</b>
<b>資産合計</b>			<b>333,405,643</b>
<b>(流動負債)</b>			
預り金	諸税	職員給与預かり住民税等	52,248
オリンピック支援預り金	法人会計	オリンピック・パラリンピック支援金を法人口座で預かっている	0
アラート委員会預り金	法人会計	アラート委員会緊急支援金を法人口座で預かっている	8,524,362
		(預り金合計)	<b>8,576,610</b>
未払金	日本年金機構中央年金事務所 各種会議旅費 共同印刷(株) 榊宛名商会本店 障害者支援情報センター (福)クッキー工房マミー 佐川急便(株) 取材交通費	社会保険料11・12月事業主負担分、11月分職員預り金 上半期振込未精算分 (12月21日第1回国際理事候補者推薦委員会) ライオン誌1・2月号印刷費 ライオン誌1・2月号発送作業費 ライオン誌1・2月号発送作業費 ライオン誌1・2月号記念品 ライオン誌1・2月号発送料等 ライオン誌 12/21-22取材分	1,071,171 323,000 1,629,100 603,152 225,250 5,200 488,125 111,059
		(未払金合計)	<b>4,456,057</b>
<b>流動負債合計</b>			<b>13,032,667</b>
<b>固定負債合計</b>			<b>0</b>
<b>負債合計</b>			<b>13,032,667</b>
<b>正味財産</b>			<b>320,372,976</b>

日本ライオンズ オリンピック・パラリンピック支援協力金口座 特別会計

(1) 貸借対照表  
2021年12月31日現在

(単位：円)

借方	金額	貸方	金額
<流動資産計>	0	<流動負債計>	0
普通預金/三菱UFJ銀行・京橋支店 No. 023 - 0604392 口座名義「一般社団法人日本ライオンズ」	0	預り金	0
		未払金	0
<固定資産計>	0	<固定負債計>	0
		残高	0
合計	0	合計	0

(2) 収支計算書

自 2015年7月1日  
至 2021年12月31日

(単位：円)

支出の部	金額	収入の部	金額
<支出計>	498,123,393	<収入計>	498,123,393
<b>パラサポート選手育成支援金</b> 2018年5月交付(148人) 91,350,000 2018年返戻金(1人) (580,000) 2019年5月交付(186人) 101,560,000	192,330,000	<b>会員協力金拠出</b> MD330内拠出金 93,979,506 MD331内拠出金 28,494,000 MD332内拠出金 45,598,636 MD333内拠出金 53,996,000 MD334内拠出金 78,964,000 MD335内拠出金 60,781,500 MD336内拠出金 67,800,250 MD337内拠出金 63,467,000 会員協力拠出金合計 493,080,892	493,080,892
<b>次世代Tシャツ・タオル支援</b> (髙東亜バッチ・トロフィー) (2019年1月)	3,000,000		
<b>1000年オリーブ植樹</b> オリーブの木、搬入費用 12,808,800 (2019年8月) オリーブメンテナンス等 2,403,500 (南薔薇園植物場)(2021年2月)	15,212,300		
<b>モニュメント</b> モニュメント制作費用 39,490,000 (2019年8月) モニュメント式典費用 268,400 (髙丹青社)(2020年4月)	39,758,400		
<b>パラ競技招待事業</b> 初回申込金(2020年4月) 30,000,000	30,000,000	<b>パラ競技招待事業残高返金</b> (2021年9月) 5,033,000	5,033,000
<b>残金返金</b> (2021年12月) MD330 41,466,865 MD331 12,569,738 MD332 20,115,497 MD333 23,825,280 MD334 34,839,302 MD335 26,817,037 MD336 29,913,235 MD337 28,000,686 残金返金合計 217,547,640	217,547,640		
支払手数料 振込手数料(累計) 245,506	245,506	受取利息(累計)	9,501
最終残高を社団決済用口座へ振替(2021年12月)	29,547		
残高	0		
合計	498,123,393	合計	498,123,393

## 東京オリンピック・パラリンピック支援金

(単位:円)

小数点第4位切捨

小数点以下切捨

MD	地区名	2015-2016年度	2016-2017年度	2017-2018年度	2018-2019年度	2019-2020年度	2020-2021年度	地区累計額	MD累計額	入金額%	2021年11月 末残高	2021年12月 MD宛返金額
330	330-A地区	17,002,000	8,084,000	7,906,000	8,054,000			41,046,000	93,979,506	8.324%	217,582,467	18,111,564
	330-B地区	10,000,000	10,000,000	7,926,454	6,523,569			34,450,023		6.986%		15,200,311
	330-C地区	7,640,125	3,592,358	3,714,000	3,537,000			18,483,483		3.748%		8,154,990
	MD330計	34,642,125	21,676,358	19,546,454	18,114,569	0		93,979,506				41,466,865
331	331-A地区	1,060,000	2,350,125	2,290,500	2,264,625	2,236,500		10,201,750	28,494,000	2.068%	217,582,467	4,499,605
	331-B地区	0	2,261,000	2,179,000	2,148,000	4,118,000		10,706,000		2.171%		4,723,715
	331-C地区	0	1,945,000	1,910,000	1,890,000	1,841,250		7,586,250		1.538%		3,346,418
	MD331計	1,060,000	6,556,125	6,379,500	6,302,625	8,195,750		28,494,000				12,569,738
332	332-A地区	1,704,000	1,685,000	1,735,000	1,687,000	1,617,000		8,428,000	45,598,636	1.709%	217,582,467	3,718,484
	332-B地区	1,539,000	1,523,000	1,485,000	1,476,000	1,421,000		7,444,000		1.509%		3,283,319
	332-C地区	1,359,000	1,371,500	1,307,500	1,317,500	1,274,000		6,629,500		1.344%		2,924,308
	332-D地区	1,937,136	1,963,000	1,954,000	1,974,000	1,887,000		9,715,136		1.970%		4,286,374
	332-E地区	1,675,000	1,658,000	1,654,000	1,620,000	1,545,000		8,152,000		1.653%		3,596,638
	332-F地区	1,086,000	1,073,000	1,027,000	1,045,000	999,000		5,230,000		1.060%		2,306,374
MD332計	9,300,136	9,273,500	9,162,500	9,119,500	8,743,000		45,598,636		20,115,497			
333	333複合地区 (333-A、B、 C、D、E地区) 一括	10,966,000	10,969,000	10,871,000	10,718,000	10,472,000		53,996,000	53,996,000	10.950%		23,825,280
334	334-A地区	0	9,046,000	4,358,000	4,244,000	4,062,000		21,710,000	78,964,000	4.402%	217,582,467	9,577,980
	334-B地区	3,104,000	3,019,000	3,019,000	2,995,000	2,948,500		15,085,500		3.059%		6,655,847
	334-C地区	2,993,000	2,909,000	2,915,000	2,820,000	2,798,000		14,435,000		2.927%		6,368,638
	334-D地区	3,815,000	3,773,500	3,766,500	3,741,500	3,636,000		18,732,500		3.799%		8,265,957
	334-E地区	1,828,000	1,850,000	1,841,000	1,782,000	1,700,000		9,001,000		1.825%		3,970,880
	MD334計	11,740,000	20,597,500	15,899,500	15,582,500	15,144,500		78,964,000				34,839,302
335	335-A地区	1,971,000	1,919,000	1,841,000	1,824,000	1,766,000		9,321,000	60,781,500	1.890%	217,582,467	4,112,308
	335-B地区	5,188,000	5,094,000	4,925,000	4,984,000	4,883,000		25,074,000		5.085%		11,064,068
	335-C地区	3,729,000	3,637,000	3,563,000	3,570,000	3,513,000		18,012,000		3.652%		7,946,111
	335-D地区	1,742,000	1,708,500	1,655,500	1,630,500	1,638,000		8,374,500		1.698%		3,694,550
MD335計	12,630,000	12,358,500	11,984,500	12,008,500	11,800,000		60,781,500		26,817,037			
336	336-A地区	0	7,506,000	7,561,500	9,808,000			24,875,500	67,800,250	5.044%	217,582,467	10,974,859
	336-B地区	2,803,000	2,813,000	2,695,000	2,584,000	2,511,000		13,406,000		2.718%		5,913,891
	336-C地区	3,130,000	3,106,000	2,992,000	2,943,000	2,824,000		14,995,000		3.041%		6,616,682
	336-D地区	3,762,500	3,708,750	3,580,000	3,472,500	3,472,500 (4年間で徴収済)		14,523,750		2.945%		6,407,803
	MD336計	9,695,500	17,133,750	16,828,500	18,807,500	5,335,000		67,800,250				29,913,235
337	337-A地区	4,349,000	4,268,000	4,213,500	4,153,000	4,102,500		21,086,000	63,467,000	4.276%	217,582,467	9,303,826
	337-B地区	2,150,000	2,131,000	2,124,000	2,101,000	2,097,000		10,603,000		2.150%		4,678,023
	337-C地区	0	5,502,000	2,676,500	2,584,000	2,445,500		13,208,000		2.678%		5,826,858
	337-D地区	2,267,000	2,210,500	2,169,500	2,112,000	2,011,500		10,770,500		2.184%		4,752,001
	337-E地区	1,554,000	1,554,500	1,565,500	1,563,500	1,562,000		7,799,500		1.581%		3,439,978
	MD337計	10,320,000	15,666,000	12,749,000	12,513,500	12,218,500		63,467,000				28,000,686
MD合計/A	100,353,761	114,230,733	103,420,954	103,166,694	71,908,750		493,080,892	493,080,892	99.984%		217,547,640	
										振込手数料		5,280
										社団へ振替		29,547
										合計	217,582,467	217,582,467

日本ライオンズ・アラート委員会緊急支援金口座 特別会計

(1) 貸借対照表  
2021年12月31日現在

(単位：円)

借方	金額	貸方	金額
<流動資産計>	8,524,362	<流動負債計>	0
普通預金/三菱UFJ銀行・京橋支店 No. 023-0548024 口座名義「一般社団法人日本ライオンズ」	8,524,362	預り金	0
		未払金	0
<固定資産計>	0	<固定負債計>	0
		次期繰越金	8,524,362
合計	8,524,362	合計	8,524,362

(2) 収支計算書

自 2021年7月1日  
至 2021年12月31日

(単位：円)

支出の部	金額	収入の部	金額
<支出計>	770	<収入計>	8,525,132
残高証明書発行手数料	770	受取利息	75
		前年度繰越金	8,525,057
次期繰越金	8,524,362		
合計	8,525,132	合計	8,525,132

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 公益法人会計基準について（平成20年4月11日付け内閣府公益認定等委員会）に基づく会計処理を行っています。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法について  
該当事項はありません。
- (3) 頒布品の評価基準及び評価方法について  
頒布品の評価方法は、個別原価法を採用しています。
- (4) 固定資産の減価償却について  
減価償却は定額法によっています。
- (5) 引当金の計上基準について  
該当事項はありません。
- (6) 消費税の会計処理について  
消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

### 2. 基本財産の増減額及びその残高

該当事項はありません。

### 3. 固定資産の取得額、減価償却累計額および当期末残高

(単位：円)

科 目	期首取得価額	増加資産	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	349,198	0	349,197	1
什器備品	760,441	0	543,170	217,271
什器備品	540,000	0	539,999	1
合 計	1,649,639	0	1,432,366	217,273

(会議テーブル・イス・ロッカー)

(ライオン誌職員事務机・イス)

(ライオン誌ゼロックス複合機)



## 振替口座残高証明書

口座番号	00170-8- 514451
------	-----------------

加入者名	一般社団法人 日本ライオンズ
------	----------------

令和 3年12月31日現在の口座残高

*****7,944,348円
-----------------

上記のとおり証明します。

令和 4年 1月 1日  
ゆうちよ銀行

このご案内につきまして、ご不明な点などがございましたら、  
お手数ですが、貯金事務センター（電話番号は表面に記載）まで  
お問い合わせください。

## 日本ライオンズ・アラート委員会緊急支援金口座 特別会計

## (1) 貸借対照表

2021年12月31日現在

(単位：円)

借方	金額	貸方	金額
<流動資産計>	8,524,362	<流動負債計>	0
普通預金/三菱UFJ銀行・京橋支店 No. 023-0847891 口座名義「一般社団法人日本ライオンズ・アラート委員会 委員長 小林 聡」 ↓ (2021.10.8 口座移動) 普通預金/三菱UFJ銀行・京橋支店 No. 023-0548024 口座名義「一般社団法人日本ライオンズ」	8,524,362	預り金	0
		未払金	0
<固定資産計>	0	<固定負債計>	0
		次期繰越金	8,524,362
合計	8,524,362	合計	8,524,362

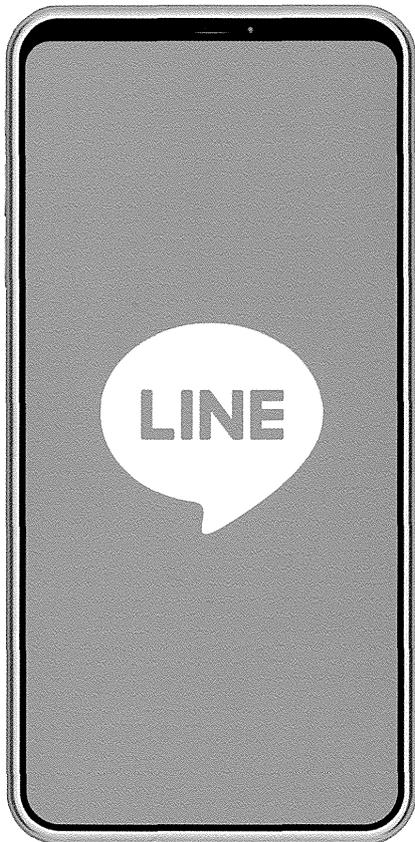
## (2) 収支計算書

自 2019年10月28日

至 2021年12月31日

(単位：円)

支出の部	金額	収入の部	金額
<支出計>	32,728,375	<収入計>	41,252,737
<b>2019年台風19号水害支援</b>		<b>緊急支援金拠出(2019年台風19号水害支援)</b>	
MD330	223,790	MD330内拠出金	730,974
指定寄付	722,030	MD331内拠出金	500,000
お見舞金	270,000	MD332内拠出金	510,500
返戻金	(768,240)	MD333内拠出金	1,143,000
MD332	6,223,971	MD334内拠出金	1,398,367
指定寄付	1,548,471	MD335内拠出金	7,581,599
お見舞金	1,440,000	MD336内拠出金	5,058,446
丸森町商工会(電子レンジ)	2,000,000	MD337内拠出金	5,172,526
本宮市立町地区(米/醤油/味噌)	1,235,500	緊急支援金合計	22,095,412
MD333	1,842,203	拠出内訳:	
指定寄付	1,002,203	支援先指定	4,955,968
お見舞金	840,000	無指定	17,139,444
MD334	2,712,414		
指定寄付	2,262,414		
お見舞金	450,000		
<b>2020年7月豪雨災害支援</b>		<b>緊急支援金拠出(2020年7月水害支援)</b>	
337-E地区(熊本県)		MD330内拠出金	660,786
7月支援分	8,802,390	MD331内拠出金	
8月支援分	2,211,649	MD332内拠出金	4,006,165
		MD333内拠出金	2,263,500
<b>アラート活動費</b>	369,190	MD334内拠出金	
7月熊本豪雨災害視察交通費2人	93,340	MD335内拠出金	11,559,145
2020/11/27アラート全体会議会場費	104,020	MD336内拠出金	
2020/11/27全体会議旅費補助6人	166,000	MD337内拠出金	667,500
振込手数料	5,830	その他/振込人不明	0
		緊急支援金合計	19,157,096
<b>2021年2月福島県沖地震災害支援</b>	407,220	受取利息	229
332-D地区(相馬LC、新地LC)			
ブルーシート、ロープ、土のう袋			
<b>2020年12月～2021年1月</b>			
<b>新型コロナウイルス感染対策支援</b>			
旭川への支援物資	3,000,470		
グアムへの支援物資	6,934,308		
	9,934,778		
2021年8月 残高証明書発行手数料	770		
次期繰越金	8,524,362		
合計	41,252,737	合計	41,252,737



@433iiwbj

# 友だち 募集中!

- ★ウェブマガジン更新情報
- ★最新アクティビティ動画
- ★活動報告投稿のご案内

ライオン誌からの情報を直接  
お手元にお届けします。

## 友だち登録の方法

- 右のQRコードを読み込むだけで簡単に登録出来ます  
QRコードは、標準のカメラアプリで読み込むか、LINE内のQRコード読み取り機能を利用して読み込んでみてください。スマートフォンのホーム画面にあるLINEのアイコンを長押しすると、QRコードリーダーのメニューが表示されます。
- ID (@433iiwbj) 検索でも友だち登録が出来ます



# 2021-22年度ライオン誌日本語版委員会 第7回会議 報告書

日 時：2022年2月3日(木) 14:00～16:00

場 所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議システム・Zoom

出席者：国際理事	永田 賢司 (京都洛陽ライオンズクラブ)
委員長	団 英男 (335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズクラブ)
編集長	星野 勝美 (333複合地区／群馬県・太田ライオンズクラブ)
委員	大屋 保 (330複合地区／埼玉県・川越ライオンズクラブ)
委員	吉原 成昌 (331複合地区／北海道・苫小牧ハスカップライオンズクラブ)
委員	高堂 裕 (332複合地区／秋田中央ライオンズクラブ)
委員	山邊 正重 (334複合地区／長野県・上田城南ライオンズクラブ)
委員	玉浦 巖 (336複合地区／広島県・三原浮城ライオンズクラブ)
委員	吉田 勲 (337複合地区／福岡県・北九州紫水ライオンズクラブ)
一般社団法人副理事長 PRマーケティング委員長	古川 隆 (337複合地区議長／福岡くしだライオンズクラブ)
事務総長	菅原 雅雄 (東京堀留ライオンズクラブ)
ITアドバイザー	荘 英 隆 (東京恵比寿ライオンズクラブ)
欠 席：国際理事	川島 正行 (茨城県・土浦北ライオンズクラブ)
国際理事	渡部 雅文 (岡山県・倉敷西ライオンズクラブ)
国際理事	藏 大介 (石川県・金沢伏見ライオンズクラブ)



団委員長の開会あいさつの後、永田国際理事、一般社団法人日本ライオンズの古川副理事長からあいさつがあり、団委員長、星野編集長の進行で議事に入った。

## 【議事】

### 1. ライオン誌日本語版の運営

#### ●2021-22年度7～12月度ライオン誌関係会計報告

社団の正味財産増減計算書（2021年7月1日～12月31日）を資料とし、ライオン誌関連科目を確認した。収入の部では、1月19日に振り込まれた国際協会補助金9,052,159円を上半期の未収入金として計上した。支出の部では、12月にはライオン誌印刷版を発行したので、直接出版費が発生。累計22,489,389円、予算消化率は49.3%で年間6回中の3回の発行が完了した時点で順当である。毎月発行のデジタル版関連費は6回発行完了時点で2,749,663

円、予算消化率は44.1%と、コロナ禍で取材回数が減ったことが影響し費用が抑えられている。12月には今年度初の対面でのライオン誌委員会が開催され、委員会費は374,600円、予算消化率は59.5%となった。

- 2021年度上半期国際協会補助金

1月19日に、国際協会から2021年度上半期補助金として9,052,159円が振り込まれたことが報告された。

- 国際本部提出用2021年度上半期収支計算報告書

国際本部へ提出する2021年度上半期収支計算報告書を確認、承認した。

## 2. 印刷版関係

- 2022年3・4月号(2月20日発行)台割

基本36ページ建てに8ページ増やした44ページ建ての台割に基づき編集した3・4月号校正を確認した。「国際理事だより：渡部国際理事」、「編集室：吉原委員、玉浦委員」。国際協会指定記事「LCIFキャンペーン100」を10ページで掲載。330-A地区、335複合地区の記事を「Pick up」としてそれぞれ1ページずつ、一般財団法人日本ライオンズの記事は1ページで掲載。一部ページのタイトル文字が見にくいとの指摘があったため、該当個所のデザインを変更する。

- 2022年5・6月号(4月20日発行)台割(案)

基本36ページ建ての台割を確認。「国際理事だより：永田国際理事」、「編集室：高堂委員、山邊委員」。新型コロナウイルス感染拡大の影響で取材記事「奉仕活動」は通常の6本分を用意出来ない可能性があるため、これに備えて代替企画の準備を進めておく。

## 3. ウェブマガジン関係

- 2022年2月号(2月1日更新)出来

ウェブマガジン2月号の出来を確認した。「奉仕活動」は予定していた取材1件が直前で中止となったため、通常より1本少ない2本の記事を掲載した。

- 2022年3月号(3月1日更新)更新予定(案)

3月号の主要コンテンツについて、活動概要や記事の内容、取材経費が提出され承認した。「奉仕活動」は現時点で取材済み1件、取材予定1件。

## 4. 主要記事予定

- 2021-22年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

- 2022年1月取材経費

1月に実施した取材の旅費及び外注費の経費一覧が提出され、確認した。

## 5. 小委員会報告

### ●ウェブマガジン推進小委員会

星野編集長（小委員会委員長）から、小委員会が提示した検討事項4項に関して事前に各委員から集めた意見をまとめた資料が提出され、説明があった。

#### (A) ウェブマガジン普及キャンペーン（2021年12月20日送信）のフォロー

前回委員会で、キャンペーンの効果を確認するアンケートを全クラブを対象に2月末から3月にかけて実施することにしたが、コロナの影響でクラブ例会が開催出来ない状況にあるため実施時期を再検討する。

#### (B) 印刷版の発行

次年度も年6回発行を維持するか、年4回に変更するかについて意見を求めたところ、年6回を維持するべきという意見が多数を占めた。

#### (C) ウェブマガジンのレベルアップ案

近い将来、印刷版の発行回数を減らした場合、今のウェブマガジンで十分かどうかの意見を求めたところ、改善してウェブマガジンの読者を増やすことが必要という意見が複数あった他、情報資料の充実やアクセスの利便性を高める方策など具体的なアイデアが出された。

#### (D) LINEのお友達登録普及の行く末をどうするか

今年度委員会の目標登録数15,000人を超えた後は、スタンダードプラン（月15,000円／45,000通まで）の上限まで登録を推進するという前回委員会の決定を確認。

前回委員会で社団の古川副理事長から提案のあった各地区ごとのLINEビジネスアカウントを経由してライオン誌からのメッセージを会員に届ける方法を確認した。古川副理事長から、今期337-A地区の実践例を資料にまとめているとの情報提供があったため、その資料を確認した上で委員会としての取り組みを検討する。

このうち、(B)印刷版の次年度発行回数と、(C)ウェブマガジンのレベルアップ案は、委員会として次年度のライオン誌発行予算を立案するために早急に方針を決める必要があり、議案6で審議し決議する。

## 6. ライオン誌の今後

### ●ライオン誌の抱える問題点

ウェブマガジン小委員会から提示された検討事項に関して、団委員長からライオン誌の抱える問題点について資料が提出された。問題点として、①ライオン誌編集担当職員1名の2月末退職、②国際協会補助金（現在会員1につき年2ドル）廃止の可能性、③会員数減少による収入の減少の三つの変化を挙げ、小委員会から出された検討事項とこれらの変化への対応を考証した資料の説明があった後、各委員に意見を求めた。

意見交換の後、次の2項を全会一致で決議した。

決議1：印刷版の年6回発行を次年度も維持することとし、職員1名減員に伴う外部委託等の増加分を次年度予算案に含める

決議2：ウェブマガジンを更にレベルアップするためのリニューアルを次年度行うこととし、そのための費用を次年度予算案に含める

これらの決議を踏まえて、委員会として次年度ライオン誌発行の予算案をまとめ、社団理事会へ提出する。次年度予算案は財務小委員会（玉浦委員長）で作成した案を次回委員会で検討してまとめる。

## 7. その他

### ●ライオン誌サポーター・アンケート

1月12～20日に実施した印刷版1・2月号とウェブマガジンに関するアンケートの回答を確認した。

### ●印刷版3・4月号のクラブ発送

クラブ発送の梱包作業は障害者支援情報センターを通じて世田谷区の障害者施設で行っているが、2月はコロナ感染予防の観点から区の決定により施設使用不可となったため、個人発送を委託している宛名商会から提出されたクラブ発送の見積を確認した。例月より手数料、送料各約10万円、合計約20万円の増額となるが、緊急に必要な対応として、3・4月号のクラブ発送を宛名商会に発注することを承認した。

閉会あいさつ 団委員長

### 【次回以降開催予定】

3月 4日（金） 10:00～12:00（ウェブ） \*時間変更

4月 7日（木） 14:00～16:00（ウェブ）

5月10日（火） 14:00～16:00（ウェブ）

# 2021-22年度ライオン誌日本語版委員会 第8回会議 報告書

日 時：2022年3月4日（金）10:00～12:00

場 所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議システム・Zoom

出席者：国際理事	川島 正行（茨城県・土浦北ライオンズクラブ）
国際理事	渡部 雅文（岡山県・倉敷西ライオンズクラブ）
国際理事	永田 賢司（京都洛陽ライオンズクラブ）
委員長	団 英男（335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズクラブ）
編集長	星野 勝美（333複合地区／群馬県・太田ライオンズクラブ）
委員	大屋 保（330複合地区／埼玉県・川越ライオンズクラブ）
委員	吉原 成昌（331複合地区／北海道・苫小牧ハスカップライオンズクラブ）
委員	高堂 裕（332複合地区／秋田中央ライオンズクラブ）
委員	山邊 正重（334複合地区／長野県・上田城南ライオンズクラブ）
委員	玉浦 巖（336複合地区／広島県・三原浮城ライオンズクラブ）
一般社団法人副理事長 PRマーケティング委員長	古川 隆（337複合地区議長／福岡くしだライオンズクラブ）
事務総長	菅原 雅雄（東京堀留ライオンズクラブ）
ITアドバイザー	荘 英 隆（東京恵比寿ライオンズクラブ）
欠席者：国際理事	藏 大介（石川県・金沢伏見ライオンズクラブ）
委員	吉田 勲（337複合地区／福岡県・北九州紫水ライオンズクラブ）



団委員長の開会あいさつの後、川島、渡辺、永田各国際理事、一般社団法人日本ライオンズの古川副理事長からあいさつがあった。古川副理事長から説明があった337-A地区のLINE公式アカウント活用に関する資料は委員会終了後に出席者に送付して共有することとし、あいさつの後、団委員長、星野編集長の進行で議事に入った。

## 【議事】

### 1. ライオン誌日本語版の運営

#### ●2021年7月～22年1月ライオン誌関係会計報告

社団の正味財産増減計算書を資料とし、ライオン誌関連科目を確認した。1月にはライオン誌印刷版の発行がなかったので、直接出版費の予算消化率は52.4%で先月からほぼ変動なし。毎月発行のデジタル版は7回発行完了時点の予算消化率が49.3%と、コロナ禍で取材回数が減ったことが影響し費用が抑えられている。

## 2. 印刷版関係

- 2022年3・4月号(2月20日発行/83,700部)出来  
2月20日に発行した3・4月号の出来を確認した。
- 2022年5・6月号(4月20日発行)台割(案)  
基本36ページ建ての台割で、「国際理事だより：永田国際理事」、「編集室：高堂委員、山邊委員」。コロナ禍の影響により取材記事「奉仕活動」は通常6本のところ2本となる。取材依頼のあったLCIF大災害援助金による西日本豪雨復興事業の取材記事と、前号に続き「Pick up」2ページを設けて準地区の活動リポートを掲載する。
- 編集外注費  
今年2月末で編集担当職員1名が退職したのに伴い、これまで内部のみで行っていた校正作業を外部に委託するため、外注の原稿料に校正費用を追加することを承認した。

## 3. ウェブマガジン関係

- 2022年3月号(3月1日更新)出来  
ウェブマガジン3月号の出来を確認した。
- 2022年4月号(4月1日更新)更新予定(案)  
4月号の主要コンテンツについて、活動概要や記事の内容が提出され承認した。「奉仕活動」はコロナ感染状況の影響で取材対象に挙げていた奉仕活動が中止・延期された。そのためこの号は取材記事はなしとし、「桜」をテーマに過去の取材記事を再編成し、東日本・西日本に分けてライオンズクラブが植樹した桜の名所を紹介する。

## 4. 主要記事予定

- 2021-22年度主要記事予定  
今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。
- 2022年2月取材経費  
2月に実施した取材の旅費及び外注費の経費一覧が提出され、確認した。
- 2022年3月取材経費概算  
3月に予定している取材の経費概算が提出され、承認した。

## 5. 小委員会報告

- 財務小委員会  
玉浦小委員会委員長から、2月15日開催の財務小委員会で話し合われたライオン誌2022-23年度予算案が提出され、内容を確認した。次回委員会で、ウェブマガジンの普及促進を見据えたリニューアル費用等について更

に詰めて検討し、社団への予算要求を決定する。

#### ●ウェブマガジン推進小委員会

星野編集長（小委員会委員長）から、これまでの検討事項を具体化するための要点をまとめた資料が提示され説明があった。近い将来、ウェブマガジンが主体となることは不可避の流れであり、新しい情報技術に慣れた会員のツールとなるようレベルアップを最優先で進めると同時に、新しいテクノロジーになじめない会員に必要な情報を届けるために印刷版で補完することが必要。ウェブマガジンのレベルアップとして次年度中にリニューアルを行うために、今年度中にリニューアル案をまとめたとの提案があった。説明の後、荘ITアドバイザーから、具体的な立案に入る前に現在のウェブマガジンの検証・整理が必要との助言を受け、次回委員会までに小委員会を開いて検証作業を行うことにした。

LINE公式アカウントからウェブマガジンへのアクセスについて、玉浦委員からより少ない操作でアクセス出来るような工夫がほしいとの提案があり、コンテンツ・メニューのリスト表示のページを設けて公式アカウントのリッチメニューに追加することにした。

## 6. その他

#### ●ライオン誌出版物

増刷を決めた『ライオンズ・スクール初級編』は、3月15日入稿・4月8日納品の予定で修正作業を進めている。各委員が内容を確認をした上で入稿する。

#### ●サバンナ（ServannA）関係

各準地区を対象とした「次年度の地区版サバンナ利用についてのアンケート」を実施することを承認した。ライオン誌の発送には各クラブがサバンナに登録した会員及びクラブ事務局住所を使用していることから、各地区の予定を把握して対処するために行うもの。

閉会あいさつ 団委員長

#### 【次回以降開催予定】

4月 7日（木） 13:30～16:00（ウェブ） \*時間変更

5月10日（火） 14:00～16:00（ウェブ）

# MyLCI での年次大会の「代議員登録」をお願いします

登録は3月第1週以降入力可能となります。ご質問・お問い合わせはキャビネット事務局まで  
登録期限：2022年3月11日(金)正午まで

①

The screenshot shows the MyLCI user interface. The user is logged in as 'Admin YOSHIKO MERZ'. The navigation menu is open, and '大会' (Convention) is highlighted. Other menu items include 'ホーム', 'クラブ情報', '役員', '会計計算書/国際会費', 'アクティビティ', '主要アクティビティ', 'レポート', 'データのダウンロード', and '会員カード'. The main content area shows club information for '現クラブ' (Current Club) with a value of 50006, and a table of activities with columns for 'ステータス' (Status) and 'クラブ' (Club).

①

会長・幹事・クラブ業務担当者のアカウント・IDで MyLCI にアクセスします。

ライオンズクラブ▼



「大会」をクリック

②

国際大会・複合大会も表示されていますが

District 336 D (66230) ……の「代議員を表示」をクリック

②

The screenshot shows the 'Conventions' page for District 336 D (66230). It lists the '2021-2022 - Council Chairperson' and provides details for the '2021-2022 - Council Chairperson'. A table shows the number of delegates and other statistics. The '代議員を表示' (Show Delegates) button is highlighted.

③

The screenshot shows the '代議員' (Delegates) page. It displays the number of delegates for each category: VIP 代議員 (0), クラブ割当代議員数 (11), 任命済み代議員 (0), and 任命可能な代議員 (11). The '代議員を追加' (Add Delegates) button is highlighted.

③ 代議員のページに登録済みの代議員が表示されます（上記は登録前）。「VIP 代議員」は自動で入ります（現・元国際理事等）。クラブ割当代議員数が登録可能な代議員数です。

「代議員を追加」をクリックして代議員の登録画面に進んでください。

④

The screenshot shows a web interface for nominating delegates. The main area has a header '- District - JAPAN' and a title '代議員を任命'. Below it, the event is identified as 'Multiple District' and the dates as '2022/ - 2022/'. A prompt asks to 'Select a member to fulfill this role'. A button labeled '会員を選択' (Select Member) is highlighted. An inset window titled '大会の代議員を選択' (Select Delegates for the Convention) displays a grid of member profiles with their names and IDs.

- ④ 「会員を選択」をクリックすると、クラブ役員を登録する時と同様に代議員の資格を有するクラブメンバーが表示されます。代議員に選択するメンバーをクリックして「保存」をクリック。「クラブ割当代議員数」の代議員を登録してください。なお、現・元ガバナー/VIP 代議員は割当代議員数の中には含めないでください。別枠代議員権保有者として大会事務局で登録いたします。

## クラブ代議員数及び選出について

- ① 大会開催前月 1 日現在の国際協会の記録に基づき、少なくとも 1 年と 1 日クラブに在籍している会員数 10 名ごと並びにその過半数 (5 名以上) について、代議員及び補欠代議員各 1 名を地区年次大会に出席させることが出来る。ただし、各クラブは、少なくとも 1 人の代議員及び 1 人の補欠代議員を出席させる権利を持つ。また、新たに結成されたクラブ及び大会前に新会員を加えたクラブは、国際本部で記録された日に少なくとも 1 年と 1 日以上クラブに在籍していた会員数に基づき代議員の数が定められる。(国際付則第 9 条 3 項、クラブ会則第 9 条 2 項)
- 例) 2022 年 3 月 1 日の会員数 44 名 ⇒ 代議員数 4 名  
 2022 年 3 月 1 日の会員数 45 名 ⇒ 代議員数 5 名  
 ※会員数は 3 月 1 日に 1 年と 1 日以上在籍の会員数  
 ※クラブ代議員数算出の対象会員種別  
 ○正会員 ○不在会員 ○優待会員 ○終身会員 ○賛助会員  
 ×名誉会員 ×準会員 (クラブ付則第 1 条第 1 項 会員種別参照)
- ② 大会議事運営の委員長・副委員長・委員として大会議長から任命される役員は必ず、また各地区役員もなるべく所属クラブから派遣される代議員の一員として定数に含めて登録されますようご配慮ください。
- ③ 国際理事・元国際理事・地区ガバナー・各元地区ガバナーは正規の代議員となりますが、クラブ代議員の定数には参入しません。
- ④ 代議員選出について、「代議員は 1 年と 1 日在籍している会員でなければならないか？」  
 …代議員は 1 年と 1 日クラブに在籍している会員である必要はありません。ライオンズ必携第 59 版 標準版クラブ会則第 9 条第 3 項「クラブ代議員及び補欠代議員の選出」(102 頁) 及び「別紙 A 会員種別表」(134 頁) の「投票権・地区又は国際大会への代議員」の欄をご参考ください。

2021-2022 年度

一般社団法人日本ライオンズ

**第4回YCE委員会 WEB 次第**

2022年3月4日（金）午後13：30－16：00 Zoom 開催

- ◎ 本日の出席者確認及び進行について
- ◎ 議事録作成人の指名
- ◎ 前回要録の確認……………(ア)
  
- ◎ **議案**
  - 1. ヨーロッパ地区対象国の担当窓口について……………資料1
  - 2. ヨーロッパ担当窓口振り分け後の運用について……………資料2
  - 3. 派遣相手国との契約書について……………資料3
  - 4. 「禁止事項」の契約書明記について
  - 5. その他

以上

※下記の振り分けはあくまでも「たたき台」です。この「案」を元に協議をお願いしたいと思います。

※第3回委員会会議後に個別にご連絡をいただいた内容を反映いたしました。

### MD 334 の通信交渉窓口相手国 (29 地域) 2021 年 12 月 27 日現在

フランス・ドイツ・オーストリア・イギリス・スイス・デンマーク・ノルウェー・スウェーデン・フィンランド・アイスランド・オランダ・ベルギー・イタリア・ギリシャ&キプロス・スペイン・ロシア・エストニア・チェコ&スロバキア・クロアチア・ポルトガル・アイルランド・ルーマニア・ウクライナ・モルドバ・マケドニア・セルビア・トルコ・イスラエル

MD	国名								
330	フランス	イギリス	オランダ						
331	フィンランド	スイス	スペイン						
332	スウェーデン	ノルウェー	デンマーク						
333	アイスランド	スロベニア	チェコ&スロバキア						
335	ロシア	ウクライナ	ルーマニア						
336	イスラエル	セルビア	モルドバ						
337	トルコ	クロアチア	オーストリア						
334	イタリア	ドイツ	ベルギー	エストニア	アイルランド	マケドニア	ポルトガル	ギリシャ&キプロス	

337 複合地区 YCE 委員長 北 由美子 様

一般社団法人 日本ライオンズ  
YCE 委員長 山本 基博

### ヨーロッパ担当窓口振り分け後の運用についてのご質問への回答

下記のご質問に対して回答いたします。

#### <ご質問（1）>

（1）航空券手配と派遣生の出迎え等のサポートについては、現在各複合で幹事会社とのやり方があり、日本レベルで一定しておりません。  
振り分けられたヨーロッパ担当窓口国についての対応はいかがになりますでしょうか。

①これまで通りの MD334 幹事旅行社と各複合でやり取りをするのでしょうか。

【回答】MD337 指定旅行代理店が MD337 窓口国派遣幹事旅行代理店となり、各 MD 指定旅行代理店とのやり取りを想定しています。

\* 大手旅行社の場合、MD337 であれば福岡支店とのやり取りをする可能性の有無。

【回答】MD337 が大手旅行社を MD 指定旅行代理店にする場合は、地元である福岡支店を利用されるのが便利であり、MD337 指定旅行代理店が MD337 窓口国派遣幹事旅行代理店として従来通りの業務遂行されることを想定しています。

②MD334 幹事旅行会社と各 MD 幹事旅行会社との連携業務は必要になりますか。

【回答】MD337 が窓口となるヨーロッパの国へのフライト手配については、MD337 窓口国派遣幹事旅行代理店がシンガポールや東マレーシア派遣と同様の役割を果たすこととなりますので、MD334 窓口国派遣幹事旅行代理店との連携は特に必要ありませんが、国内線手配や派遣費用の請求・精算については従来通り、各 MD 指定旅行代理店との連携が必要です。

③各複合幹事旅行社に切り替えるのでしょうか。

【回答】はい。MD337 が窓口となるヨーロッパの国については、MD337 指定旅行代理店が幹事旅行代理店となります。

#### <ご質問（2）>

（2）今回の振り分けについて、①②の場合、MD334 幹事旅行社の了解を得て振り分けに進んでいますか。

【回答】MD334 幹事旅行会社に関しては毎年、業務を依頼し契約を結びますので、その都度、業務を依頼する内容について明示しています。

#### <ご質問（3）>

（3）出発地は担当窓口複合地区（例）MD337 の場合、福岡発着となりますか。

【回答】派遣のフライトについては従来通り担当複合地区の判断で発着空港を決定するものと考えていますが、発着空港はあくまで国際線発着空港を指します。

<ご質問（４）>

コロナ終息後の YCE 再開時には旅行業界そのものが様変わりし、各複合の幹事旅行社担当者の変更も大いにあることと存じます。MD337 でも長年の担当者が退職により変わります。

- ◆来期への引継ぎもあり、ヨーロッパ担当窓口振り分け後の運用について、具体的な説明をお願いいたします。

【回答】従来通り、各 MD における担当窓口国と同様の運用になるかと思いますが、各 MD によって YCE 業務運用に関する認識や慣習が異なる場合は、協議の上、同じ規則の基での運用が必要だと考えています。

- ◆今夏期の YCE は中止となっておりますが、今後の YCE 交換を検討するにあたり、参考までに 2022 年夏期設定で見積りを出していただくのはいかがでしょうか。

【回答】2022 年夏期 YCE 中止は公表されており、実行しないと分かっている旅行の見積りを代理店にお願いすることは不可能ですので、2023 年夏期派遣を想定するのなら検討可能かもしれませんが、旅行業界の現状を考えますと簡単ではないかと思えます。

従来 MD334 指定旅行代理店で MD334 窓口国派遣幹事旅行代理店である(株)JTB 名古屋事業部は窓口国 29 か国（うち派遣可能 21 ヶ国）に過去の実績を基にした人数を派遣することを前提に航空会社と特別運賃設定の交渉をしていましたので、窓口国が 8 か国に減少すれば取扱人数が減少し航空会社との交渉条件がかなり異なってきます。また、ヨーロッパ派遣は従来、フランクフルトから先のフライト料金をプール計算しているため、旅行代金の違いは行先でなく、出発日が関係してきます。よって、当 MD の場合、JTB へ見積りをお願いするのは、派遣窓口国の振り分け後となり、派遣国・おおまかな派遣人数、派遣日程、発着空港の設定、各空港利用人数の情報提供が必要になります。

以上